

平成二十四年度 全国学力・学習状況調査

解説資料 中学校 国語

平成二十四年四月

国立教育政策研究所  
教育課程研究センター

## はじめに

平成二十四年度全国学力・学習状況調査は、小学校第六学年及び中学校第三学年の児童生徒を対象に、四月十七日に実施されました。

調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。

これまでは、国語と算数・数学について、調査してまいりました。今年度は、昨年三月にまとめられた、全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議の「検討のまとめ」において、次代を担う科学技術人材の育成がますます重要な課題となっていくこと等を踏まえ、学習指導要領（平成二十年告示）において、理数教育の充実が図られたことを受けて、理科を追加して実施することとなりました。

調査の内容には、教科に関する調査（国語、算数・数学及び理科）と、生活環境や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒対象及び学校対象）があります。

教科に関する調査は、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題の二種類からなります。

主として「知識」に関する問題は、①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、②実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていくことが望ましい知識・技能などを調査するものです。また、主として「活用」に関する問題は、①知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、②様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する

力などに係る内容を調査するものです。

国語と算数・数学については、これまでと同様、「知識」と「活用」のそれぞれの問題ごとの調査となっています。理科については、前記専門家会議の検討のまとめに沿って、「知識」と「活用」を一体的に問う形の調査となっています。

国立教育政策研究所教育課程研究センターにおいては、教科に関する調査に係る調査問題の作成と調査結果の分析を担当しております。

この調査においては、児童生徒一人一人の学力や学習状況の把握はもとより、今後の指導や学習の改善に生かしていくことが重要であるため、調査問題の作成に当たっては、学習指導要領に示されている内容が正しく理解されるよう留意するとともに、児童生徒に身に付けさせたい力として重視されるものについての具体的なメッセージとなるように努めました。

本資料は、教科に関する調査に係る調査問題について、実施後速やかに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることができるよう、出題の趣旨や正答とその解説などをまとめたものです。

各学校や教育委員会において、日常の学習指導や教育施策の改善・充実に生かしていただければ幸いです。特に、学校においては、調査対象となる学年や教科以外の先生方を含め、学校全体で活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました皆様、調査に参加していただいた教育委員会、学校の皆様、本資料の作成に当たり御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成二十四年四月

国立教育政策研究所 教育課程研究センター長

神代 浩

平成二十四年度

## 全国学力・学習状況調査 解説資料について

### ●本書の目的

本書は、平成二十四年度全国学力・学習状況調査の実施後速やかに、学校における児童生徒への学習指導の改善等に役立てることができるよう、教科に関する調査に係る調査問題についての解説などをまとめたものである。

調査問題は、設問ごとの正答率や解答の状況から学習上の課題を把握し、学習指導の改善等につなげることができるよう作成している。

本書においては、問題ごとの出題の趣旨や正答とその解説、その問題と関連して今後の学習指導において参考となる事柄を記述するとともに、設問ごとに予想される解答を整理した解答類型を掲載した。

教科に関する調査については、設問ごとに出題の趣旨に即して解答として求める条件を定め、これに基づいて採点を行っている。解答類型は、採点の際に単なる正誤のみならず、具体的な解答の状況を分析し、学習指導の改善等につなげることができるよう、設問ごとに設定する条件などに即して解答を分類し整理したものである。

教育委員会及び学校等において採点や調査の結果を踏まえた学習指導の改善等を行うに際し、本書を有効に御活用いただき

たい。

### ●本書の内容・構成

#### I 中学校国語科の調査問題作成に当たって

調査問題作成の基本方針として、調査問題の出題範囲、問題作成の枠組みについて解説した。

#### II 調査問題の解説

問題ごとに、出題の趣旨、正答とその解説などについて記述した。

##### 1 出題の趣旨

問題ごとに把握する力、場面設定などについての解説を記述するとともに、学習指導要領における領域・内容及び評価の観点などを示した。なお、学習指導要領については、原則として、平成十年告示の内容を記載した。

##### 2 解説

設問ごとの正答及び誤答などについての解説を記述した。

### 3 学習指導に当たって

出題の趣旨を踏まえて、今後の学習指導において参考となる事柄を記述した。

### 4 出典等

著作物からの出題の場合、書名や著者名などを記述した。

### Ⅲ 調査問題等

調査問題、解答用紙及び正答（例）を掲載した。なお、著作権の都合により問題の一部を省略した。

※ 本調査においては、障害のある児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒に対して、点字問題、拡大文字問題、総ルビ付き問題を用意した。

なお、点字問題については、問題が一部異なっており、本書ではその部分を掲載した。

### 2 解答類型

設問ごとの正答、予想される誤答、無解答などを最大十種類に分類し整理した。

正答については、設問の趣旨に即して解答として求める条件を定め、その条件を全て満たしているものを◎で表し、設問の趣旨に即し必要な条件を満たしているものを○で表した。

なお、解答類型には次のように番号を付けた。

類型 1～類型 8（最大） …… 正答・予想される誤答の類型

（複数の類型が正答となる問題もある）

類型 9 …… 「上記以外の解答」（類型 1

から類型 8までに含まれない

解答）

類型 0 …… 「無解答」（解答の記入のないもの）

### 3 質問紙調査項目（教科関連部分）

質問紙調査項目のうち、中学校国語科の教科に関する項目を掲載した。

### 1 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめた。

（裏表紙の方から見るページ）

# 目次

|     |                     |     |
|-----|---------------------|-----|
| I   | 中学校国語科の調査問題作成に当たって  | 5   |
| II  | 調査問題の解説             |     |
| A   | 主として「知識」に関する問題      | 9   |
| 1   | 資料を使って話す            | 10  |
| 2   | 手紙を書く               | 14  |
| 3   | 文学的な文章を読む           | 18  |
| 4   | スピーチをする             | 22  |
| 5   | 図を用いた文章を書く          | 26  |
| 6   | 説明的な文章を読む           | 30  |
| 7   | 言語事項等               | 34  |
| B   | 主として「活用」に関する問題      | 51  |
| 1   | 対談を聞く（「美しい日本語とは」）   | 52  |
| 2   | 説明的な文章を書き換える（使用説明書） | 60  |
| 3   | 物語を朗読する（「二ひきの蛙」）    | 68  |
| III | 調査問題等               |     |
|     | 国語A（主として「知識」に関する問題） | 75  |
|     | 国語B（主として「活用」に関する問題） | 77  |
|     | 解答用紙                | 101 |
|     | 正答（例）               | 117 |
|     | 点字問題（抜粋）            | 123 |
|     | 点字問題（抜粋）            | 129 |
| 1   | 調査問題一覧表             | 1   |
| A   | 主として「知識」に関する問題      | 2   |
| B   | 主として「活用」に関する問題      | 4   |
| 2   | 解答類型                |     |
| A   | 主として「知識」に関する問題      | 5   |
| B   | 主として「活用」に関する問題      | 17  |
|     | 点字問題部分              | 25  |
| 3   | 質問紙調査項目（教科関連部分）     | 29  |

（裏表紙の方から見るページ）

# Ⅰ 中学校国語科の調査問題作成に当たって

## 1 調査問題の出題範囲

「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」(平成十八年四月)では、調査問題の出題範囲・内容について、各学校段階における各教科等の土台となる基盤的な事項に絞った上で、問題作成の基本理念を以下の二つに整理している。

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにすることが望ましい知識・技能など(主として「知識」に関する問題)
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容(主として「活用」に関する問題)

また、本調査の実施によって、「各教育委員会や各学校に対して、学習指導要領に示される内容を正しく理解するよう促すとともに重視される力を子どもたちに身に付けさせる」よう働きかけることになるとしている。

具体的な調査問題の作成に当たっては、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としている。

国語科の調査問題においては、例として、以下のような観点を盛り込むことや工夫をすることを挙げている。

- 主として「知識」に関する問題(以下、『知識』の問題)という。

- ・ 描写、要約、紹介、説明、記録、報告、対話、討論などの基礎的な言語活動に関すること

- ・ 表現したり理解したりするための言語事項の基礎的な知識技能に関すること

- ・ 我が国の言語文化に親しむ内容に関すること など

- 主として「活用」に関する問題(以下、『活用』の問題)という。

- ・ 日常生活や社会生活で必要とされる読書・鑑賞・創作などの言語の活動の活用に関すること

- ・ 文章を読んで筆者の主張の内容やその表現方法などを評価すること

- ・ 伝えたい内容をまとめ表現すること

- ・ 様々なメディアを活用することによって課題を多角的に探究すること など

本調査の調査問題は、以上の点を踏まえながら、中学校学習指導要領(平成十年告示)に示された国語科の目標・内容等に基づいて作成することを基本とした。

なお、本年度より中学校学習指導要領(平成二十年告示。以下、新学習指導要領とする。)に基づいて指導が行われているため、各設問においては新学習指導要領との関連を明記している。

## 2 問題作成の枠組み

### (1) 領域等と評価の観点

調査問題の作成に当たっては、「知識」の問題、「活用」の問題ともに、学習指導要領に示されている三領域一事項（話すこと・聞くこと、「書くこと」、「読むこと」、「言語事項」）に基づいて、その全体を視野に入れることとした。その上で、各領域等に示されている指導事項を踏まえ、幅広く生徒の学力の状況を捉えることとした。実際の問題作成では、学習指導要領に示された指導事項がバランスよく出題されるように配慮した。また、「話すこと・聞くこと」の領域については、生徒が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近づけた出題となるようにした。

〈改善の具体的な方向と指導のねらい〉

|   |   |
|---|---|
| <p>ア テキストを理解・評価しながら読む力を高めること</p>                  | <p>(ア) 目的に応じて理解し、解釈する能力の育成<br/>         (イ) 評価しながら読む能力の育成<br/>         (ロ) 課題に即応した読む能力の育成</p> |
| <p>イ テキストに基づいて自分の考えを書く力を高めること</p>                 | <p>(ア) テキストを利用して自分の考えを表現する能力の育成<br/>         (イ) 日常的・実用的な言語活動に生かす能力の育成</p>                    |
| <p>ウ 様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実すること</p> | <p>(ア) 多様なテキストに対応した読む能力の育成<br/>         (イ) 自分の感じたことや考えたことを簡潔に表現する能力の育成</p>                   |

中学校学習指導要領は、学校や生徒の実態に応じた重点的な指導が行われるように、目標や内容を「第一学年」、「第二学年及び第三学年」の二つのまとまりで示している。そのため、目標や内容の観点からは明確に第二学年と第三学年とを区別することができない。調査問題の作成に当たっては、教科書を参考にして中学校における実際の指導などを考慮しながら、中学校第二学年までの内容となるように配慮した。

また、「読解力向上に関する指導資料」PISA調査（読解力）の結果分析と改善の方向（平成十七年十二月 文部科学省）では、読解力の向上に関する指針として「指導のねらい」を示しており（上表参照）、ここに示された七つの視点についても調査問題に盛り込まれるように配慮した。

さらに、中学校学習指導要領の総則「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」に示されている以下の点にも配慮した。

- 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
  - 学校生活全体を通して、言語に対する関心や理解を深め、言語環境を整え、生徒の言語活動が適正に行われるようにすること。
  - 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。
- 評価の観点については、国語科で行われている評価の五つの観点を用い、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」とした。なお、「国語への関心・意欲・態度」の評価については、基本的には「生徒質問紙調査」を中心に把握することとした。

## (2) 「知識」の問題の枠組み

「知識」の問題は、各設問の出題の趣旨が学習指導要領の一つの指導事項に対応することを基本としている。

また、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言語事項」の三領域一事項の全てからの出題となるように留意した。

「知識」の問題の例としては、実生活において不可欠な知識・技能、学習を進める共通の基礎・基本となる知識・技能という二つの観点から、次のような言語の能力を挙げることができる。

- ① 目的や場に応じた言葉遣いができること
- ② 文字や表記を正しく用いることができること
- ③ 表現したり理解したりするために必要な語句を身に付けていること
- ④ 文や文章の構成の仕方を理解し、表現に役立てることができること

## (3) 「活用」の問題の枠組み

「活用」の問題作成に当たっては、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」に示された例や学習指導要領に示された言語活動例を参考に、実生活の具体的な場面や生徒が授業などで実際に行っている言語活動を想定したものにすることを基本とした。そのため、「活用」の問題は、一つの領域だけでなく、複数の領域にまたがって出題している場合もある。例えば、読んだ文章について評価したり自分の意見を書いたりするなど、読むことのみにとどまらず、自分の考えなどを記述する問題を出題している。その際には、「評価しながら読む能力」や「テキストを利用して自分の考えを表現する能力」など、「読解力向上

に関する指導資料」に示された七つの視点に沿った出題も含むよう工夫した。これらの問題は、一つに限定される正答を書くのではなく、いくつかの選択肢やいろいろな考え方があつたものについて、自分の考えを明確にもつて記述するものとなるように配慮した。

「活用」の問題の例としては、知識・技能を実社会の中で活用する能力という観点から、次のようなものを挙げることができる。

- ① 現実的、社会的な状況の変化に対応しながら、言葉を介して人間関係を築いたり、社会と積極的に結び付きをもったりすることができること
- ② 調査・研究するために、自分で課題を設定したり課題を追究したりすることができること
- ③ 読んだり聞いたりしたものについて、評価したり応用したりすることができること

## (4) 問題形式について

問題形式は、選択式、短答式、記述式の三つとした。

- ① 選択式：複数の選択肢の中から番号・記号を選び解答するもの
- ② 短答式：語句や短い文、数値などで解答するもの
- ③ 記述式：自分で解答を練り、文あるいは文章で解答するもの

## (5) 記述式問題について

「活用」の問題には、各大問の中に一題程度、書かせる字数の限度を一〇〇字程度として、記述式の問題を取り入れている。

記述式の問題は、次の①と②との二つの観点から作成した。

① 解釈や説明をする

文章などを読み、書かれている内容について解釈や説明をしたり、自分が考えたことを説明したりすることが中心となる記述

説明的な文章を書き換える問題（国語B②）の設問三がこれに該当する。シャッターボタンの押し方を分かりやすく説明するという目的で、デジタルカメラの使用説明書を祖母向けに書き換えることができるかどうかをみる問題である。資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くことを求めている。

また、物語を朗読する問題（国語B③）の設問三もこれに該当する。「二ひきの蛙」を朗読する際に、どのように朗読したらよいかを理由とともに書くことができるかどうかをみる問題である。物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書くことを求めている。

② 感想や意見を述べる

文章などを読み、読んだことと関連付けて自分の感じたことや考えたことを分かりやすく述べるものが中心となる記述

対談を聞く問題（国語B①）の設問三がこれに該当する。「美し

い日本語とは」をテーマに対談している文章を読み、これからのような言葉の使い方をしていかについて、自分の考えを具体的にもつことができるかどうかをみる問題である。相手の発言の内容を注意して聞き、自分の考えを書くことを求めている。

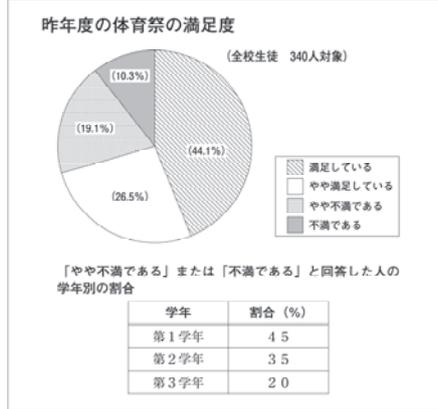
## Ⅱ 調査問題の解説

### A 主として「知識」に関する問題

## 1 資料を使って話す

1 前田さんは、体育祭について、資料を示しながら全校生徒の前で話をします。次は、その【資料】と【語の内容】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】

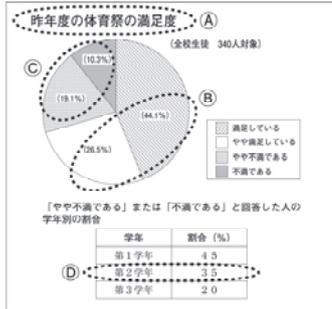


【語の内容】

今年も、体育祭が近づいてきました。そこで今日は、昨年度行われた体育祭について話します。グラフを見て下さい。(ア)このグラフは、昨年度の体育祭の満足度を表しています。全校生徒の約七割の人が「満足している」、「やや満足している」と答えています。一方、「やや不満である」、「不満である」と答えた人は約三割いました。その学年別の割合は、下の表のようになります。(イ)二、三年生に比べて、一年生は満足度が低いことが分かります。その理由として、「学級がうまくまとまらなかった」、「練習どおりにできなかった」のような意見がありました。今年度は全年生の生徒が満足できるように、みんなで力を合わせてがんばりましょう。(ウ)最後に連絡です。本日、体育祭の実行委員会を行います。(エ)実行委員は、放課後三年一組に集まってください。以上で終わります。

1 線部「全校生徒の約七割の人が「満足している」、「やや満足している」と答えています。」と答えています。一方、「やや不満である」、「不満である」と答えた人は約三割いました。」と説明するとき、【資料】の(ア)から(エ)までの、どこどこを、どのように指し棒で指したらよいですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

【資料】



- 1 (A)の範囲を指したあと、(B)の範囲を指す。
- 2 (B)の範囲を指したあと、(C)の範囲を指す。
- 3 (C)の範囲を指したあと、(D)の範囲を指す。
- 4 (D)の範囲を指したあと、(A)の範囲を指す。

2 前田さんは、話題が変わるところで大きく間を取って話そうと思います。【語の内容】の(ア)から(エ)までのどこで間を取ったらよいですか。最も適切なものを一つ選びなさい。



## 1 出題の趣旨

- 資料を使って話す際に、次のことができるかどうかをみる。
- 自分の話を聞き手に理解してもらえらるるように、資料を用いて話すこと
- 間の取り方に注意して話すこと

ここでは、資料を示しながら、全校生徒に昨年度の体育祭の満足度について説明する場面を設定した。

聞き手に理解してもらえらるるように、資料を効果的に活用して話すことと、伝えたい内容を聞き手が理解しやすいように、適切に間を取って話すことを求めている。

## 2 解説

### 設問1

■正答について

正答は、選択肢2である。

線部の前半は、「満足している」、「やや満足している」という結果について話しているので、(B)の範囲を指す。後半では、「やや不満である」、「不満である」という結果について話しているのので、(C)の範囲を指す。

### 設問2

■正答について

正答は、(ウ)である。

(ウ)より前は、全校生徒に向けて昨年度の体育祭の満足度や今年度の体育祭について述べている。(ウ)より後は、実行委員会に向けて連絡事項を述べている。(ウ)の後で、伝える対象や話題が変わっているのので、(ウ)で大きく間を取るの

〈目的や相手、場面に応じた工夫〉



- ・ 数名の聞き手に対して、フリップを用いて説明。



- ・ 一人の生徒が大勢の聞き手に向けて、スクリーンとマイクを用いて説明。

### 3 学習指導に当たって

- (1) 資料を使って話す際には、話の内容を補足するためにグラフや表を用いることがある。指導に当たっては、資料の内容、文字や図表などの大きさ、提示するタイミングなどを、目的や相手、場面に応じて工夫させるようにすることが大切である。  
社会生活においても、会議で新しい企画を説明したり、調査したことを報告したりする際に、資料や機器などを効果的に使い、話の内容を分かりやすく相手に伝えることが求められる。

よい。

#### ■誤答について

- (1) (ア) ↓ (ア) の前後は、いずれもグラフについての話題であり、伝える対象も変わっていない。
- (2) (イ) ↓ (イ) の前後では、それぞれグラフと表について説明しているが、いずれも満足度についての話題であり、伝える対象も変わっていない。
- (3) (エ) ↓ (エ) の前後は、実行委員への連絡であり、話題も伝える対象も変わっていない。

- (2) 話し手の考えを聞き手に分かりやすく伝えるためには、場面や状況に応じて速度や間の取り方を工夫させる必要がある。例えば、実物や写真などを見せながらスピーチをする場合や調べたことを報告する場合に、最も伝えたいところ、話題が変わるところなどを強調するために、聞き手を意識した話す速度や間の取り方を考えさせることが大切である。

#### ■新学習指導要領では

第一学年「話すこと・聞くこと」では、「ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。」という指導事項が示されている。第二学年「話すこと・聞くこと」では、「ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。」という指導事項が示されている。  
なお、本設問に関連する言語活動例としては、「ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。」がある。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問   | 出題の趣旨  |  | 学習指導要領との関連   |  | 評価の観点                   | 正答                             |
|--|--|--|--|--|-------------------------|--------------------------------|
| 一  | <p>自分の話を聞き手に理解してもらえるように、資料を用いて話すことができるかどうかをみる。</p> |  | <p>A 話すこと・聞くこと（第一学年）<br/>ア 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえ<br/>るように話したり、話し手の意図を考えながら<br/>話の内容を聞き取ったりすること。<br/>《考えや意図》</p> <p>〔※ A 話すこと・聞くこと（第二学年）<br/>ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的<br/>に活用して話すこと。《話すこと》〕</p> |  | 話す・聞く<br>能力             | 2<br>②、③の範囲を指したあ<br>と、④の範囲を指す。 |
| 二  | <p>間の取り方に注意して話すことができるかどうかをみる。</p>                  |  | <p>言語事項(1)（第一学年）<br/>ア 話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方な<br/>どに注意すること。《音声》</p> <p>〔※ A 話すこと・聞くこと（第一学年）<br/>ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相<br/>手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた<br/>言葉遣いなどについての知識を生かして話すこ<br/>と。《話すこと》〕</p> |  | 言語につい<br>ての知識・<br>理解・技能 | (ウ)                            |
| <p>学習指導要領に示されている言語活動例<br/>〔※ 左側は、本設問に関連した新学習指導要領<br/>に示されている言語活動例〕</p> |  |  | <p>説明や発表などを行うこと。<br/>〔※ 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べた<br/>りすること。（第二学年）〕</p>  |  |                         |                                |



## 2 手紙を書く

2 中学生の長井さんは、六年生のときの担任の先生に手紙を書いています。次は、その「手紙の下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【手紙の下書きの一部】

拝啓

ようやく春めいてまいりました。松山先生、いかがお過ごしですか。きっといつもの優しい笑顔で授業をされていると思います。

私は三年生になり、勉強と部活動とを両立させ、充実した中学校生活を送っています。

一 手紙の始めに書かれる「線部」「ようやく春めいてまいりました。」のような言葉を何と言いますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 頭語
- 2 結語
- 3 後付け
- 4 時候のあいさつ

二 長井さんは、文章を読み返して、「線部」「ようやく春めいてまいりました。」のあとに、次のように書き足しました。書き足した内容から分かる長井さんの工夫として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

六年生のとき遠足で行った川原の土手にも、つくしが顔を出しています。

- 1 相手と共有できる話題を取り上げることで、一層親しみをもって読んでもらえるようにしている。
- 2 中学校生活の様子を詳しく報告することで、相手に具体的なイメージを伝えるようにしている。
- 3 話題に対する自分の立場とその根拠を示すことで、より説得力をもたせるようにしている。
- 4 相手を気づかう表現を加えることで、相手を不快な気持ちにさせないようにしている。

## 1 出題の趣旨

- ・ 手紙を書く際に、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 手紙の形式を理解して書くこと
- ・ 相手に応じて文章を書き直すこと

ここでは、六年生のときの担任の先生に手紙を書く場面を設定した。手紙の頭語の後には一般に時候の挨拶が書かれることを理解していることと、書いた手紙を読み直し、相手に応じて書き直すことを求めている。

## 2 解説

### 設問一

■ 正答について

正答は、選択肢4である。時候の挨拶は、手紙を書くときの季節に合った内容を織り込み、頭語の後に書かれる。「線部は、頭語の後に書かれ、季節に触れていることから「時候のあいさつ」であることが分かる。

■ 誤答について

- (1) 選択肢1 ↓ 頭語は手紙の書き出しの語であり、「拝啓」、「前略」などがある。
- (2) 選択肢2 ↓ 結語は手紙の結びの語であり「敬具」、「草々」などがある。
- (3) 選択肢3 ↓ 後付けは、手紙の本文の後に付ける、日付・署名・宛名などの部分である。

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A2<sup>②</sup>では、手紙の頭語について理解しているかどうかをみる問題を出題している。  
(正答率 八五・六%)

## 設問二

### ■正答について

正答は、選択肢1である。  
六年生のときの担任の先生に向けて、相手と共有できる話題として「六年生のとき遠足で行った川原の土手」の現在の状況を取り上げ、一層親しみをもって手紙を読んでもらえるように工夫している。

### ■誤答について

- (1) 選択肢2 ↓ 中学校生活の様子を詳しく報告しようとしたものではない。
- (2) 選択肢3 ↓ 話題に対する自分の立場とその根拠を示そうとしたものではない。
- (3) 選択肢4 ↓ 相手を気遣う表現を加えようとしたものではない。

## 3 学習指導に当たって

- (1) 手紙を書くことの指導に当たっては、手紙の基本的な形式について理解させるだけでなく、手紙の形式がもつ意味を考えさせることが大切である。小学校においても手紙の基本的な形式については指導している。中学校ではそのことを踏まえて、様々な機会を捉えて手紙を書く活動を設定し、頭語・結語、時候の挨拶などが果たす役割を考えながら書くように指導することが大切である。その際、職場体験でお世話になった方にお礼の手紙を書いたり、他校の生徒と手紙を交換したりするなどの学習活動を取り入れて指導することが有効である。

<日本郵便 お手紙文例集(レターナビ)の一部>

<http://www.post.japanpost.jp/navi/main.html>

- (2) 手紙には長い間、多くの人々によって使われてきた慣用的な語句や言い回しがある。それらについて知り、自分の表現に取り入れることは、言語文化に親しむ上で重要である。一方、手紙が単なる形式的なものに終始してしまわないように、相手に応じた話題を取り上げたり、適切な語句を用いたりすることなどについても考えさせたい。
- なお、手紙の書き方については、国語の資料集、書籍やウェブ上でも多く紹介されている。例えば、次のようなウェブサイトがある。

■新学習指導要領では

第二学年「書くこと」では、「イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。」「エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。」という指導事項が示されている。

なお、本設問に関連する言語活動例としては、「ウ 社会生活に必要な手紙を書くこと。」がある。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問 | 出題の趣旨                       |  | 学習指導要領との関連<br>〔※ 左側は、各設問に関連した新学習指導要領〕  |      | 評価の観点   | 正答 |
|----|-----------------------------|--|--|------|---|----|
| 一  | 手紙の形式を理解して書くことができるかどうかをみる。  | B 書くこと（第二学年及び第三学年）<br>ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。<br>《構成》<br>〔※ B 書くこと（第二学年）<br>イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。<br>《構成》〕   | B 書くこと（第一学年）<br>エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。<br>《推敲》<br>〔※ B 書くこと（第二学年）<br>エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。<br>《推敲》〕 | 書く能力 | 4<br>時候のあいさつ                                      |    |
| 二  | 相手に応じて文章を書き直すことができるかどうかをみる。 | B 書くこと（第一学年）<br>エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。<br>《推敲》<br>〔※ B 書くこと（第二学年）<br>エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。<br>《推敲》〕 | 学習指導要領に示されている言語活動例<br>〔※ 左側は、本設問に関連した新学習指導要領に示されている言語活動例〕  | 書く能力 | 1<br>相手と共有できる話題を取り上げることで、一層親しみをもって読んでもらえるようにしている。 |    |

### 3 文学的な文章を読む

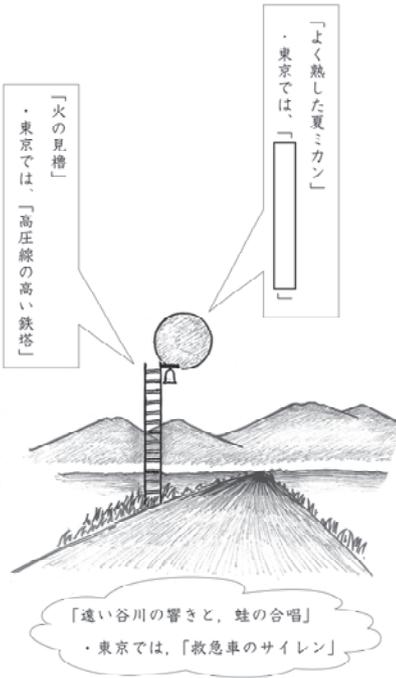
3 次の記事を読んで、あとの問いに答えなさい。

(三)浦哲郎「ユタとふしぎな仲間たち」による。

(注1) 浦哲郎「ユタとふしぎな仲間たち」による。

(注2) 半鐘は釣り鐘の小さいもの。火の見櫓に取り付けて、火災を知らせるために使われる。

一 次は、「ぼく」が見ている情景を、東京の情景と対応させて整理したものです。□に当てはまる言葉を本文中から探し、抜き出さない。



二 線部「この村の目は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法を何と言いますか。三字以内で書きなさい。(漢字、ひらがなのどちらでもよい。)

### 1 出題の趣旨

- 文学的な文章を読んで、次のことができるかどうかをみる。
- 比喩を手掛かりにしながらから文脈をたどり、内容を理解すること
- 比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解すること

ここでは、比喩を効果的に用いて情景を描写している部分を取り上げた。

比喩を手掛かりにしながらから、描写されている二つの情景の対応関係を捉えることと、表現の特徴に気付き、表現の技法である比喩として理解することとを求めている。

### 2 解説

#### 設問一

#### ■正答について

正答は、「使い古したゴルフボール」のように解答しているものである。

\* 「使い古したゴルフボールみたいに」、「使い古したゴルフボールみたい」、「ゴルフボールみたいに」、「ゴルフボールみたい」、「ゴルフボール」、「ゴルフボールだ」と解答しているものも正答とする。

この場面は、「ぼく」が今見ている情景と東京の家から見えた情景とを対応させて描いている。村の満月の大きさに驚き、東京の家から見た小さな満月を思い出している。東京の満月と比べると村の満月が「よく熟した夏ミカン」のように見えたということ捉える必要がある。「よく熟した夏ミカン」に対応しているのは、「使い古したゴルフボール」である。

※ 平成二十年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 2  
では、文章の展開に即して内容を読み取ることができるかどうかをみる問題を出題している。

(正答率) 王様を虎にたとえたと解答したもの 六四・八％  
宰相を狐にたとえたと解答したもの 五九・六％

### 設問二

#### ■正答について

正答は、「比ゆ」、「たとえ」のように解答しているものである。

\* 「比喩」、「ひゆ」、「比喩法」、「直喩」などと解答しているものも正答とする。

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。

### 【小学校 国語A 5】

5

次は、お菓子をつくっている美奈を主人公にして書かれた物語の一部です。文章の表現のくふうについて説明したものととして、もっともふさわしいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

美奈は悲鳴をあげた。スポンジケーキが焼きあがるはずだったのに、オーブンからでてきたものは真っ黒な炭だったからだ。

美奈は、このごろ日曜日にはお菓子づくりに専念している。先週はクッキーを焼いた。できあがったものは、みように歯にくっつくクチャクチャしたガムのようなものだった。そのまえの週は、ドーナツをあげた。おいしそうなきつね色にあがったのに、中は空洞だった。そのまえは、プリンをつくった。ボンボソとしたスポンジみだった。

それもこれも、今年のクリスマスには、友だち同士で手作りのお菓子をもちよって、パーティーをすることになったからだ。まったくだれがいだしたんだろう。わたしではなかった。美奈は、ため息をついた。

(柏葉幸子「大おばさんの不思議なレシピ」による)

#### 【表現のくふう】

- 1 美奈と友だちとの関係が分かるように、それぞれの性格や考え方を書いている。
- 2 美奈が体験したことを、ほかの登場人物に対して語りかけるように書いている。
- 3 美奈が取り組んだお菓子づくりのことを、つくった順序のとおり書いている。
- 4 美奈がお菓子をつくるたびに失敗してしまふ様子を、たとえを使って書いている。

### 3 学習指導に当たって

- (1) 文学的な文章を読む際には、文章の特徴や表現の仕方に着目することが大切である。表現の仕方に注意して読むことは、登場人物の心情や情景などを豊かに捉えることにつながり、文章の内容を一層深く理解する上で有効である。比喻や擬態語などに着目して読むことで、場面や事物のイメージが膨らみ、文学を楽しみむきつけかけともなる。
- (2) 比喻などの表現の技法について指導する際には、小学校で学習した内容を踏まえた上で、文章の中の具体的な表現と結び付けながら考えさせることが大切である。その際、比喻などを使って表されている事柄を、表に整理したり図に表したりして、表現の技法と文章の中の表現とを結び付けることも理解を深める上で有効である。

#### ■新学習指導要領では

第一学年「読むこと」では、「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。」という指導事項が示されている。第一学年「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(1イ)では、「(ウ) 比喻や反復などの表現の技法について理解すること。」という指導事項が示されている。

なお、本設問に関連する言語活動例としては、「ア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。」がある。

### 4 出典等

三浦哲郎『ユタとふしぎな仲間たち』（平成十八年十二月 講談社）による。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問   | 出題の趣旨  |  | 学習指導要領との関連   |  | 評価の観点                                      | 正答   |
|--|--|--|--|--|--|--|
| 一  | <p>比喩を手掛かりにししながら文脈をたどり、内容を理解することができるかどうかをみる。</p> |  | <p>学習指導要領（第一学年）<br/>イ 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。<br/>《内容把握や要約》</p> <p>〔※〕 C読むこと（第一学年）<br/>ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。<br/>《文章の解釈》</p> |  | 読む能力                                       | <p>〔例〕 使い古したゴルフボール<br/>「その他の正答例は、解答類型1を参照のこと。」</p> |
| 二  | <p>比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解することができるかどうかをみる。</p>    |  | <p>C読むこと（第二学年及び第三学年）<br/>ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。<br/>《表現の仕方》</p> <p>〔※〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ（第一学年）<br/>(オ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。】</p>           |  | 読む能力                                       | <p>〔例〕 比喩<br/>たとえ<br/>「その他の正答例は、解答類型1を参照のこと。」</p>  |
| <p>学習指導要領に示されている言語活動例<br/>〔※〕 左側は、本設問に関連した新学習指導要領に示されている言語活動例】</p> |  |  | なし   |  | <p>〔※〕 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。（第一学年）】</p> |  |

#### 4 スピーチをする

4 生徒会長の山下さんは、新入生に対して歓迎の言葉を述べることになりました。次は、その「スピーチ原稿の下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「スピーチ原稿の下書きの一部」

(メモ)

小学校との違い

○ 授業

・ 名前の変わる教材がある

・ 担当の先生が変わる

・ 難易度が高くなる

↓ 日々の積み重ね

○ 部活動

・ 文化系、体育系

↓ 見学して、合うものを選ぶ

○ 生徒会活動(小学校、児童会活動)

・ 生徒が中心

・ 多くの行事

↓ 一緒に行事を盛り上げる

(メモをスピーチ原稿にしたもの)

小学校との違いについてお話しします。

まず、授業のことです。中学校では、教科の名前

が小学校と変わるものがあり、教科ごとに担当の先

生も変わります。学習する内容も難易度が高くなる

ので、日々の積み重ねが大切になります。

二つめは、部活動のことです。部活動では、文化

系、体育系どちらもたくさんあります。じっ

くり見学して自分に合ったものを選びましょう。

三つめは、

中学校では、生徒が中心となって多くの行事に取り

組んでいます。新入生の皆さんも私たちと一緒に行

事を盛り上げていきましょう。さっさとすばらしい中

学校生活になると思います。

一 一 総部「学習する内容も難易度が高くなるので、日々の積み重ねが大切になります。」とありますが、この表現は聞き手に分

かりづらいので、聞いて分かりやすい表現に直したいと思います。次の(一)に当てはまる言葉を書きなさい。

学習する内容も( )

( )、日々の積み重ねが大切になります。

二 「スピーチ原稿の下書きの一部」にある「生徒会活動(小学校……児童会活動)」について、実際に話すように、  
に当てはまる言葉を書きなさい。」(「や」「……」を使わずに書くこと)。

#### 1 出題の趣旨

- ・ スピーチをする際に、次のことができればどうかをみる。
- ・ 聞き手や場面を意識して、適切な語句を選択して話すこと
- ・ 話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使うこと

ここでは、生徒会長が新入生に対して歓迎の言葉を述べる場面を設定した。

スピーチをする際に、聞き手や場面に応じて、聞いて分かりやすい語句を選択することと、話し言葉と書き言葉との違いを理解し、実際に話す場面にふさわしい適切な表現を使うことを求めている。

#### 2 解説

##### 設問一

■ 正答について

正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 「難易度が高くなる」という意味の言葉を、聞いて分かりやすい表現に直して書いている。
- ② 「、日々の積み重ねが大切になります。」に適切に続くように書いている。

(正答例)

- ・ 難しくなるので、日々の積み重ねが大切になります。
- ・ より難しくなっていくため、日々の積み重ねが大切になります。

「難易度」という言葉に着目し、意味を変えずに聞いて分かりやすい言葉にすることと、「難易度が高くなる」ことが日々の積み重ねが大切になることの理由であることを捉える必要がある。

■誤答について

「■正答について」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

誤答としては、例えば次のようなものが考えられる。

- ・理由を示す言葉を適切に書いていないもの（解答類型2）
- (例) 難しくなるのに、日々の積み重ねが大切になります。

\* 理由を示すべきところを、逆接の関係にしている。

- ・「難易度が高くなる」の意味を正確に捉えていないもの

(解答類型3)

- (例) ・分からないので、日々の積み重ねが大切になります。

・易しくなるので、日々の積み重ねが大切になります。

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A1

では、聞き手を意識して使用する語句を工夫することができるかどうかをみる問題を出題している。（正答率 八七・〇％）

設問二

■正答について

正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 「生徒会活動（小学校……児童会活動）」という情報を適切に入れている。

- ② 「三つめは、」に適切に続き、「（）」や「……」を必ず書いている。

- ③ 歓迎の言葉にふさわしい言葉遣いで書いている。

(正答例)

- ・（三つめは、）小学校では児童会活動と言われている生徒会活動のことです。
- ・（三つめは、）生徒会活動のことです。小学校では児童会活動と呼んでいたと思います。

「生徒会活動」、「小学校」、「児童会活動」の三つの単語の関係を的確に捉え、前後のつながりを考えて歓迎の言葉にふさわしい言葉遣い（丁寧語）で話しているものを正答とする。また、話し言葉では用いない「（）」や「……」などの記号の意味も考えて解答する必要がある。

なお、次のものも正答とする。

- ・条件①について、「生徒会活動」を「生徒会の活動」や「生徒会」と表現したり、「児童会活動」を「児童会の活動」や「児童会」と表現したりしているもの（例示の傍線部は関係箇所）

- (例) （三つめは、）小学校では児童会と言われていた生徒会のことです。

- ・条件②について、後の一文に読点でつなげて書いているもの

- (例) （三つめは、）小学校では児童会活動と言われていた生徒会活動のことですが、

■誤答について

「■正答について」に示した三つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

- ・誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。
- ・歓迎の言葉にふさわしい言葉遣いではないもの

(解答類型2)

- (例) ・（三つめは、）小学校では児童会活動と呼ばれていた生徒会活動のことだ。

- ・（三つめは、）生徒会活動のことだよ。小学校のときには、児童会活動って呼んでいたと思うけれど。

・ 「三つめは、」に適切に続いていないもの

(解答類型3)

(例) (三つめは、) 小学校では児童会活動と呼ばれていた生徒会活動だからです。

・ 「生徒会活動(小学校…児童会活動)」という情報を適切に入れていないもの  
(解答類型4)

(例) (三つめは、) 小学校のときに、児童会活動と呼ばれていたことについてです。

\* 「生徒会活動」という情報を入れていない。

(例) (三つめは、) 生徒会活動です。小学校、児童会活動です。

\* 「小学校」と「児童会活動」との関係が明確ではない。

### 3 学習指導に当たって

(1) スピーチをする際には、話し言葉と書き言葉との違いを意識することが大切である。話し言葉では、聞いて分かりやすい言葉や表現を用いる必要がある。指導においては、話し言葉と書き言葉との違いを踏まえた上で、生徒が互いの原稿を声に出して読み合っている、内容や伝え方について質問したり助言し合ったりするような学習活動が有効である。

社会生活の中では、原稿を作成して話す場合もあれば、メモなどを見ながら話す場合もある。どちらにも対応できるような指導が大切である。

(2) スピーチ原稿を書かせる際には、話すことを前提とした原稿であることを意識させる必要がある。例えば、「( )」や「……」の表記などを用いた場合には、実際にどのように声に出してスピーチするかを考えさせることが大切である。

#### ■新学習指導要領では

第一学年「話すこと・聞くこと」では、「ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。」という指導事項が示されている。第二学年「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(1)イでは、「ア 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。」という指導事項が示されている。

なお、本設問に関連する言語活動例としては、「ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。」がある。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問 | 出題の趣旨                                  |  | 学習指導要領との関連<br>〔※ 左側は、各設問に関連した新学習指導要領〕 |  | 評価の観点 | 正答 |
|----|--|--|---------------------------------------|--|-------|----|
| 一  | 聞き手や場面を意識して、適切な語句を選択して話すことができるかどうかをみる。 | <p>A 話すこと・聞くこと（第二学年及び第三学年）<br/>ウ 話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。</p> <p>《語句や文》</p> <p>〔※ A 話すこと・聞くこと（第一学年）<br/>ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。《話すこと》〕</p> | 話す・聞く能力                               | <p>〔例〕 難しくなるので（、日々の積み重ねが大切になります。）<br/>〔その他の正答例は、解答類型を参照のこと。〕</p>         |       |    |
| 二  | 話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使うことができるかどうかをみる。  | <p>言語事項(1)（第一学年）<br/>カ 話し言葉と書き言葉との違いについて理解し、適切に使うこと。</p> <p>《言語生活》</p> <p>〔※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ（第二学年）<br/>(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。〕</p>   | 言語についての知識・理解・技能                       | <p>〔例〕（三つめは、）小学校では児童会活動と言われていた生徒会活動のことです。<br/>〔その他の正答例は、解答類型を参照のこと。〕</p> |       |    |

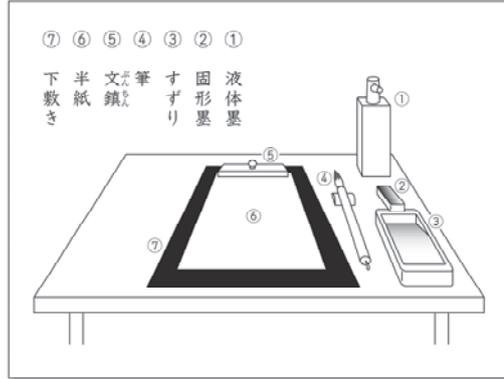
学習指導要領に示されている言語活動例  
〔※ 左側は、本設問に関連した新学習指導要領に示されている言語活動例〕

説明や発表などを行うこと。  
〔※ 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。（第一学年）〕

## 5 図を用いた文章を書く

5 田中さんの学校では、外国からの留学生に日本の文化を紹介するために図と文章を準備しています。次は、毛筆の書写について「田中さんが準備した図」と「田中さんが書いた文章の下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔田中さんが準備した図〕



〔田中さんが書いた文章の下書き〕

毛筆の書写は、筆に墨をつけて文字を書くものです。用具は、図のように置きます。⑥の半紙は、⑦の下敷きの上に置きます。書くときは、③のすずりに①の液体墨を注ぐか、すずりに水を入れて、②の固形墨をすりませます。ここまでの準備ができたなら、墨を④の筆の毛の部分に含ませ、すずりで毛の先を整えて書きます。

一 〔田中さんが書いた文章の下書き〕の文章の特徴として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 用具の特徴を示し、他の筆記具と比較して説明している。
- 2 図と関連させて、用具の使い方について簡潔に説明している。
- 3 伝える事柄を絞り、図に示された番号の順番に説明している。
- 4 専門用語の意味を明らかにし、用具の素材を詳しく説明している。

二 田中さんは、⑤の文鎮の説明がないことに気付きました。〈 〉のあとに文鎮について説明する一文を加えようと思います。次に当てはまる言葉を、「⑤の文鎮は、」に続けて、十五字以内で書きなさい。

⑤の文鎮は、

\_\_\_\_\_。

## 1 出題の趣旨

- ・ 図を用いた文章を書く際に、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 伝えたい事柄を明確にして書くこと
- ・ 必要な情報が相手に伝わるように説明すること

ここでは、外国からの留学生に、日本文化の一つである毛筆について紹介する場面を設定した。

図を用いて説明する文章を書く際に、伝えたい事柄を明確にして文章を書くことと、必要な情報が相手に伝わるように説明を書き加えることを求めている。

なお、本設問は中学校国語B2と関連している。図と関連させて適切に説明することができるかどうかを、二つの問題の解答状況を併せて捉えることが重要である。

## 2 解説

### 設問一

#### ■ 正答について

正答は、選択肢2である。

田中さんは、毛筆の書写について分かりやすく紹介するために、図と関連させて説明する文章を準備している。説明する文章では、用具の使い方などについて簡潔に説明している。

#### ■ 誤答について

- (1) 選択肢1 ↓ 他の筆記具と比較して説明していない。
- (2) 選択肢3 ↓ 図に示された番号の順番に説明していない。
- (3) 選択肢4 ↓ 専門用語の意味や用具の素材を詳しく説明していない。

## 設問二

### ■正答について

- 正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものである。
- ① 文鎮の使い方や役割についての説明を適切に書いている。
  - ② 「⑤の文鎮は、」に適切に続くように、一文かつ十五字以内で書いている。

### (正答例)

- ・ (⑤の文鎮は、) 半紙の上の方に置きます。(十一字)
- ・ (⑤の文鎮は、) 半紙を押さえるためのものです。(十四字)

【田中さんが書いた文章の下書き】では、毛筆の書写とは何かについて述べた後、各用具の使い方などを説明している。したがって、文鎮についても使い方などについて説明する必要がある。

### ■誤答について

「■正答について」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。

- ・ 「⑤の文鎮は、」に適切に続いていないもの（解答類型2）
- (例) (⑤の文鎮は、) 半紙の上の方に文鎮を置きます。(十四字)

・ 文鎮の使い方や役割についての説明を適切に書いていないもの

- (例) ・ (⑤の文鎮は、) 重要な書写の用具の一つです。(解答類型3)
- ・ (⑤の文鎮は、) 丸い突起が付いています。(十三字)
- ・ (⑤の文鎮は、) 丸い突起が付いています。(十一字)

\* 文鎮の使い方や役割の説明ではない。

(例) (⑤の文鎮は、) 半紙の上の方に置くだろう。(十二字)

\* 説明として適切な文末ではない。

### 3 学習指導に当たって

- (1) 説明する文章を書く際には、伝えたい内容を明確にして、相手や目的に応じて分かりやすく書くことが大切である。その際、より分かりやすく相手に伝えるために図を用いることも多い。図などを用いて説明する場合、図に描かれている内容と文章に書く内容とを整理した上で、図と文章とを適切に関連させて書くことが重要である。例えば、学校紹介のパンフレットを作成する際に校内の案内図を入れるなど、図を使用することによって効果的に内容を伝えられるような場面を設定することが有効である。

- (2) 説明する文章を書く際には、相手や目的に応じて必要な事柄を選び、分かりやすい文章の展開を考えて書く必要がある。その際、伝えたい事柄が的確に盛り込まれているかなどを確認した上で書くように指導することが大切である。

### ■新学習指導要領では

第二学年「書くこと」では、「イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。」「ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。」という指導事項が示されている。

なお、本設問に関連する言語活動例としては、「イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。」がある。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問   | 出題の趣旨                                    | 学習指導要領との関連  | 評価の観点                                      | 正答   |
|--|--|---|--|--|
| 一  | <p>伝えたい事柄を明確にして書くことができるかどうかをみる。</p>      | <p>学習指導要領との関連<br/>                     【※】左側は、各設問に関連した新学習指導要領】</p> <p>B書くこと（第二学年及び第三学年）<br/>                     ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。<br/>                     《構成》</p> <p>【※】 B書くこと（第二学年）<br/>                     イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。<br/>                     《構成》</p>  | <p>評価の観点<br/>                     書く能力</p> | <p>2<br/>                     図と関連させて、用具の使い方について簡潔に説明している。</p>   |
| 二  | <p>必要な情報が相手に伝わるように説明することができるかどうかをみる。</p> | <p>学習指導要領との関連<br/>                     【※】左側は、本設問に関連した新学習指導要領に示されている言語活動例】</p> <p>B書くこと（第二学年及び第三学年）<br/>                     エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。<br/>                     《記述》</p> <p>【※】 B書くこと（第二学年）<br/>                     ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。<br/>                     《記述》</p> | <p>書く能力</p>                                | <p>【例】<br/>                     (⑤の文鎮は) 半紙の上の方に置きます。(。)<br/>                     (十一字)<br/>                     「その他の正答例は、解答類型を参照のこと。」</p> |
| <p>学習指導要領に示されている言語活動例<br/>                     【※】左側は、本設問に関連した新学習指導要領に示されている言語活動例】</p> |  | <p>なし</p>   | <p>【※】 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。(第一学年)】</p>   |  |

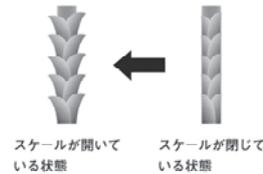


## 6 説明的な文章を読む

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

羊毛でできた衣服は、洗濯の仕方に注意しないと縮んでしまうことがあります。このような現象は、どうして起こるのでしょうか。これは、羊毛のもっている性質によるものです。羊毛の表面には、スケールと呼ばれるギザギザしたうろこ状のものがあります。このスケールは、乾燥状態だと閉じているのですが、水にぬれると開きやすくなるという性質をもっています。スケールが開いた状態で強くこすりたりも洗いをしたりすると、繊維どうしがからみ合っすぎてスキマがなくなりフェルト収縮と呼ばれる現象が起き、縮んでしまいます。これを防ぐためには、押すように手洗いをすることが大切です。また、水の温度を途中で変えることも厳禁です。急な温度変化は、繊維に強い力をかけたのと同じことになり、やはり縮んでしまう原因となります。

もう一つ忘れてはいけないことがあります。それは、羊毛がアルカリ性や高温に弱いたんばく質でできているということです。アルカリ性の洗剤や高温のお湯で洗うと、繊維そのものが変質してしまい、羊毛が本来もっている柔らかさが失われてしまいます。それを防ぐためには、中性洗剤を使い、三十度程度のぬるま湯で洗うのがよいとされています。最初から最後まで冷たいままの水を使ってもよいのではないかと思う方がいるかもしれませんが、それは洗浄力が落ちます。衣服には取り扱い絵表示が付いていて、洗濯をする際に気をつける内容が示されています。お気に入りのセーターやカーディガンなどを長く大切に着るためにも、洗濯の仕方について正しい知識をもっておきたいものです。



一 線部「このような現象」とありますが、何と呼ばれていますか。本文中から探し、六字で抜き出してください。

二 次は、衣服に付いている取り扱い絵表示の一つです。羊毛でできた衣服を踏まえて洗濯する場合、次の取り扱い絵表示の内容に加えて気をつけなければならないことは何ですか。あとの1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。



- 1 アルカリ性の洗剤で洗うこと。
- 2 高温のお湯で洗うこと。
- 3 中性洗剤で洗うこと。
- 4 ぬるま湯で洗うこと。

## 1 出題の趣旨

- ・ 説明的な文章を読んで、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 文章の展開に即して内容を捉えること
- ・ 目的に応じて必要な情報を読み取ること

ここでは、羊毛でできた衣服の洗濯の仕方について説明する文章を取り上げた。

文章の展開に即して内容を正確に理解することと、目的に応じて必要な情報を読み取ることを求めている。

## 2 解説

### 設問一

■ 正答について

正答は、「フェルト収縮」と解答しているものである。「このような現象」とは、直前で説明されている「羊毛でできた衣服が」縮んでしまうことである。文章の展開に即して内容を理解しながら読み進め、この現象がどのような言葉に言い換えられているかを捉える必要がある。

### 設問二

■ 正答について

正答は、選択肢3である。本文には、羊毛でできた衣服を洗濯する場合は、「押すように手洗いするなど優しく扱うことが大切」、「水の温度を途中で変えることも厳禁」、「中性洗剤を使い三十度程度のぬるま湯で洗うのがよい」とある。それらを踏まえると、取扱い絵表示の内容に加える情報は、「中性洗剤で洗うこと。」である。

### ■誤答について

- (1) 選択肢1↓アルカリ性の洗剤で洗うことは、繊維そのものが変質する原因として示されている。
- (2) 選択肢2↓高温のお湯で洗うことは、繊維そのものが変質する原因として示されている。
- (3) 選択肢4↓本文に「二十程度程度のぬるま湯で洗うのがよい」とあり、ぬるま湯で洗うことは、取扱い絵表示の中の「30」で既に示されている。

### 3 学習指導に当たって

- (1) 説明的な文章は、中心となる部分とそれを支える付加的な部分、事実を述べた部分と意見を述べた部分などで構成されている。指導する際には、中心となる話題や重要な言葉が、文章全体の中でどのように位置付けられているのかを捉えさせることが大切である。  
その際、主張と根拠、問いと答え、繰り返し出てくる言葉などに注意しながら、内容を正確に捉えるように指導すると有効である。
- (2) 説明的な文章を読む際には、明確な目的をもち、自分にとって必要な内容を取捨選択しながら読み進めることが大切である。指導に当たっては、関連する他教科の既習内容を確認させたり、同じテーマを扱った本や資料などを併せて読ませたりして、内容の理解に役立てるようにすることも効果的である。その際、司書教諭などと連携を図り、学校図書館で学習活動を行うことも考えられる。

### ■新学習指導要領では

第一学年「読むこと」では、「イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。」という指導事項が示されている。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

|    |                                |   |  |                 |    |
|----|--------------------------------|---|--|-----------------|----|
| 設問 | 出題の趣旨                          |   | 学習指導要領との関連<br>【※】 左側は、各設問に関連した新学習指導要領】 | 評価の観点           | 正答 |
| 一  | 文章の展開に即して内容を捉えることができるかどうかをみる。  | <p>【※】 C 読むこと（第一学年）</p> <p>イ 文章の展開に即して内容をとりえ、目的や必要に応じて要約すること。<br/>《内容把握や要約》</p> <p>【※】 C 読むこと（第一学年）</p> <p>イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。<br/>《文章の解釈》【</p> | 読む能力                                   | フェルト収縮          |    |
| 二  | 目的に応じて必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。 | <p>【※】 C 読むこと（第一学年）</p> <p>イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。<br/>《文章の解釈》【</p>   | 読む能力                                   | 3<br>中性洗剤で洗うこと。 |    |



7 言語事項等

7 次の中から8までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の――線部のカタカナを漢字に直し、楷書<sup>ていしつ</sup>でていねいに書きなさい。

- 1 地域の人をシヨウタイする。
- 2 メートルは長さのタンイである。
- 3 鉛筆をかりる。

二 次の1から3までの文中の――線部の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

- 1 考えに相違がある。
- 2 不純物が沈殿する。
- 3 会議で決を採る。

三 次のアからオの文では、( ) の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

- ア このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく(1)調合 (2)調和 (3)調整(4)調整(1)している。
- イ 先生が、私の家に(1)参る (2)うかがう (3)おっしゃる (4)いらっしゃる。
- ウ 弟子を手塩に(1)まいで (2)ひいて (3)かけて (4)にぎって(1)育てる。
- エ (1)たてこもる (2)たちならぶ (3)たなびく (4)たなずむ(1)雲の間から、春の光がもれている。
- オ (1)いかなる (2)たかなる (3)せつなる (4)たんなる(1)困難にもひるむことなく仕事を進めた。

1 出題の趣旨

言語や言語文化に関する知識・技能を身に付け、文や文章の中で適切に用いることができるかどうかをみる。

ここでは、学習指導要領の「言語事項」の内容等について幅広く出題した。

2 解説

漢字の読み書き、語句や語彙、書写、言語生活、伝統的な言語文化に関する基礎的・基本的な事項を身に付け、適切に用いることを求めている。

以降の表中に示した。設問一から設問三についての正答及び解説は、次ページ

※ 平成二十二年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 10  
三イでは、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる問題を出題している。(正答率 四四・九%)

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。設問一(3)(正答率 八〇・一%)

【小学校 国語A 1】

一 次の(1)から(3)までの文の――部の漢字の読みをひらがなで書きましよう。

- (1) (2) (略)
- (3) めずらしい植物を採集する。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答・解説》

| 設問  |      |     | 出題の趣旨   |    |    | 学習指導要領との関連  |  |  |
|---|------|-----|---|----|----|---|--|--|
| 二   |      |     | 一   |    |    | 学習指導要領との関連<br>「※ 左側は、各設問に関連した新学習指導要領」   |  |  |
| 文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。  |      |     | 文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。  |    |    | 言語事項(2) (第二学年)<br>イ 学年別漢字配当表の漢字のうち九五〇字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。<br>「※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ (第二学年)<br>(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。」 |  |  |
| 言語事項(2) (第二学年)<br>ア 第一学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち三〇〇字程度から三五〇字程度までの漢字を読むこと。<br>「※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ (第二学年)<br>(ア) 第一学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち三五〇字程度から四五〇字程度までの漢字を読むこと。」 |      |     | 言語事項(2) (第二学年)<br>ア 第一学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち三〇〇字程度から三五〇字程度までの漢字を読むこと。 |    |    | ※ 評価の観点は全て「言語についての知識・理解・技能」である。   |  |  |
| 3   | 2    | 1   | 3   | 2  | 1  | 正答  |  |  |
| と(る)  | ちんでん | そうい | 借(りる)   | 単位 | 招待 | 解説  |  |  |
| 「採」は小学校第五学年の配当漢字。   |      |     | 「借」は小学校第四学年の配当漢字。   |    |    | 「招」は小学校第五学年、「待」は小学校第三学年の配当漢字。<br>「単」は小学校第四学年、「位」は小学校第四学年の配当漢字。  |  |  |
| 「沈」、「殿」は学年別配当漢字以外の常用漢字。   |      |     | 「相」は小学校第三学年、「違」は学年別配当漢字以外の常用漢字。   |    |    | 「借」は小学校第四学年の配当漢字。   |  |  |

| 三   |           |          |             |         | 設問   |
|---|-----------|----------|-------------|---------|--|
| 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。  |           |          |             |         | 出題の趣旨  |
| <p>〔※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ<br/>(イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。〕</p> <p>〔※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ<br/>(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。〕</p> |           |          |             |         | <p>学習指導要領との関連<br/>〔※ 左側は、各設問に関連した新学習指導要領〕</p> <p>言語事項(1) (第二学年及び第三学年)<br/>イ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。<br/>《語句》</p> |
| オ   | エ         | ウ        | イ           | ア       | 正答   |
| 1<br>いかなる   | 3<br>たなびく | 3<br>かけて | 4<br>いらっしやる | 2<br>調和 |  |
| <p>もつ「どのような、どんな」という意味をもつ「いかなる」が正答。</p> <p>「雲や煙などが横に長くただよう」という意味をもつ「たなびく」が正答。</p> <p>「自分で世話をして大切に育てる」という意味をもつ「手塩にかける」が正答。</p> <p>「来る」の尊敬語である「いらっしやる」が正答。</p>             |           |          |             |         | 解説   |

《参考》<sup>\*</sup> 過去の調査における正答率

| 三           |              | 二             |              | 一            | 設問 | 実施年度（実施学年） | 正答率（%） |
|-------------|--------------|---------------|--------------|--------------|----|------------|--------|
| エ           | ウ            | 3             | 1            | 3            |    |            |        |
| たなびく        | かけて          | 採る            | 相違           | 借りる          |    |            |        |
| 平成六年度（第一学年） | 平成十三年度（第二学年） | 昭和五十七年度（第二学年） | 平成十六年度（第二学年） | 平成十六年度（第一学年） |    |            |        |
| 二六・〇        | 四八・二         | 七八・七          | 六五・六         | 六三・六         |    |            | 六三・〇   |

※ 過去の調査

- 教育課程実施状況に関する総合的調査研究（昭和五十七年度）
- 教育課程実施状況に関する総合的調査研究（平成六年度）
- 平成十三年度小中学校教育課程実施状況調査
- 平成十六年度特定の課題に関する調査

四 次のアとイの文の（ ）には、――線部の語句の対義語が入ります。あとの1から4までのうち、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選びなさい。

ア 電子メールを送信することはできたが、相手からの返事が（ ）できない。

- 1 受信
- 2 返信
- 3 発信
- 4 交信

イ 現実には様々な困難があるが、（ ）に向かって努力したい。

- 1 埋論
- 2 回想
- 3 目標
- 4 理想

五 次の「自分の名前と住所」と「相手の名前と住所」を、はがきの書き方に注意して練習書きで書きなさい。

【自分の名前と住所】

名前…林 花子  
住所…草木市南町七

【相手の名前と住所】

名前…川田 真一  
住所…広山市大空町五

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

郵便はがき

1 0 0 9 8 5 9

9 0 0 9 8 5 9

六 次の1の作品名を、ローマ字でいねいに書きなさい。また、2のローマ字で書かれた作品名の（ ）の部分も、ひらがなと漢字でそれぞれいねいに書きなさい。

ローマ字

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

|      |         |
|------|---------|
| ひらがな | と さ ( ) |
| 漢字   | 土 佐 ( ) |

1 たけくらべ

2 Tosa nikki

※ 解答は必ず解答用紙に書きなさい。

七 次の「平家物語」の「冒頭の部分」とその「現代語訳」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

祇園精舎の鐘の聲、諸行むじやうの響きあり。  
沙羅双樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらはす。

【現代語訳】

祇園精舎の鐘の音には、この世のすべては絶えず変化していくものだという響きがある。  
沙羅双樹の花の色は、盛んな者も必ず衰えるものであるという道理を表している。

1 ―線部「諸行むじやう」の「むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 無上
- 2 無常
- 3 無状
- 4 無情

2 ―線部「あらはす」を現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

八次は、「漢和辞典」の「光」という字の説明の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【漢和辞典】

ル【光】  
6画 常用 (2年)  
ア コウ(漢)  
イ ひかる・ひかり

筆順  
一 二 三 四 五 六 光

なり たち 【光】 会意。光は、火の形。凡は、人の形。「光(ル)ひ」とが「凡(ニ)ひと」の上にある。明るく照らす。

意味 ①ひかる。ひかり。明るくかがやく。また、そのかがやき。

「一明」「日」

②(外にかがやいて目立つ)才能や名声。ほまれ。「一束」

③つや。「一沢光」

④けしき。「風光」

1 この「漢和辞典」の【ア】と【イ】には、それぞれどのような言葉が入りますか。次の1から4までのうち、最も適切なもの一つずつ選びなさい。

- 1 中国から伝わった読み方である音読みを表す「音」が入る。
- 2 元々の日本語を当てはめた読み方である音読みを表す「音」が入る。
- 3 中国から伝わった読み方である訓読みを表す「訓」が入る。
- 4 元々の日本語を当てはめた読み方である訓読みを表す「訓」が入る。

2 「觀光」の「光」の意味として最も適切なものを、「漢和辞典」の①から④までの中から一つ選びなさい。

設問四 ア

■ 正答について

正答は、選択肢1である。

受信の「受」と送信の「送」が対の関係である。

設問四 イ

■ 正答について

正答は、選択肢4である。

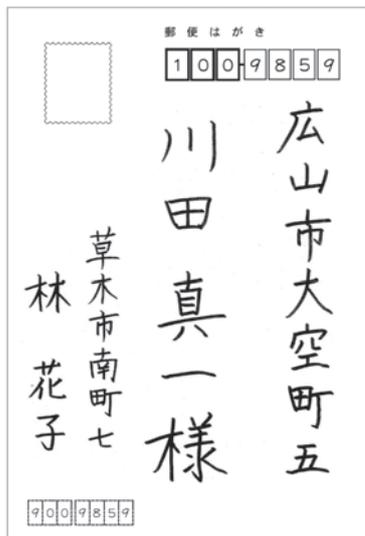
「現実」の対義語には、「理想」、「空想」があるが、この文脈では「理想」が適切である。

設問五

■ 正答について

正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 【自分の名前と住所】と【相手の名前と住所】の位置を正しく書いている。
- ② 宛名に、「様」、「殿」、「先生」などの敬称を付けて書いている。
- ③ 縦書きで書いている。(正答例)



はがきの表書きは、相手の名前に敬称(様、殿など)を付けて中央に大きく書き、その右側に相手の住所、左側に自分の名前と住所を丁寧に書く必要がある。また、読みやすく丁寧に書くことを基本とし、適切な配列・配置に心掛けることが求められる。

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。(正答率 六七・一%)

【小学校 国語A ③】

3 小林さんは、転校していった友だちにはがきを書くことにしました。はがきの表に名前や住所を書きます。次のア・イ・ウ・エの中から1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 自分の名前  
2 相手の名前  
3 自分の住所  
4 相手の住所

設問六 1

■正答について

正答は、「Takekurabe」のように解答しているものである。  
\* 「takekurabe」「TAKEKURABE」などと解答しているものも正答とする。  
\* 書体は問わない。

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。設問2(正答率 四五・八%)

【小学校 国語A ②】

2 次の1と2の言葉を、例のように、ローマ字でていねいに書きましょう。また、3のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

(例) (いぬ) ⇒ inu

1 (略)

2 (たべもの) ⇒ \_\_\_\_\_

3 (略)

※解答は、解答用紙に書きましょう。

設問六 2

■ 正答について

正答は、ひらがなの欄に「にっき」、漢字の欄に「日記」と解答しているものである。

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。設問3（正答率 五二・二％）

【小学校 国語A 2】

2 次の1と2の言葉を、例のように、ローマ字でていねいに書きましょう。また、3のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

(例) (いぬ) ⇨ inu

1 (略)

2 (略)

3 happa ⇨ ( )

※解答は、解答用紙に書きましょう。

設問七 1

■ 正答について

正答は、選択肢2である。

「諸行むじやう」は【現代語訳】の「この世のすべては絶えず変化していくものだ」の部分である。その意味に合うのは、「すべてのものは移り変わって行って、一定ではない」という意味をもつ「無常」である。

■ 誤答について

- (1) 選択肢1 ↓ 「この上もないこと」の意味である。
- (2) 選択肢3 ↓ 「取り立てていうほどの善行や功績のないこと」の意味である。
- (3) 選択肢4 ↓ 「情け心のないこと」の意味である。

設問七 2

■ 正答について

正答は、「あらわす」と解答しているものである。

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 4 2  
①、②では、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる問題を出題している。

(正答率) ① 九二・一％ ② 七六・八％

※ 平成二十年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 6 八  
イ①、②では、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる問題を出題している。

(正答率) ① 九二・二％ ② 八二・〇％

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 8  
 51では、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる問題を出题している。

(正答率 七六・二%)

設問八 1

■正答について

正答は、アの欄に選択肢1、イの欄に選択肢4と解答しているものである。

中国から伝わった読み方が音読みであり、元々の日本語を当てはめた読み方が訓読みである。

設問八 2

■正答について

正答は、④である。

「観光」は、「よその土地の名所や景色などを見物すること」である。

3 学習指導に当たって

(1) 漢字は、一字一字を正確に読み書きできるようにするだけでなく、文脈に即して使えるようにすることが大切である。そのためには、実際に漢字を読んだり書いたりする機会を多くして、習熟を図るようにすることが求められる。

指導に当たっては、平成二十一年度全国学力・学習状況調査【中学校】報告書の「特定の課題に関する調査」を活用した授業アイデア例も参照してほしい。

|  |
|--|
| <p><b>【指導のねらい】</b><br/>         定着しにくい漢字や間違いやすい漢字について、意識をもって読み書きできるようにする。</p>  |
| <p><b>【学習の流れ】</b></p> <p>① 既に学習した漢字について、次のようなものの読み書きをまとめて復習する。</p> <p>ア 学習場面や日常生活で使用頻度が低いと思われるもの</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) ・<u>趣のある庭</u>。 ・<u>感嘆</u>の<u>声</u>。 ・<u>誇張</u>して話す。<br/>         ・<u>輝かしいコウセキ</u>を残す。 ・部屋で<u>タイキ</u>する。</p> </div> <p>イ 形が似ている字や、偏や旁の一部が共通している字があるもの</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) ・機械に<u>潤滑油</u>をさす。 (誤答例) (×じゅんこつ)<br/>         ・<u>短絡的</u>な考え方。 (×たんかく)<br/>         ・バスが駅と団地を<u>オウフク</u>する。 (×住復)<br/>         ・<u>フル</u>って応募する。 (×奪って)<br/>         ・<u>センモン</u>的な話をする。 (×専門)</p> </div> <p>※(例)及び(誤答例)は、「平成16年度特定の課題に関する調査(国語)」による。</p> <p>② 間違っただけのものについて、どのような点で間違っただけのかを考える。</p> |
| <p><b>【留意点】</b></p>  |

なお、平成二十二年十一月に常用漢字表が改定されたことに伴い、中学校学習指導要領の「ウ 漢字に関する事項」が四十四ページの下線部のように一部改正されていることに留意して指導する必要がある。

<定着しにくい漢字を取り上げた授業アイデア例の一部>

[http://www.nier.go.jp/09chousakekkahoukou/03chuu\\_chousakekka\\_houkokusho.htm](http://www.nier.go.jp/09chousakekkahoukou/03chuu_chousakekka_houkokusho.htm)

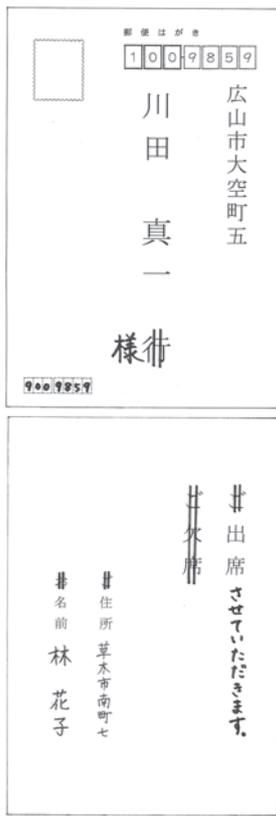
(2) 語句・語彙の指導に当たっては、語句の辞書的な意味を基にして、話や文脈の中での意味を捉えさせることが大切である。また、語感を磨き語彙を豊かにするために、類義語を取り上げ、相手や場面に応じて使い分けたり、慣用句を話や文章の中で用いて、その意味や用法の違いを考えたりする学習活動が有効である。

敬語については、小学校での学習を踏まえ、敬語の基本的な働きについて、具体的な相手や場面を設定して指導することが大切である。

(3) 対義語の指導に当たっては、具体的な文章を用いてその意味を考えさせることが大切である。対義語には、例えば、「送信」と「受信」のように一字が反対の意味となるもの、「理想」と「現実」のように語句の全体で反対の意味となるもの、「満足」と「不満」のように打ち消しの意味を表す漢字が前に付くものなどがある。このような対義語の種類に着目させて指導することも大切である。

(4) はがきの表書きは、宛名（敬称を含む）と宛先、自分の名前と住所を正しい位置に書く必要がある。指導に当たっては、紙面と字数との関係を考えて配列や文字の大きさを判断するとともに、字形を整えて丁寧を書くように指導することが大切である。その際、実際にはがきを投函することも含めた学習活動を設定することで、相手意識をもたせることも効果的である。

社会生活の中でも手紙を書く機会が多い。本設問と併せて、往復はがきの書き方なども機会を捉えて指導するとよい。



〈往復はがきの書き方の例〉

(5) ローマ字については、小学校第三学年で学習している。中学校では、小学校でのローマ字の学習を踏まえて、様々な学習や生活場面においてローマ字が使われることを意識させることが大切である。

社会の国際化に対応して、標識や名刺などにもローマ字が併記されることが多くなってきたことにも着目させたい。

(6) 古典の指導に当たっては、リズムに慣れさせること、古典の文章の特徴に目を向けさせること、内容の大体を捉えさせることなどが大切である。そのためには、音読や朗読をしたり、現代語訳と対応させて内容を大まかに捉えたりする学習活動を行うことが効果的である。また、冒頭部分や文章の一部分を暗唱することを通して、優れた表現を味わうことができるようにすることも有効である。なお、歴史的仮名遣いなど古典に関する知識は、文章の内容を読み取る際に必要に応じて身に付けさせることが大切である。

(7) 漢和辞典を用いる際には、音読み、訓読みの概念を正しく理解することが大切である。また、その辞書で使われている略語や記号のきまりなどについての理解も必要である。その上で、漢字のもついくつかの意味を、熟語の意味と結び付けながら適切に捉えさせることが重要である。

■新学習指導要領では

現行の「言語事項」は、新学習指導要領では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」として三学年に分けて示している（次ページの表参照）。各学年における指導内容を確認し、指導を行うことが大切である。

表【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】一覧

|  | (中) 第1学年   | (中) 第2学年   | (中) 第3学年  |
|--|--|--|---|
|  | (1) 「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。   |  |   |
| ア<br>化<br>に<br>関<br>連<br>的<br>な<br>言<br>語<br>文<br>化<br>に<br>関<br>連<br>す<br>る<br>事<br>項 | (ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。 <b>772</b><br>(イ) 古典には様々な種類の作品があることを知ることを。   | (ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。<br>(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。   | (ア) 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。<br>(イ) 古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書くこと。   |
| イ<br>言<br>葉<br>の<br>特<br>徴<br>や<br>き<br>ま<br>り<br>に<br>関<br>連<br>す<br>る<br>事<br>項      | (ア) 音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めること。<br>(イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。 <b>773, 7782</b><br>(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもち、語彙を豊かにすること。<br>(エ) 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。<br>(オ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。 | (ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。 <b>773, 775</b><br>(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <b>774, 7771</b><br>(ウ) 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。<br>(エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。<br>(オ) 相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開の違いがあることを理解すること。 | (ア) 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解するとともに、敬語を社会生活の中で適切に使うこと。<br>(イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 |
| ウ<br>漢<br>字<br>に<br>関<br>連<br>す<br>る<br>事<br>項   | (ア) 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち <b>300</b> 字程度から <b>400</b> 字程度までの漢字を読むこと。 <b>7781</b><br>(イ) 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 <b>7762</b>   | (ア) 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち <b>350</b> 字程度から <b>450</b> 字程度までの漢字を読むこと。 <b>772</b><br>(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 <b>771</b>   | (ア) 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。<br>(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。                                     |
|  | (2) 書写に関する次の事項について指導する。  |  |   |
| (書写)   | ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 <b>775</b><br>イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。   | ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。<br>イ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。   | ア 身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くこと。   |

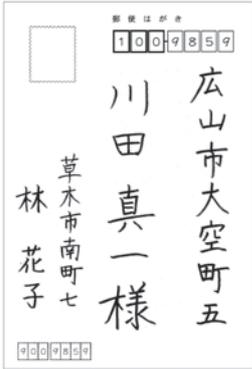
※ 太字ゴシック体で示した数字は、指導内容に関連する設問番号である。

※ 下線部は、「常用漢字表」改定に伴って一部改正を行った部分である。

#### 4 出典等

八の【漢和辞典】は、藤堂明保、加納喜光編集『学研 現代標準漢和辞典』（平成十三年四月 学習研究社）、山田俊雄、戸川芳郎、影山輝國編著『例解新漢和辞典 第三版』（平成十八年一月 三省堂）、小林信明編『新選漢和辞典 第八版（二色刷）』（平成二十三年一月 小学館）などによる。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 五   | 四  |                 | 設問           |
|---|--|-----------------|--------------|
|   | イ  | ア               |              |
| <p>はがきの書き方を理解して書くことができるかどうかをみる。</p>   | <p>語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。</p>  |                 | <p>出題の趣旨</p> |
| <p>〔※〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ<br/>ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。〔</p> <p>〔※〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ<br/>ア 字形、文字の大きさ、配列・配置などに配慮し、目的や必要に応じて調和よく書くこと。</p> <p>〔※〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ<br/>ア 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。〔</p> <p>〔※〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(2)<br/>(第一学年)<br/>ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。〔</p> | <p>学習指導要領との関連<br/>〔※〕 左側は、各設問に関連した新学習指導要領」</p> <p>言語事項(1) (第二学年及び第三学年)<br/>イ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。《語句》</p> <p>〔※〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ<br/>(第二学年)<br/>(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。〔</p> <p>言語事項(1) (第二学年及び第三学年)<br/>キ 共通語と方言の果たす役割などについて理解するとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に使えるようにすること。《言語生活》</p> <p>言語事項(3) (第二学年及び第三学年)<br/>ア 字形、文字の大きさ、配列・配置などに配慮し、目的や必要に応じて調和よく書くこと。</p> |                 | <p>評価の観点</p> |
|   | <p>言語についての知識・理解・技能</p>   |                 |              |
| <p>例</p>   | <p>4<br/>理想</p>  | <p>1<br/>受信</p> | <p>正答</p>    |

| 六   |   | 設問   |
|---|---|--|
| 2   | 1   | 出題の趣旨  |
| <p>ローマ字で表記された作品名を読み、ひらがなと漢字で正しく書くことができるかどうかをみる。</p>   | <p>ひらがなで表記された作品名をローマ字で書くことができるかどうかをみる。</p>  | <p>学習指導要領との関連<br/>         「※ 左側は、各設問に関連した新学習指導要領」</p>   |
| <p>「※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ (第一学年)<br/>         (イ) 学年別漢字配当表の漢字のうち九〇〇字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。」</p> | <p>「※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ (第三学年及び第四学年)<br/>         (ア) 第三学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。」</p> | <p>言語事項(1)イ(第三学年及び第四学年)<br/>         (ウ) 第四学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。</p> |
| <p>漢字</p>   | <p>ひらがな</p>   | <p>評価の観点</p>   |
| <p>日記<br/>         ※ひらがな、漢字ともにできているものを正答とする。</p>  | <p>につき</p>  | <p>正答</p>  |
| <p>漢字</p>   | <p>ひらがな</p>   | <p>「例」 Takekurabe<br/>         「その他の正答例は、解答類型1を参照のこと。」</p>   |

| 七  |  | 設問  |
|--|--|---|
| 2  | 1  | 出題の趣旨   |
| <p>歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。</p>  | <p>抽象的な概念を表す語句について理解することができかどうかをみる。</p>  | <p>学習指導要領との関連<br/>         「※ 左側は、各設問に関連した新学習指導要領」</p>  |
| <p>C 読むこと（第二学年及び第三学年）<br/>         ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。<br/>         《表現の仕方》</p> <p>「※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア<br/>         (ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。」<br/>         (第一学年)</p> | <p>「※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ<br/>         (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。」<br/>         (第二学年)</p> | <p>言語事項(1)（第二学年及び第三学年）<br/>         ウ 抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすること。<br/>         《語彙》</p> |
| 読む能力   | 言語についての知識・理解・技能  | 評価の観点   |
| あらかわす  | 2<br>無常  | 正答  |

| 八  |   | 設問   |
|--|---|--|
| 2  | 1   | 出題の趣旨  |
| <p>辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉えることができかどうかをみる。</p>   | <p>漢字の音読みと訓読みについて理解することができかどうかをみる。</p>  | <p>学習指導要領との関連<br/>           「※ 左側は、各設問に関連した新学習指導要領」</p> |
| <p>言語事項(2) (第一学年)<br/>           ア 小学校学習指導要領第二章第一節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち二五〇字程度から三〇〇字程度までの漢字を読むこと。</p> <p>「※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ (第一学年)<br/>           (イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。」</p> | <p>「※ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ (第一学年)<br/>           (ア) 小学校学習指導要領第二章第一節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち三〇〇字程度から四〇〇字程度までの漢字を読むこと。」</p> | <p>評価の観点</p>   |
| <p>④ けしき。「風」</p>   | <p>㊦</p> <p>1 中国から伝わった読み方である音読みを表す「音」が入る。</p> <p>㊧</p> <p>4 元々の日本語を当てはめた読み方である訓読みを表す「訓」が入る。<br/>           ※ ㊦、㊧ともに入っているものを正答とする。</p>     | <p>正答</p>  |



## 調査問題の解説

### B 主として「活用」に関する問題

1 次は、作家の大岡玲さんと女優の榎ふみさんの対談の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

# 美しい日本語とは

大岡 玲 さん × 榎 ふみ さん



〔美しい日本語とは〕による。

- (注1) 金田一春彦「言語学者」
- (注2) ハイフクエスチョン＝文中のある語の語尾を上げ、相手に尋ねるように聞かせる言い方。
- (注3) 同化圧力＝ここでは、みんなと同じ言葉を使うことを強制するような力。
- (注4) 難解若＝困難にあっつて悩ま苦しむこと。

一 .....で囲まれた部分の榎さんの発言は、この対談の中でどのような役割を果たしていますか、その役割を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 大岡さんの発言に疑問を示した上で、新たな考えを引き出している。
- 2 大岡さんの発言を否定した上で、これからの話の方向を決めている。
- 3 大岡さんの発言を受け止めた上で、具体例を挙げて話題を広げている。
- 4 大岡さんの発言に賛成した上で、二人の意見の相違点を確認している。

二 次は、二人の対談がどのように展開しているか整理したものです。□に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

日本語の歴史に触れて、昔の言葉や昔から指摘されている言葉の乱れなどについて話している。  
 自分たちの体験を振り返って、聞き若しく感じる言葉や麗しい言葉などについて話している。  
 使う言葉の数が少なくなっていることを挙げて、  
 □について話している。

- 1 言葉のあいまい化現象
- 2 発展途上にある日本語
- 3 積極的に使うべき言葉
- 4 日本語のもつリズム感

三 この対談を読んで、あなたは、これからのような言葉の使い方をしたくと考えますか。次の条件1から条件3にしたがって、あなたの考えを具体的に書きなさい。

なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 対談での大岡さん、榎さんのいずれかの発言の内容を取り上げて書くこと。

条件2 これから使っていきたい言葉の例を挙げて書くこと。

条件3 八十文字以上、百二十文字以内で書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 1 出題の趣旨

対談を聞いて、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 相手の話を踏まえて話すこと
- ・ 話の展開に注意して聞くこと
- ・ 相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書くこと

ここでは、「美しい日本語とは」をテーマとした対談を取り上げた。

相手の発言の内容を受け止めて話すこと、二人の話の内容がどのように展開しているか注意して聞くこと、対談で取り上げられた内容を踏まえて自分の考えを書くことを求めている。

## 2 解説

### 設問一

■ 正答について

正答は、選択肢3である。

大岡さんの「言葉の乱れ」を嘆く風潮は、昔もありました」という発言を、檀さんは「今と全く同じですね」と受け止めている。その上で、「ハーフクエスチョンの話し方」の例を挙げて、聞き苦しく感じられる言葉遣いに話題を広げている。

■ 誤答について

- (1) 選択肢1↓檀さんの発言は、大岡さんの発言に疑問を示していない。
- (2) 選択肢2↓檀さんの発言は、大岡さんの発言を否定していない。
- (3) 選択肢4↓檀さんの発言は、二人の相違点を確認しているものではない。

### 設問二

■ 正答について

正答は、選択肢1である。

この設問では、対談の展開を三つのまとまりに分けている。一つ目のまとまりは昔からある言葉の乱れ、二つ目のまとまりは気になる言葉、三つ目のまとまりは若い人の会話や学生の使う言葉の数の少なさについてである。このまとまりでは、言葉の数の少なさに関わり、若い人が一つの言葉にいろいろな意味を込めるようになったことを指す「言葉のあいまい化現象」が話題の中心になっている。

■ 誤答について

- (1) 選択肢2↓「発展途上にある日本語」は、一つ目のまとまりの中で触れられている。
- (2) 選択肢3↓「積極的に使うべき言葉」は、二つ目のまとまりの中で触れられている。
- (3) 選択肢4↓「日本語のもつリズム感」は、一つ目のまとまりの中で触れられている。

### 設問三

■ 正答について

正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 大岡さん、檀さんのいずれかの発言の内容を取り上げて書いている。
  - ② これから使っていきたい言葉の例を挙げて、これからどのような言葉の使い方をしたいのか書いている。
  - ③ 八十字以上、百二十字以内で書いている。
- 「正答例は、解答類型を参照のこと。」

対談の内容を踏まえて、これからのような言葉の使い方を  
していききたいのか、自分の考えを具体的な例を挙げて分かりや  
すく書くことを求めている。

なお、次のものも正答とする。

- ・ 条件①について、大岡さんと檀さん両方の発言を取り上げ  
て書いているもの (解答類型1)

(例) 大岡さんは、言葉の乱れよりも、使う言葉の数が少な  
くなっているのが大きな問題だと言っている。これから  
私は、檀さんの言うように自分の感情を細かく分析して、  
「うれしい」、「楽しい」などその場に合った言葉を使い  
ながら言葉を増やしたい。(百十四字)

- ・ 条件②について、対談者の発言に対して反論する考えを書  
いているもの(例示の傍線部は関係箇所) (解答類型1)

(例) 檀さんが電車の中で若い人の会話に耳を傾けていると、  
聞こえてくるのは、「ヤバイ」、「マジ」、「ウケる」の三  
つだけと言っているが、「ヤバイ」はいろいろな意味を  
伝えられる便利な言葉なので、これからもそういう便利  
な言葉を積極的に使っていきたい。(百十九字)  
\* 「ヤバイ」を肯定的に捉えて書いている。

### ■誤答について

「■正答について」に示した三つの条件のいずれか一つでも  
満たしていなければ誤答とする。

- ・ 誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。  
これから使っていきたい言葉の例を挙げていないもの

(例) ・ 大岡さんが「聞き慣れない言葉を使うと、『それ、  
何?』って気まずい雰囲気になる。』と言っていた。  
私もこれからは、気まずい雰囲気にならないように言  
葉を使っていきたい。(八十二字)

・ 私は、最近「ヤバイ」、「マジ」、「ウケる」ばかりを  
使って友達と会話している気がします。大岡さんが言  
うように、「ヤバイ」、「マジ」、「ウケる」ばかりを使  
わないようにしたいです。(八十八字)

- ・ 発言の内容に対する感想に終始しているもの

(例) 「残していききたいと思う美しい言葉は、個々人が積極  
的に使うべきです。」という大岡さんの発言に納得した。  
このような対談に多くの人が触れれば、美しい言葉につ  
いて関心をもつ人が増えてくると思う。(九十四字)

- ・ 対談のどの発言の内容を取り上げているのか明確に分から  
ないもの (解答類型4)

(例) ・ 美しい言葉とあるが、私は美しい言葉の中でも、特  
にあいさつの言葉を気持ちよく使っていきたい。また、  
感謝や謝罪の言葉もきちんと使っていきたい。感謝の  
言葉はすぐに出るが、謝罪の言葉はなかなか口にしづ  
らいからだ。(百三字)  
・ 「艱難辛苦」のような四字熟語を使っていきたいで  
す。四字熟語は言葉の響きにキレがあると思います。  
これから、いろいろな四字熟語を覚え、適切な場面で  
使えるようになっていきたいです。(八十八字)  
\* 本文にある「美しい言葉」、「艱難辛苦」という言  
葉を使って書いているが、発言の内容を取り上げて  
はいない。

- ・ 本文の内容を正しく捉えていないもの (解答類型4)

(例) 大岡さんが「若い人に気付いてもらわなくっちゃね、  
もつとうまく使えるよう言葉を鍛えなきゃダメだって。」  
と言っているが、本当にそうだ。言葉を鍛えるために、  
「ヤバイ」ばかり言うのではなく、「おいしい」などそ

の場に当てはまる言葉を探して使いたい。(百二十字)

※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。設問二(正答率 二五・九%)

【小学校 国語B 2】

2 川口さんの学級では、家族の一員としてできることを考えるために、家庭での過ごし方について調べました。次は、川口さんのグループが集めた資料をもとにした話し合いの様子の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

【資料】家の中のそうじや整頓をする小学校6年生の割合

|       | いつもしている | ときどきしている | あまりしていない | まったくしていない | 無回答など |
|-------|---------|----------|----------|-----------|-------|
| 平成16年 | 15%     | 52%      | 24%      | 9%        | 0%    |
| 平成17年 | 14%     | 48%      | 29%      | 8%        | 1%    |

(国立オリンピック記念青少年総合センター「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」による。)

司会 ここからは、川口さんたちが集めた【資料】をもとにして、「家の中のそうじや整頓」について話し合います。【資料】を見て分かったことや考えたことを発表してください。

川口 平成十六年を見ると、「いつもしている」人が少ないと思います。家の中のそうじや整頓はむずかしいことではないと思います。家族の一員としての自覚をもって、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

松山 確かに、平成十六年の「いつもしている」は十五%しかいません。でも、「ときどきしている」を合わせると、六十七%もいます。むしろ、よく取り組んでいるほうだと思います。

司会 今、二人は、平成十六年の割合から考えた意見を出してくれましたが、平成十七年の割合からも考えてみてください。

村田 わたしは、平成十七年の「あまりしていない」と「まったくしていない」に注目しました。この二つを合わせると、三十七%にもなります。しかも、平成十六年よりも増えているので、もっと取り組んだほうがいいと思います。

ア

～(話し合いが続く)～

一 (略)

二 あなたは、アのとこで、前のページの□にあるAの意見の立場から発表することにしました。あなたならどのような内容を発表しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- 平成十七年の割合(%)を取り上げること
- 六十字以上八十字以内にまとめて、発表するように書くこと

### 3 学習指導に当たって

#### (1) 目的を明確にした上で、話題に沿って効果的に話を展開する

対話や討論などの学習では、目的を明確にした上で、話題に沿って効果的に話が展開するように指導する必要がある。そのためには、相手の考えを踏まえて話したり、自分の発言が話の展開に及ぼす効果を考えて話したりするなどの学習活動を設定することが有効である。

社会生活の中で行われる話合いには、一定の結論を出すものと多様な意見が求められるものがある。それぞれの話合いの目的を意識して参加することが求められる。

#### (2) 話の展開に注意して聞く

対話や討論などを通して聞くことの指導を行う際には、聞く場面を工夫する必要がある。例えば、対話や討論などを第三者として聞く場面を設定することが考えられる。その際、話が目的に沿って展開しているか、話し手は考えや意図を明確にしながら話しているかなどを捉えさせたり考えさせたりすることが大切である。

#### (3) 自分の考えを具体例を挙げて書く

対話や討論などの内容を基に自分の考えを書く際には、話合いの具体的な内容を取り上げて、話題に対する自分の考えを明確にすることが大切である。その際、話題に対する賛否などを示すだけでなく、自分の体験や読書の経験などに基づいた具体例を挙げて、自分の考えを分かりやすく書かせることが重要である。

#### ■新学習指導要領では

第一学年「話すこと・聞くこと」では、「イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。」「オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。」という指導事項が示されている。第二学年「話すこと・聞くこと」では、「エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。」という指導事項が示さ

### 4

#### 出典等

大岡玲、檀ふみ「美しい日本語とは」(『日経おとなのOFF』平成二十三年三月六日 通巻一一八号 日経BP社)による。

れている。第二学年「書くこと」では、「ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。」という指導事項が示されている。なお、本設問に関連する言語活動例としては、「イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。」がある。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問 | 出題の趣旨                     | 学習指導要領との関連  | 評価の観点   | 正答                                    |
|----|---------------------------|---|---------|---------------------------------------|
| 一  | 相手の話を踏まえて話すことができるかどうかをみる。 | <p>学習指導要領との関連</p> <p>〔※ 左側は、各設問に関連した新学習指導要領〕</p> <p>A 話すこと・聞くこと（第一学年）</p> <p>イ 自分の考えや気持ちを的確に話すためにふさわしい話題を選び出すこと。《話題》</p> <p>〔※ A 話すこと・聞くこと（第一学年）</p> <p>イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。《話すこと》</p> | 話す・聞く能力 | 3<br>大岡さんの発言を受け止めた上で、具体例を挙げて話題を広げている。 |
| 二  | 話の展開に注意して聞くことができるかどうかをみる。 | <p>A 話すこと・聞くこと（第二学年及び第三学年）</p> <p>イ 話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりすること。《構成や論理》</p> <p>〔※ A 話すこと・聞くこと（第二学年）</p> <p>エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。《聞くこと》</p>                       | 話す・聞く能力 | 1<br>言葉のあいまい化現象                       |

| 設問   | 出題の趣旨  | 学習指導要領との関連  | 評価の観点  | 正答   |
|--|--|---|--|--|
| 三  | 相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。                              | <p>学習指導要領との関連</p> <p>〔※〕 左側は、各設問に関連した新学習指導要領</p> <p>A 話すこと・聞くこと（第一学年）<br/>エ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。<br/>《話合い》</p> <p>B 書くこと（第二学年）<br/>エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。<br/>《記述》</p> <p>〔※〕 A 話すこと・聞くこと（第一学年）<br/>オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。《話し合うこと》</p> <p>〔※〕 B 書くこと（第二学年）<br/>ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。<br/>《記述》</p> | <p>国語への関心・意欲・態度</p> <p>話す・聞く能力</p> <p>書く能力</p> | <p>〔例〕 「残していきたいと思う美しい言葉は、個々人が積極的に使うべきです。」という大岡さんの発言に納得した。先日、本を読んでいて「たおやか」という言葉を初めて知り、やわらかくて美しい言葉だと思った。このような美しい言葉を積極的に使いたい。<br/>〔その他の正答例は、解答類型を参照のこと。〕<br/>(百十六字)</p> |
| <p>学習指導要領に示されている言語活動例</p> <p>〔※〕 左側は、本設問に関連した新学習指導要領に示されている言語活動例</p> | <p>対話や討論などを行うこと。</p> <p>〔※〕 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。（第一学年）</p> |   |  |  |





## 1 出題の趣旨

説明的な文章を目的や意図に応じて書き換える際に、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 文脈の中における語句の意味を捉えること
- ・ 効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫して書くこと
- ・ 資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くこと

ここでは、デジタルカメラの使用説明書を祖母向けに分かりやすく書き換える場面を設定した。

祖母向けに言い換えられた語句を文脈に即して探すこと、祖母向けに書き換えられた文章の表現の工夫を捉えること、【使用説明書の一部】を基に、実際に【祖母向けの説明書の下書き】を書くことを求めている。

なお、本設問は中学校国語A5と関連している。図と関連させて適切に説明することができるかどうかを、二つの問題の解答状況を併せて捉えることが重要である。

## 2 解説

### 設問一

#### ■ 正答について

正答は、「撮りたいもの」と解答しているものである。

【使用説明書の一部】に用いられている四箇所の「被写体」という言葉は、写される対象を意味する言葉である。これを【祖母向けの説明書の下書き】の中から探すと、「撮りたいもの」と言い換えられていることが分かる。

### 設問二

#### ■ 正答について

正答は、選択肢2である。

【祖母向けの説明書の下書き】は、操作手順を分かりやすく図示したり、操作に特に必要な情報を選んで書いたりしているところに特徴がある。これらの特徴を踏まえて説明しているものは選択肢2である。

#### ■ 誤答について

- (1) 選択肢1 ↓ 専門用語の一部を分かりやすく言い換えているのであり、注釈を付けているのではない。
- (2) 選択肢3 ↓ 矢印を付けたたり、枠囲みをしたりしているのであり、文字を太くしたり、下線を引いたりしてはいないのである。
- (3) 選択肢4 ↓ 操作手順に沿って文章を書き換えているのであり、重要な事柄を最初に述べているのではない。

### 設問三

#### ■正答について

- 正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものである。
- ① 「緑」、「赤」、「ピピッ」という言葉を全て使って書いている。
  - ② 【使用説明書の一部】の内容を正しく捉えた上で、ピン트가合っている状態について書いている。
  - ③ 六十字以上、八十字以内で書いている。

〔正答例は、解答類型を参照のこと。〕

【祖母向けの説明書の下書き】にある②の空欄に対応する内容は、【使用説明書の一部】にある次の情報である。

- ・ 「ピピッ」と音がして、オートフォーカスフレームが緑になるときは、ピン트가合っている状態であること
  - ・ オートフォーカスフレームが赤く点灯するときは、ピン트가合っていない状態であること
- これらの情報を踏まえて、祖母向けにまとめているものを正答とする。

なお、次のものも正答とする。

- ・ 条件②について、【祖母向けの説明書の下書き】の①や③の内容と重複しているもの（例示の傍線部は関係箇所）

（解答類型1）

（例）指が止まるところまで軽くボタンを押したら、画面中央の四角い枠を見ます。赤だと失敗なので、もう一度押し直します。「ピピッ」と音がして緑になったら成功です。（七十七字）

うまくいくと「ピピッ」という音がして、画面の枠が緑になります。赤のときはやり直してください。ピン트가合ったら、指を離さずに、ボタンを最後まで押し込みます。（七十八字）

- ・ 条件②について、記号や数字を使っているもの（例示の傍線部は関係箇所）

（解答類型1）

（例）画面中央の四角い枠が緑になったら○です。「ピピッ」と鳴ったら○です。四角い枠が赤になったら×です。緑や「ピピッ」だったら③へ進みます。赤だったら①に戻ります。（八十字）

#### ■正答(○)について

条件①、②、③を満たしているものうち、「被写体」、「オートフォーカスフレーム」などの言葉をそのまま用いて解答しているものを正答(○)とする。正答(○)としては、次のようなものがある（例示の傍線部は関係箇所）。

（解答類型2）

（例）被写体にピン트가合うと、「ピピッ」と音がして、オートフォーカスフレームが緑になります。ピン트가合わないとき赤になるので一度指を離して押し直してください。（七十六字）

この解答は、設問三が求めている内容を踏まえているので正答だが、設問一で求めた内容を踏まえたものにはなっていない。これを解答類型の一つとすることで、生徒の学習状況の把握に役立てることができる。

#### ■誤答について

「■正答について」に示した三つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。

・ ピン트가合っている状態と色との関連を正しく捉えていないもの（解答類型4）

（例）「ピピッ」と音がしたら、赤に点灯します。ピン트가合わないと画面中央の四角い枠が緑に点灯するのでそのときは指を離します。（六十字）

- ・ ピントが合っている状態と音との関連が明確ではないもの  
(解答類型4)
- (例) 撮りたいものにピントが合うと、画面中央の四角い枠が緑に点灯します。ピントが合わないとき画面中央の四角い枠が赤く点灯します。「ピピッ」と音がします。  
(七十三字)

- ・ どの状態がピントが合っている状態なのか明確ではないもの  
(解答類型4)
- (例) ボタンを押すと、「ピピッ」と音がして、画面中央の四角い枠が緑になります。そうならないときには、画面中央の四角い枠が赤になります。  
(六十五字)

- ・ 「緑」、「赤」、「ピピッ」という言葉の意味は押さえられているが、指定された語句の全て、又は一部が用いられていないもの  
(解答類型5)
- (例) ピントが合うと音がして、画面中央の四角い枠が緑になります。ピントが合っていないとき四角い枠が赤になるので、指を離してからもう一度押してください。  
(七十二字)

\* 「ピピッ」という言葉を使わずに、「音」という言葉を使って書いている。

- ※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 1
- 三ア、イでは、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てることができるかどうかをみる問題を出題している。  
(正答率 ア 五九・九% イ 七七・〇%)

- ※ 平成二十二年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 9
- 二では、相手に応じて表現を工夫して書くことができるかどうかをみる問題を出題している。  
(正答率 六一・〇%)

- ※ 平成二十一年度全国学力・学習状況調査【小学校】では、次のような問題を出題している。

【小学校 国語B 1】

1 六年生の山中山さんは、「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を読んで、興味をもちました。そこで、自分たちの小学校における五十メートル走の平均タイムの変化について調べ、次の報告文を書きました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

五十メートル走の平均タイムの変化  
第一小学校 六年 山 中 洋 平

一 調べた理由

「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を見つけた。そこには、全国の小学校六年生の五十メートル走の平均タイムが下の【表】のようにまとめられていた。平成十九年のタイムが、二十年前の昭和六十二年よりもおそくなっていた。

【表】50メートル走の平均タイムの変化  
(全国の小学校6年生)

| 男子    |       | 女子    |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 昭和62年 | 平成19年 | 昭和62年 | 平成19年 |
| 8秒60  | 8秒91  | 8秒91  | 9秒19  |

ぼくたちの学校でも同じだろうかという気もなってきた。そこで、第一小学校の平均タイムの変化について調べ、記事と比べてみることにした。

二 調べた内容と結果

第一小学校における六年生の五十メートル走の平均タイムの変化について、平成二十一年（現在）と、昭和六十二年（記事で取り上げられていた約二十年前）を取り上げて調べた。

(右下に続く)

(左上に続く)

◆平成二十一年の第一小学校六年生の平均タイム

一つめとして、ぼくたち六年生の平均タイムを調べた。

まず、体育の時間に学年会員の五十メートル走のタイムを計った。走った人数は、男女ともに三十五人ずつだった。

次に、平均タイムを先生に出してもらった。平均タイムは、男子は九秒〇、女子は九秒三だった。

◆昭和六十二年の第一小学校六年生の平均タイム

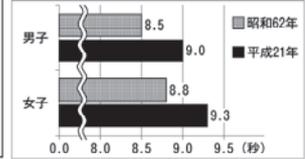
二つめとして、昭和六十二年のぼくたちの小学校の六年生の平均タイムを調べた。学校図書館でさがしたが、データが見つからなかった。そこで先生に相談すると、先生がデータを見つけてくださった。平均タイムは、男子は八秒五、女子は八秒八だった。

(右下に続く)

三 まとめ

平成二十一年と昭和六十二年の第一小学校の平均タイムを、下の「グラフ」のようにまとめた。

【グラフ】50メートル走の平均タイムの変化(第一小学校6年生)



調査をきっかけに、もっと速く走れるようになるにはどうすればいいのだろうかと考えようになった。

これからも、体力や運動の仕方などに関心をもって、いろいろな本を読んで調べたり、積極的に運動に取り組んだりしたい。

一次は、山中さんが調べる内容を書いたメモの一部です。報告文の「二 調べた内容と結果」を読んで、**ア**の中に入るふさわしい内容を書きましょう。

【メモの一部】

◆平成二十一年の平均タイム

① **ア**

- ◇ 日時 平成二十一年四月十五日 三時間目
- ◇ 場所 運動場
- ◇ 人数 男子三十五人 女子三十五人
- ◇ 準備 記録用紙、ストップウォッチ、コーン

② 平均タイムを先生に出してもらおう

◆昭和六十二年の平均タイム

3 学習指導に当たって

(1) 書き手の論理の展開の仕方を的確に捉える

説明的な文章を読む際には、書き手の論理の展開の仕方を的確に捉えることが大切である。その際、文章の内容を図表などを使って整理し、それを内容の理解に役立てたり、自分の表現に生かしたりすることが有効である。

社会生活においても、多様な情報の中から必要なものを取捨選択し、活用していく場面が多い。例えば、使用説明書や報告書などを読み、必要な情報を取り出して、生活や仕事に役立てることが求められる。

(2) 相手や目的に応じて伝えたい事柄が明確に伝わるように書く

説明する文章を書く際には、相手や目的に応じて構成や記述を工夫する必要がある。伝えたい情報を選んで説明の順序を考えたり、ふさわしい語句や表現を用いたりすることが大切である。

例えば、保護者向けに書かれた体育祭の案内を基に、小学生や地域の方に向けた案内を作成するなど、文章を相手や目的に応じて書き換える学習活動が考えられる。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集」思考力、判断力、表現力等の育成に向けて「中学校版」の次の事例も参照してほしい。

二 山中さんは、報告文の **A** の中に、調べて分かったことを書きました。あなたならどのような内容を書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- 第一小学校の六年生の平均タイムの変化が分かるように書くこと
- 報告文の「二 調べた理由」に書かれた内容と結び付けて書くこと
- 八十字以上百字以内にまとめて書くこと

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例では、中学校学習指導要領・国語の第1学年「書くこと」の指導事項「ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。」を指導する。自分の考えや気持ちを読み手に的確に伝えるためには、思いをただ繰り返すだけではなく、根拠となる事柄や具体例を示すことが必要となる。

さらに、関連する内容として、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「(2)ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。」を位置付ける。書写の時間における指導を踏まえて、紙面全体に対して、件名や本文などの文字の大きさや書くべき位置を考えて調和的に割り当てること、整った楷書で丁寧に書くことなどを指導する。

【言語活動の充実の工夫】

上述の内容を効果的に指導するために、言語活動を設定する。第1学年「書くこと」の言語活動例は、次の3つであり、本事例では、ウの言語活動例を具体化した。

ア 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。

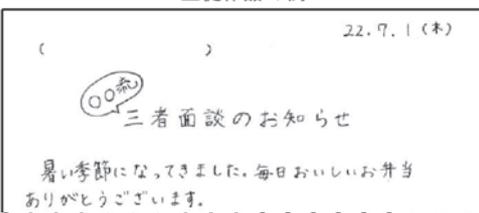
イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。

ウ 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。

生徒作品の例

本単元では、自分の気持ちを加えて「三者面談のお知らせ」を自分流に書き換え、読み手に手渡すという学習過程を組むことで、次のようなことを思考・判断しながら表現させるようにした。

- ①三者面談に向けて、一般的な記載事項（日時、場所等）以外に、読み手に伝えたいこと、読み手が知りたいことは何かを考えて、加えるべき自分の気持ちを書く。



〈事例「学校からの『お知らせ』を書き換えよう ～伝えたい事柄について、自分の気持ちを根拠を明確にして書く～」の一部〉

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/gengo/1306108.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1306108.htm)

■新学習指導要領では

第一学年「読むこと」では、「ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。」という指導事項が示されている。第二学年「書くこと」では、「ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。」という指導事項が示されている。第二学年「読むこと」では、「イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。」という指導事項が示されている。

なお、本設問に関連する言語活動例としては、「イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。」「イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。」がある。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問   | 一   | 二  |
|--|---|--|
| 出題の趣旨  | <p>文脈の中における語句の意味を捉えることができるかどうかをみる。</p>  | <p>効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫して書くことができるかどうかをみる。</p>  |
| <p>学習指導要領との関連</p> <p>〔※〕 左側は、各設問に関連した新学習指導要領</p> | <p>C 読むこと（第一学年）</p> <p>ア 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること。《語句の意味や用法》</p> <p>〔※〕 C 読むこと（第一学年）</p> <p>ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。《語句の意味の理解》</p> | <p>B 書くこと（第二学年及び第三学年）</p> <p>エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。《記述》</p> <p>〔※〕 B 書くこと（第二学年）</p> <p>ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。《記述》</p> |
| 評価の観点  | 読む能力  | 書く能力   |
| 正答   | 撮りたいもの  | <p>2 操作手順に沿って文章や図を書き換え、特に注意する事柄を明らかにして説明している。</p>  |

| 設問   | 出題の趣旨  | 学習指導要領との関連   | 評価の観点                                       | 正答   |
|--|--|--|---|--|
| 三  | 資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くことができるかどうかをみる。 | <p>学習指導要領との関連</p> <p>〔※〕 左側は、各設問に関連した新学習指導要領</p> <p>B 書くこと（第二学年及び第三学年）<br/> エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。 《記述》</p> <p>C 読むこと（第二学年及び第三学年）<br/> イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。 《構成や展開》</p> <p>〔※〕 B 書くこと（第二学年）<br/> ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》</p> <p>〔※〕 C 読むこと（第二学年）<br/> イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。 《文章の解釈》</p> | <p>国語への関心・意欲・態度</p> <p>書く能力</p> <p>読む能力</p> | <p>〔例〕 ピントが合うと「ピピツ」と音がして、画面中央の四角い枠が緑になります。ピントが合っていないと四角い枠が赤になるので、指を離してからもう一度押し直してください。（八十文字）</p> <p>〔その他の正答例は、解答類型を参照のこと。〕</p> |
| <p>学習指導要領に示されている言語活動例</p> <p>〔※〕 左側は、本設問に関連した新学習指導要領に示されている言語活動例</p> |  | <p>説明や記録などの文章を書くこと。</p> <p>〔※〕 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。（第一学年）</p> <p>〔※〕 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。（第一学年）</p>  |   |  |

### 3 物語を朗読する(「二ひきの蛙」)

3 中学生の川名さんは、小学生に「二ひきの蛙」を朗読することになりました。次は、「朗読する物語」と朗読するために気を付けることを書いた「川名さんのメモ」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

#### 川名さんのメモ

- 朗読の仕方
- 理由

「黄色だね」のあとに間を取って、からかうような口調で読む。

はたけてばったりゆきあつた二ひきの蛙が、けんかを始めるさっかけになる言葉だから。

#### 朗読する物語

##### 二ひきの蛙

新美南吉

緑の蛙と黄色の蛙が、はたけのまんなかではたりゆきあいました。「やあ、きみは黄色だね。きたない色だ。」

と緑の蛙がいきました。

「きみは緑だね。きみはじぶんを美しいと思っているのかね。」

と黄色の蛙がいきました。

こんなふうには話しあっている、よいことは起こりません。「二ひきの蛙はとうとうけんかをはじめました。緑の蛙は黄色の蛙の上にとびかかっていききました。この蛙はとびかかるのが得意でありました。」

黄色の蛙はあとあつて砂をけとばしましたので、あいてはたびたび目玉から砂をはらわねばなりません。するとそのとき、寒い風がふいてきました。

二ひきの蛙は、もうすぐ冬のやってくることをおもいました。蛙たちは土の中にもぐって寒い冬をこたねばならないのです。

「春になったら、このけんかの勝負をつける。」

といて、緑の蛙は土にもぐりました。

「いまいったことをわすれるな。」

といて、黄色の蛙ももぐりこみました。

寒い冬がやってきました。蛙たちのもぐっている土の上に、びゅうびゅうと北風がふいたり、霜柱が立ったりしました。そしてそれから、春がめぐってきました。

土の中にもぐっていた蛙たちは、せなかの上の土があたたかくなってきたのでわかりました。さいしよに、緑の蛙が目を見ました。土の上に出ました。まだほかの蛙は出ていません。

「おいおい、おきたまえ。もう春だね。」

と土の中にもぐってよびました。

すると、黄色の蛙が、

「やれやれ、春になったか。」

といて、土から出てきました。

「わすれたか」の「か」を挑発するように強く読む。

冬眠の前に「わすれるな」と言っていた黄色の蛙のんびりと出てきたので、けんかのことを思い出させようとしているから。

去年のけんか、わすれたか。」と緑の蛙がいきました。「待って待って。からだの土をあらいおとしてからにしようぜ。」と黄色の蛙がいきました。

二ひきの蛙は、からだから泥土をおとすために、池のほうにいきました。池には新しくわきて、ラムネのようにすがすがしい水がっぱいなたたえられてありました。そのなかへ蛙たちは、とふんとふんとびこみました。からだをあらうから緑の蛙が目をはちくりさせて、

「やあ、きみの黄色は美しい。」

といました。

「そういえば、きみの緑だってすばらしいよ。」

と黄色の蛙がいきました。

そこで二ひきの蛙は、

「もうけんかはよそう。」

といました。

よくねむったあとでは、人間でも蛙でも、きげんがよくなるものであります。

〔新美南吉「二ひきの蛙」による〕

1 この物語について説明したものと、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 二ひきの蛙が協力して困難を乗り越える様子を、音を表す言葉を用いてリズムよく書いている。

2 二ひきの蛙が人も蛙も同じ生物だと悟る様子を、動作を表す言葉を用いて客観的に書いている。

3 二ひきの蛙が友情を再確認していく様子を、緑の蛙の立場から話し言葉を用いて書いている。

4 二ひきの蛙がけんかをして仲直りする様子を、会話を多く用いて平易な言葉で書いている。

2 この物語に描かれている季節を、次の1から4までの中からすべて選びなさい。

- 1 春
- 2 夏
- 3 秋
- 4 冬

## 2 解説

### 設問1

#### ■正答について

正答は、選択肢4である。

この物語は、二ひきの蛙がけんかをして仲直りする様子が対話を中心とした子ども向けの文章で描かれており、会話が多く用いられていること、平易な言葉で書かれていることが表現の特徴として挙げられる。

#### ■誤答について

- (1) 選択肢1↓二ひきの蛙が協力して困難を乗り越える様子は書かれていない。  
 (2) 選択肢2↓二ひきの蛙が人も蛙も同じ生物だと悟る様子は書かれていない。  
 (3) 選択肢3↓二ひきの蛙が友情を再確認していく様子は書かれていない。また、緑の蛙の立場から書かれた物語ではない。

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A③②では、比喻等の表現技法に注意して内容を捉えることができるかどうかをみる問題を出題している。  
 (正答率 七二・一%)

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B②①では、作品の内容や表現上の特徴を捉えることができるかどうかをみる問題を出題している。  
 (正答率 八一・八%)

※ 平成二十二年全国学力・学習状況調査【中学校】国語A⑤②では、文章の特徴を捉えることができるかどうかをみる問題を出題している。  
 (正答率 七六・七%)

三 川名さんは、緑の蛙が話した言葉の朗読の仕方について考えています。あなたなら、「二ひきの蛙」をどのように工夫して朗読しますか。あなたの考える朗読の仕方とその理由を、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「川名さんのメモ」の書き方を参考にし、○には朗読の仕方と工夫を、▼にはその理由を書きなさい。

条件2 ▼は、物語の内容を踏まえ、物語の中の言葉を使って書くこと。

条件3 ○は、十五字以上、三十字以内で、▼は、四十字以上、六十字以内で書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

|    |    |    |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----|----|----|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|    |    |    |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ▼  |    |    |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|    | ○  |    |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 60 | 40 | 30 | 15 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 1 出題の趣旨

物語を朗読する際に、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 物語の展開や表現の特徴を捉えること
- ・ 物語の場面の展開を捉えること
- ・ 物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書くこと

ここでは、朗読するという目的をもつて、「二ひきの蛙」の読み方の工夫を考える場面を設定した。

「二ひきの蛙」を読んで、物語の展開や表現の特徴を捉えることと、物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、朗読の仕方と工夫を考えて書くことを求めている。

## 設問二

### ■正答について

正答は、選択肢1、3、4である。

「寒い冬がやってきました。」とあることから、物語の始まりは秋であることが分かる。また、「春がめぐってきました」とあることから、物語が春の場面で終わっていることが分かる。これらのことから、この物語は秋、冬、春と場面が展開していることが分かる。

## 設問三

### ■正答について

正答は、次の四つの条件を満たして解答しているものである。

① ○に、朗読の仕方の工夫を適切に書いている。

\* ○に、物語についての解釈などが含まれている場合は、物語の内容及び▼の内容と照らし合わせてその記述の適否を判断する。

② ○は、十五字以上、三十字以内で書いている。

③ ▼に、物語の内容を正しく理解した上で、物語の中の言葉を使って、朗読の仕方の工夫の理由を適切に書いている。

④ ▼は、四十字以上、六十字以内で書いている。

\* ○だけ解答している場合は、条件①、②を判断し、解答類型6か解答類型9とする。

「正答例は、解答類型を参照のこと。」

緑の蛙が話した「やあ、きみの黄色は美しい。」という言葉を朗読するに当たっては、物語の内容を正しく理解し、緑の蛙の気持ちについて自分の考えをもつ必要がある。

このことを踏まえて、○に朗読の仕方の工夫が具体的に書かれているもの、▼に朗読の仕方の工夫の理由が適切に書かれているものを正答とする。

なお、次のものも正答とする。

条件①、②、③、④を満たした上で、▼に、本文の内容と矛盾しない範囲で自分の感想などを付け足して書いているもの

(例示の傍線部は関係箇所) (解答類型1)

(例) ○ すっきりした気分が伝わるように、弾むような声で読む。(二十七字)

▼ 緑の蛙は冬眠してすっかり機嫌がよくなり、泥土を洗い落とした黄色の蛙が美しく見えたから。よく眠るのは気持ちがいいと思う。(六十字)

### ■誤答について

「■正答について」に示した四つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

誤答としては、例えば、次のようなものが考えられる。

・ 物語の内容を正しく理解していないもの (解答類型3)

(例) ○ 「きみの黄色は美しい」を高く大きな声で読む。(二十三字)

▼ 「春になったら、このけんかの勝負をつける。」と勢い込んでいた緑の蛙が、黄色の蛙とのけんかに敗れて言った言葉だから。(五十八字)

・ 理由を適切に書いていないもの (解答類型3)

(例) ○ 蛙の気持ちになって、明るく大きな声で読む。(二十二字)

▼ 池には新しくわきでて、ラムネのようにすがすがしい水がいっぱいいたたえられてあり、そのなかへ蛙たちは、とびこんだから。(五十九字)

\* 引用に終始し、理由として適切ではない。

・ どのように朗読の仕方を工夫するのか明確ではないもの

(例) ○ 目をぱちくりさせるときのように読む。  
(解答類型5) (十九字)

▼ 最初は「きたない色だ。」と言っていたのに、黄色の蛙がきれいになったことに気付き、「目をぱちくりさせて」いるから。  
(五十七字)

・ 本文を改変しているもの (解答類型5)

(例) ○ 「美しい」の前に「本当に」を加えて読む。

(二十一字)

▼ よく眠ったことで機嫌がよくなり、黄色の蛙が本当に美しく見えるようになったから。  
(四十字)

・ 朗読の仕方の工夫は適切に書いているが、理由が書かれていないもの (解答類型6)

(例) ○ さわやかな気分が伝わるように、高く大きな声で読む。  
(二十六字)

▼ (記述なし)

このように解答した生徒は、朗読の仕方を工夫することはできているが、読み取った文章の内容を、朗読の仕方の工夫の理由と結び付けて説明することができていない。これを解答類型の一つとすることで、生徒の学習状況の把握に役立てることができる。

※ 平成十九年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B【2】ア、イでは、作品の展開や心情の変化に着目して朗読することができるかどうかをみる問題を出题している。(正答率 六九・四%)

### 3 学習指導に当たって

(1) 様々な言語活動を通して文学的な文章を主体的に読む

文学的な文章を主体的に読むためには、目的をもつことが大切である。例えば、朗読するという目的をもつて文章を読むことで、場面の展開や表現の特徴などを主体的に捉えることができるようになる。同様に、小学生に読み聞かせをする、友達に作品のよさを紹介する、作品の続きを創作するなどの言語活動も、中学生が目的をもって文学的な文章を読む上で有効である。

(2) 朗読を通して読みを深める

朗読の仕方の工夫をする際には、叙述に即して内容を捉えた上で、登場人物の心情などを考える必要がある。読み取ったことに基づいて朗読の仕方を工夫し、実際に声に出して読みながら、その工夫が適切かどうかを吟味することで読みを深めることができる。また、自分が考えた読み方の工夫やその理由などについて意見を交流することは、読みを一層深めていくことにつながる。

指導に当たっては、国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 国語】』（平成二十三年十一月 教育出版）の次ページの事例も参照してほしい。

(1) 【読む能力】①における評価の実際

【生徒Wの「朗読シート」への記入の状況】

|    |   |
|----|---|
| 強く | 「おまえは、エーミールのところに行かなければなりません。」と、母はきっぱりと言った。  |
| 強く | 「そして、自分でそう言わなくてはなりません。それよりほかに、どうしようもありません。おまえのもっているものの中から、どれかを埋め合わせにより抜いてもらうように、申し出るのです。そして、許してもらうように頼まなければなりません。」  |
| 弱く | 「あの模範少年でなくて、ほかの友達だったら、すぐにそうする気になれたら。彼が、僕の前で言うことをわかってくれないし、おそらく全然信じようもしないだろうということを、僕は前もってはっきり感じていた。そのうちに夜になってしまったが、僕は出かける気になれなかった。母は、僕が中庭にいるのを見つけて、  |
| 弱く | 「今日のうちでなければなりません。さあ、行きなさい。」   |
| 弱く | と、小声で言った。それで、僕は出かけていき、  |
| 弱く | 「エーミールは？」   |
| 弱く | と尋ねた。彼は出てきて、すぐに、だれかがクジャクヤマユをだいなしにしまった、悪いやつがやったのか、あるいは猫がやったのかわからない、と語った。僕は、そのようを見せてくれ、と頼んだ。二人は上上がった。彼はろうそくをつけた。僕は、だいなしになったちようが展翅板の上に載っているのを見た。エーミールがそれを縛うために努力した跡が認められた。壊れた羽は残念に広げられ、ぬれた吸い取り紙の上に置かれてあった。 |
| 弱く | 「よしもなかった。悪角もやはりなくなっていた。そこで、それは僕がやったのだ、と言いき、くわしく話し、説明しようとした。   |

〈事例3 『少年の日の思い出』を朗読しよう～自分のものの見方や考え方を広げる～〉の一部

■新学習指導要領では

第一学年「書くこと」では、「ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。」という指導事項が示されている。第一学年「読むこと」では、「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立つこと。」「エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」という指導事項が示されている。

なお、本設問に関連する言語活動例としては、「ア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。」がある。

4 出典等

【図書】による。  
 新美南吉「二ひきの蛙」『ごんぎつね』昭和六十三年七月 大日本

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

| 設問                                     | 一  | 二  |
|--|--|--|
| 出題の趣旨                                  | 物語の展開や表現の特徴を捉えることができるかどうかをみる。  | 物語の場面の展開を捉えることができるかどうかをみる。   |
| 学習指導要領との関連<br>〔※〕 左側は、各設問に関連した新学習指導要領〕 | <p>C 読むこと（第二学年及び第三学年）<br/>ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。<br/>《表現の仕方》</p> <p>〔※〕 C 読むこと（第一学年）<br/>エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。《自分の考えの形成》</p> | <p>C 読むこと（第一学年）<br/>ウ 文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容の理解に役立てること。<br/>《構成や展開》</p> <p>〔※〕 C 読むこと（第一学年）<br/>ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。<br/>《文章の解釈》</p> |
| 評価の観点                                  | 読む能力   | 読む能力   |
| 正答                                     | 4<br>二ひきの蛙がけんかをして仲直りする様子を、会話を多く用いて平易な言葉で書いている。   | 4 3 1<br>冬 秋 春   |

| 設問 | 出題の趣旨  | 学習指導要領との関連  | 評価の観点                                       | 正答   |
|----|--|---|---|--|
| 三  | 物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。 | <p>学習指導要領との関連</p> <p>〔※〕 左側は、各設問に関連した新学習指導要領</p> <p>〔※〕 左側は、本設問に関連した新学習指導要領</p> <p>〔※〕 左側は、各設問に関連した新学習指導要領</p> <p>イ 伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。《事柄や意見》</p> <p>ウ 文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容の理解に役立てること。《構成や展開》</p> <p>ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。《記述》</p> <p>ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。《文章の解釈》</p> | <p>国語への関心・意欲・態度</p> <p>書く能力</p> <p>読む能力</p> | <p>〔※〕 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。(第一学年)</p> <p>目的や必要に応じて音読や朗読をすること。</p> <p>〔例〕</p> <p>○ さわやかな気分が伝わるように、高く大きな声で読む。(二十六字)</p> <p>▼ 緑の蛙も黄色の蛙も池の水で泥土を洗い落としてきれいになり、体だけではなく気持ちもさっぱりしたから。</p> <p>〔その他の正答例は、解答類型を参照のこと。〕</p> |

### Ⅲ 調查問題等



# 中学校第3学年

# 国語 A

## 注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから22ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙(解答冊子の「国語A」)に記入してください。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、濃く、はつきりと書いてください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45分間です。
- 9 「国語A」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

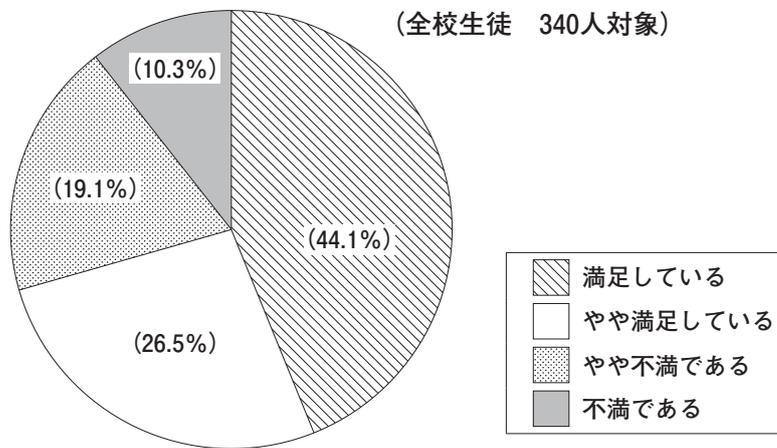
1

前田さんは、体育祭について、資料を示しながら全校生徒の前で話をします。次は、その【資料】と【話の内容】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】

### 昨年度の体育祭の満足度

(全校生徒 340人対象)



「やや不満である」または「不満である」と回答した人の学年別の割合

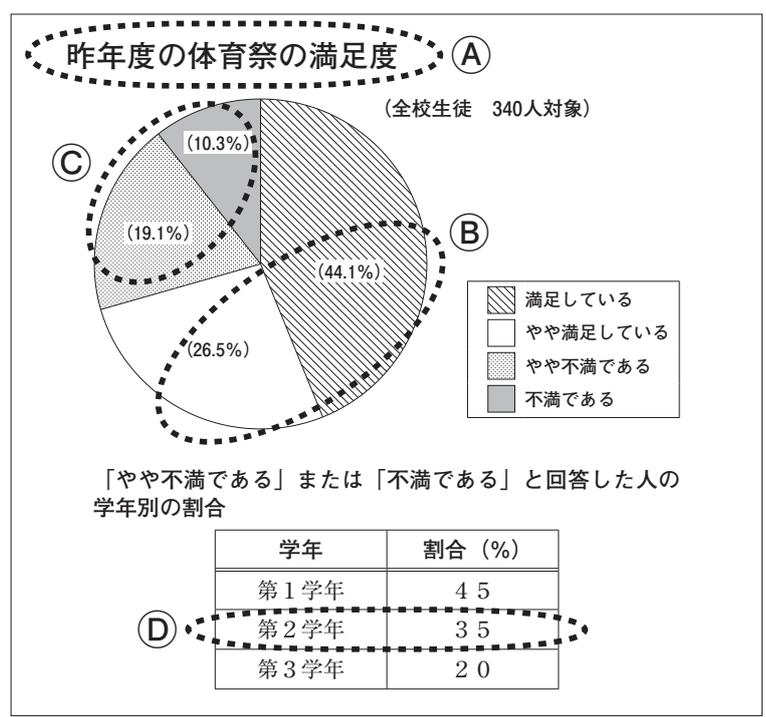
| 学年   | 割合 (%) |
|------|--------|
| 第1学年 | 45     |
| 第2学年 | 35     |
| 第3学年 | 20     |

【話の内容】

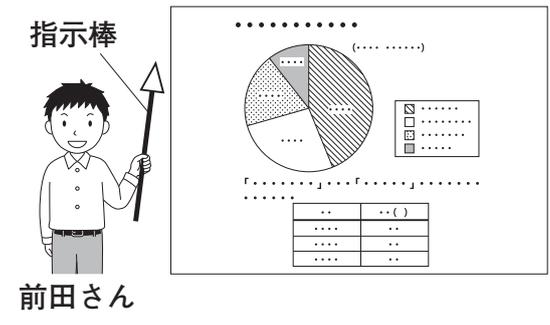
今年も、体育祭が近づいてきました。そこで今日は、昨年度行われた体育祭について話します。グラフを見てください。(ア) このグラフは、昨年度の体育祭の満足度を表しています。全校生徒の約七割の人が「満足している」、「やや満足している」と答えています。一方、「やや不満である」、「不満である」と答えた人は約三割いました。その学年別の割合は、下の表のようになります。(イ) 二、三年生に比べて、一年生は満足度が低いことが分かります。その理由として、「学級がうまくまとまらなかった」、「練習どおりにできなかった。」のような意見がありました。今年度は全学年の生徒が満足できるように、みんなで力を合わせてがんばりましょう。(ウ) 最後に連絡です。本日、体育祭の実行委員会を行います。(エ) 実行委員は、放課後三年一組に集まってください。以上で終わります。

一 線部「全校生徒の約七割の人が『満足している』と答えています。一方、『やや不満である』、『不満である』と答えた人は約三割いました。」と説明するとき、【資料】の(A)から(D)までの、どこどこを、どのように指示棒で指したらよいですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

【資料】



- 1 (A)の範囲を指したあと、(B)の範囲を指す。
- 2 (B)の範囲を指したあと、(C)の範囲を指す。
- 3 (C)の範囲を指したあと、(D)の範囲を指す。
- 4 (D)の範囲を指したあと、(A)の範囲を指す。



二 前田さんは、話題が変わるところで大きく間を取って話そうと思います。【話の内容】の(A)から(E)までのどこで間を取ったらよいですか。最も適切なものを一つ選びなさい。

2

中学生の長井さんは、六年生のときの担任の先生に手紙を書いています。次は、その【手紙の下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【手紙の下書きの一部】

拝啓

ようやく春めいてまいりました。松山先生、いかがお過ごしですか。きっといつもの優しい笑顔で授業をされていると思います。

私は三年生になり、勉強と部活動とを両立させ、充実した中学校生活を送っています。

一 手紙の始めに書かれる——線部「ようやく春めいてまいりました。」のような言葉を何と言いますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 頭語
- 2 結語
- 3 後付け
- 4 時候のあいさつ

二 長井さんは、文章を読み返して、——線部「ようやく春めてまいりました。」のあとに、次のように書き足しました。書き足した内容から分かる長井さんの工夫として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

六年生のとき遠足で行った川原の土手にも、つくしが顔を出しています。

- 1 相手と共有できる話題を取り上げること、一層親しみをもって読んでもらえるようにしている。
- 2 中学校生活の様子を詳しく報告することで、相手に具体的なイメージを伝えるようにしている。
- 3 話題に対する自分の立場とその根拠を示すことで、より説得力をもたせるようにしている。
- 4 相手を気づかう表現を加えることで、相手を不快な気持ちにさせないようにしている。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

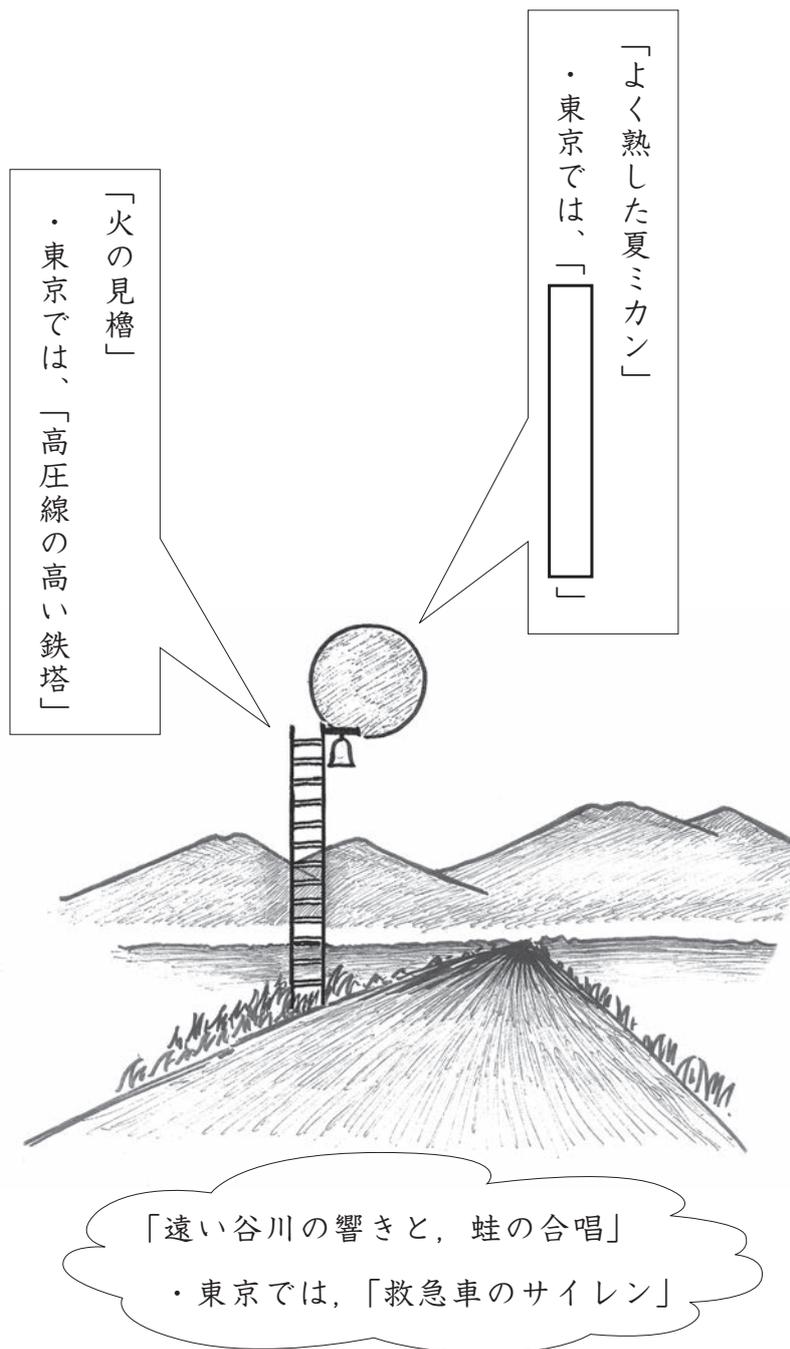
(三浦哲郎『ユタとふしぎな仲間たち』による。)

(三浦哲郎<sup>みうらてつお</sup>『ユタとふしぎな仲間たち』による。)

(注1) 火の見櫓ひのみぐら＝火事の見張りをするために高く設けたやぐら。

(注2) 半鐘はんかね＝釣り鐘の小さいもの。火の見櫓に取り付けて、火災を知らせるためなどに使われる。

一 次は、「ぼく」が見ている情景を、東京の情景と対応させて整理したものです。  
□ に当てはまる言葉を本文中から探し、抜き出しなさい。



二 — 線部「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法を何と言いますか。三字以内で書きなさい  
(漢字、ひらがなのどちらでもよい。)

4

生徒会長の山下さんは、新入生に対して歓迎の言葉を述べることになりました。次は、その【スピーチ原稿の下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【スピーチ原稿の下書きの一部】

〈メモ〉

小学校との違い

○ 授業

- ・ 名前の変わる教科がある
  - ・ 担当の先生が変わる
  - ・ 難易度が高くなる
- ↓ 日々の積み重ね

○ 部活動

- ・ 文化系、体育系
- ↓ 見学して、合うものを選ぶ

○ 生徒会活動（小学校……児童会活動）

- ・ 生徒が中心
  - ・ 多くの行事
- ↓ 一緒に行事を盛り上げる

〈メモをスピーチ原稿にしたもの〉

小学校との違いについてお話しします。

まず、授業のことです。中学校では、教科の名前が小学校と変わるものがあり、教科ごとに担当の先生も変わります。学習する内容も難易度が高くなるので、日々の積み重ねが大切になります。

二つめは、部活動のことです。部活動では、文化系、体育系どちらもたくさんあります。じっくり見学して自分に合ったものを選びましょう。

三つめは、

中学校では、生徒が中心となって多くの行事に取り組んでいます。新入生の皆さんも私たちと一緒に行事を盛り上げていきましょう。きっとすばらしい中学校生活になると思います。

一 ―線部「学習する内容も難易度が高くなるので、日々の積み重ねが大切になります。」とありますが、この表現は聞き手に分かりづらいので、聞いて分かりやすい表現に直したいと思います。次の（ ）に当てはまる言葉を書きなさい。

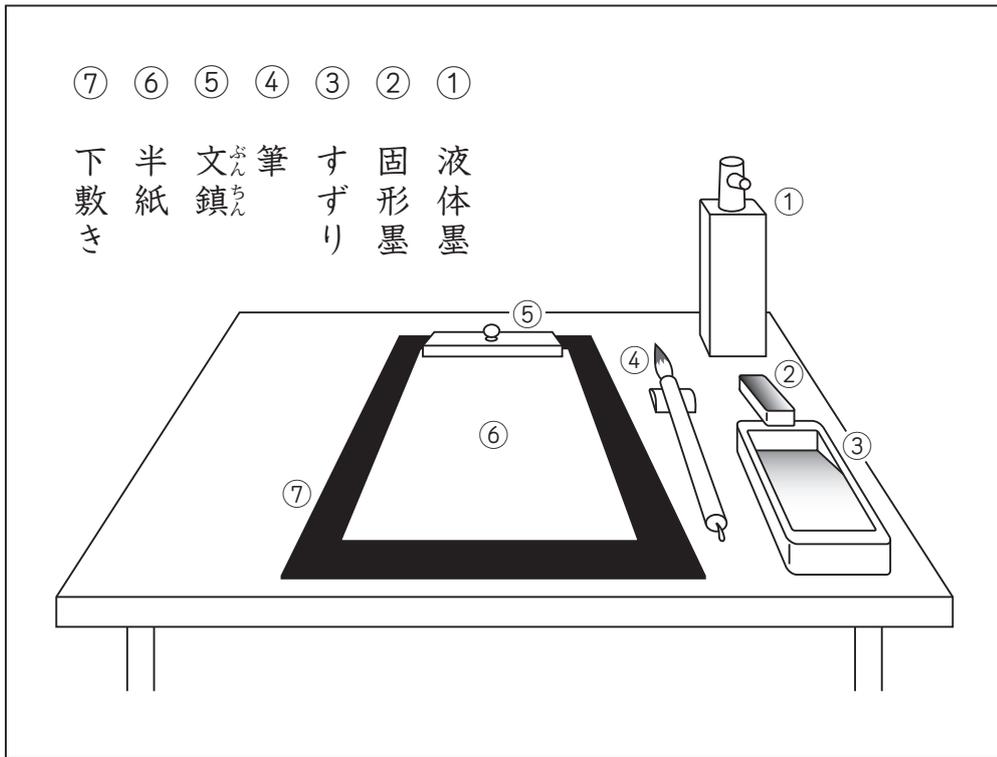
学習する内容も（ ）  
（ ）、日々の積み重ねが大切になります。

二 【スピーチ原稿の下書きの一部】にある「生徒会活動（小学校……児童会活動）」について、実際に話すように、  
に当てはまる言葉を書きなさい。（ ）（ ）「や」「……」を使わずに書くこと。

5

田中さんの学級では、外国からの留学生に日本の文化を紹介するために図と文章を準備しています。次は、毛筆の書写について【田中さんが準備した図】と【田中さんが書いた文章の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【田中さんが準備した図】



【田中さんが書いた文章の下書き】

毛筆の書写は、筆に墨をつけて文字を書くものです。用具は、図のように置きます。⑥の半紙は、⑦の下敷きの上に置きます。書くときは、③のすずりに①の液体墨を注ぐか、すずりに水を入れて、②の固形墨をすります。ここまでの準備ができたなら、墨を④の筆の毛の部分に含ませ、すずりで毛の先を整えて書きます。

一 【田中さんが書いた文章の下書き】の文章の特徴として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 用具の特徴を示し、他の筆記具と比較して説明している。
- 2 図と関連させて、用具の使い方について簡潔に説明している。
- 3 伝える事柄を絞り、図に示された番号の順番に説明している。
- 4 専門用語の意味を明らかにし、用具の素材を詳しく説明している。

二 田中さんは、⑤の文鎮の説明がないことに気付きました。〈 のあとに文鎮について説明する一文を加えようと思います。次の□に当てはまる言葉を、「⑤の文鎮は、」に続けて、**十五字以内**で書きなさい。

⑤の文鎮は、

□。

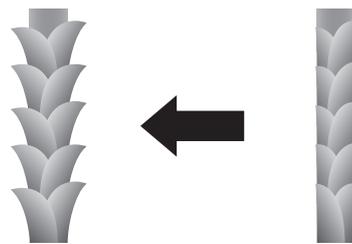
## 6

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

羊毛でできた衣服は、洗濯の仕方に注意しないと縮んでしまうことがあります。このような現象は、どうして起こるのでしょうか。これは、羊毛のもっている性質によるものです。羊毛の表面には、スケールと呼ばれるギザギザしたうろこ状のものがありません。このスケールは、乾燥状態だと閉じているのですが、水にぬれると開きやすくなるという性質をもっています。スケールが開いた状態で強くこすったりもみ洗いをしたりとすると、繊維どうしがからみ合っすぎてすきまがなくなるフェルト収縮と呼ばれる現象が起き、縮んでしまいます。これを防ぐためには、押すように手洗いするなど優しく扱うことが大切です。また、水の温度を途中で変えることも厳禁です。急な温度変化は、繊維に強い力をかけたのと同じことになり、やはり縮んでしまう原因となります。

もう一つ忘れてはいけないことがあります。それは、羊毛がアルカリ性や高温に弱いたんぱく質でできているということです。アルカリ性の洗剤や高温のお湯で洗うと、繊維そのものが変質してしまい、羊毛が本来もっている柔らかさが失われてしまいます。それを防ぐためには、中性洗剤を使い、三十度程度のぬるま湯で洗うのがよいとされています。最初から最後まで冷たいままの水を使ってもよいのではないかと思う方がいるかもしれませんが、それでは洗浄力が落ちます。

衣服には取り扱い絵表示が付いていて、洗濯をする際に気を付ける内容が示されています。お気に入りのセーターやカーディガンなどを長く大切に着るためにも、洗濯の仕方について正しい知識をもっておきたいものです。



スケールが開いている状態

スケールが閉じている状態

一 線部「このような現象」とありますが、何と呼ばれていますか。本文中から探し、六字で抜き出しなさい。

二 次は、衣服に付いている取り扱い絵表示の一つです。羊毛でできた衣服を本文の内容を踏まえて洗濯する場合、次の取り扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないことは何ですか。あとの1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。



- 1 アルカリ性の洗剤で洗うこと。
- 2 高温のお湯で洗うこと。
- 3 中性洗剤で洗うこと。
- 4 ぬるま湯で洗うこと。

7

次の一から八までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きなさい。

1 地域の人をシヨウタイする。

2 メートルは長さのタンイである。

3 鉛筆をカリる。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

1 考えに相違がある。

2 不純物が沈殿する。

3 会議で決を採る。

三 次のアからオの文では、( ) の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

- ア このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく(1 調合 2 調和 3 調律 4 調整)している。
- イ 先生が、私の家に(1 参る 2 うかがう 3 おっしゃる 4 いらっしゃる)。
- ウ 弟子を手塩に(1 まいて 2 ひいて 3 かけて 4 にぎって)育てる。
- エ (1 たてこもる 2 たちならぶ 3 たなびく 4 たたずむ)雲の間から、春の光がもれている。
- オ (1 いかなる 2 たかなる 3 せつなる 4 たんなる)困難にもひるむことなく仕事を進めた。

四 次のアとイの文の（ ）には、――線部の語句の対義語が入ります。あとの1から4までのうち、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選びなさい。

ア 電子メールを送信することはできたが、相手からの返事が（ ）できない。

1 受信

2 返信

3 発信

4 交信

イ 現実には様々な困難があるが、（ ）に向かって努力したい。

1 理論

2 回想

3 目標

4 理想

五 次の【自分の名前と住所】と【相手の名前と住所】を、はがきの書き方に注意して縦書きで書きなさい。

【自分の名前と住所】

名前…林 花子

住所…草木市南町七

【相手の名前と住所】

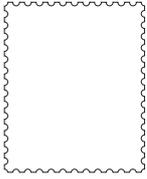
名前…川田 真一

住所…広山市大空町五

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

郵便はがき

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 0 | 0 | 9 | 8 | 5 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|



|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 0 | 0 | 9 | 8 | 5 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|

1 たけくらべ

|      |       |
|------|-------|
| ローマ字 | ..... |
|      | ..... |
|      | ..... |
|      | ..... |

2 Tosa nikki

|      |         |
|------|---------|
| ひらがな | と さ ( ) |
| 漢字   | 土 佐 ( ) |

※ 解答は必ず解答用紙に書きなさい。

六 次の1の作品名を、ローマ字でいねいに書きなさい。また、2のローマ字で書かれた作品名の（ ）の部分、ひらがなと漢字でそれぞれいねいに書きなさい。

問題は、次のページに続きます。

七 次は、「平家物語」の【冒頭の部分】とその【現代語訳】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

祇園精舎の鐘の声、(むじやう)諸行むじやうの響きあり。

沙羅双樹の花の色、じやうしゃひつすい盛者必衰のことわりをあらはす。

【現代語訳】

祇園精舎の鐘の音には、この世のすべては絶えず変化していくものだという響きがある。

沙羅双樹の花の色は、盛んな者も必ず衰えるものであるという道理を表している。

1 — 線部「諸行むじやう」の「むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

1 無上

2 無常

3 無状

4 無情

2  
〰線部「あらはす」を現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

八 次は、【漢和辞典】の「光」という字の説明の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【漢和辞典】

儿<sup>4</sup>【光】  
6画  
常用  
(2年)

ア コウ 漢 呉  
イ ひかる・ひかり

| 筆順 |
|----|
| 丨  |
| 丩  |
| 丩  |
| 丩  |
| 光  |

なり  
たち

炎

会意。丩は、火の形。儿は、人の形。「丩(=ひ)」が「儿(=ひと)」の上にある。明るく照らす。

意味 ①ひかる。ひかり。明るくかがやく。また、そのかがやき。

「明」「日」

- ② (外にかがやいて目立つ) 才能や名声。ほまれ。「栄」
- ③ つや。「沢たく」
- ④ けしき。「風」

1 この【漢和辞典】の【ア】と【イ】には、それぞれのどのような言葉が入りますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つずつ選びなさい。

- 1 中国から伝わった読み方である音読みを表す「音」が入る。
- 2 元々の日本語を当てはめた読み方である音読みを表す「音」が入る。
- 3 中国から伝わった読み方である訓読みを表す「訓」が入る。
- 4 元々の日本語を当てはめた読み方である訓読みを表す「訓」が入る。

2 「観光」の「光」の意味として最も適切なものを、【漢和辞典】の「意味」の①から④までの中から一つ選びなさい。

平成 24 年度 全国学力・学習状況調査  
平成 24 年 4 月 文部科学省

# 中学校第3学年

# 国語 B

## 注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから13ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙(解答冊子の「国語B」)に記入してください。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、**濃く、はつきりと書いてください。**
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45分間です。
- 9 「国語B」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

1

次は、作家の大岡玲<sup>おおおかあきら</sup>さんと女優の檀ふみ<sup>だん</sup>さんの対談の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

# 美しい 日本語とは

大岡 玲<sup>さん</sup>×  
檀 ふみ<sup>さん</sup>



（「美しい日本語とは」による。）

〔美しい日本語とは〕による。〕

〔美しい日本語とは〕による。〕

〔注1〕

金田一春彦 言語学者。

〔注2〕

ハーフクエスチョン 文中のある語の語尾を上げ、相手に尋ねるように間を取る言い方。

〔注3〕

同化圧力 ここでは、みんなと同じ言葉を使うことを強制するような力。

〔注4〕

艱難辛苦 困難にあつて悩み苦しむこと。

一 [ ] で囲まれた部分の檀さんの発言は、この対談の中でどのような役割を果たしていますか。その役割を説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 大岡さんの発言に疑問を示した上で、新たな考えを引き出している。
- 2 大岡さんの発言を否定した上で、これからの話の方向を決めている。
- 3 大岡さんの発言を受け止めた上で、具体例を挙げて話題を広げている。
- 4 大岡さんの発言に賛成した上で、二人の意見の相違点を確認している。

二 次は、二人の対談がどのように展開しているか整理したものです。 [ ] に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

日本語の歴史に触れて、昔の言葉や昔から指摘されている言葉の乱れなどについて話している。  
自分たちの体験を振り返って、聞き苦しく感じる言葉や麗しい言葉などについて話している。  
使う言葉の数が少なくなっていることを挙げて、 [ ] について話している。

- 1 言葉のあいまい化現象
- 2 発展途上にある日本語
- 3 積極的に使うべき言葉
- 4 日本語のもつリズム感



中村さんは、離れて暮らす祖母から「デジタルカメラで上手に写真が撮れない。シャッターボタンの押し方を教えてほしい。」と相談を受けました。そこで、次の【使用説明書の一部】を参考にして、祖母に分かりやすい説明書を作ろうと【祖母向けの説明書の下書き】を書いていきます。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【使用説明書の一部】

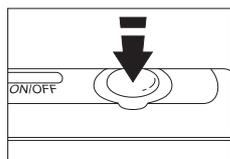
カメラにおまかせで撮る

1 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせる。

被写体にピントが合うと「ピピッ」と音がして、オートフォーカスフレーム（画面中央の四角い枠）が緑に点灯する。次のような場合は、ピントが合いにくいことがある。

- (例)
- ・ 動きの速い被写体
  - ・ 近距離の被写体

なお、ピントが合わないとオートフォーカスフレームが赤く点灯するので、指を離してからもう一度半押しする。

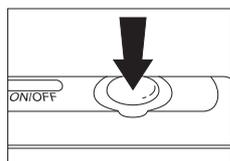


ピントが合うと、「ピピッ」と音がする。

半押し ⇨ シャッターボタンを抵抗を感じるところまで軽く押して、そのまま指を動かさないでいること。半押しすると、ピントが自動的に合う。

2 シャッターボタンを全押しして撮影する。

シャッター音がして写真が撮影される。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込む。

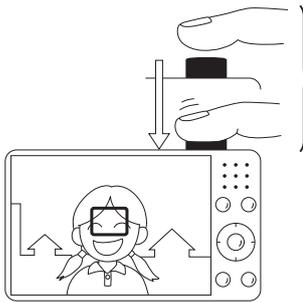


「カシャッ」と音がする。

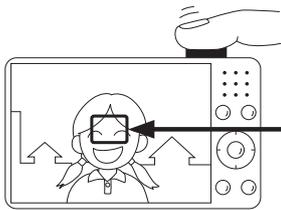
全押し ⇨ 半押しの状態から指を離さずに、シャッターボタンを深く押し込むこと。

おばあちゃんへ

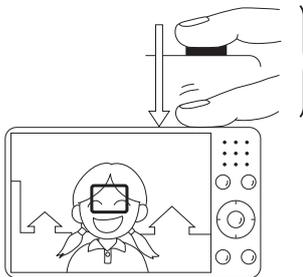
デジタルカメラのシャッターボタンの押し方をまとめましたので、参考にしてください。



① 撮りたいものにカメラを向けて、指が止まるまで軽くボタンを押します。



②



③ ②でピントが合ったら、指を離さずに、ボタンを静かに最後まで押すと、「カシャッ」と音がして写真が撮れます。

上手に撮れたら写真を送ってくださいね。

一 【使用説明書の一部】の中に――線部「被写体」とありますが、【祖母向けの説明書の下書き】では「被写体」のことを別の言葉で表現しています。その言葉を【祖母向けの説明書の下書き】の中から探し、抜き出しなさい。

二 中村さんは【祖母向けの説明書の下書き】で、祖母が理解しやすいようにどのような工夫をしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 元の文章の中にある専門用語をすべて取り上げ、それぞれに注釈を付けて説明している。
- 2 操作手順に沿って文章や図を書き換え、特に注意する事柄を明らかにして説明している。
- 3 文字を太くしたり下線を引いたりして、疑問に対する回答を強調して説明している。
- 4 全体にかかわる重要な事柄を最初に述べ、補足する事柄をあとにして説明している。

三 【祖母向けの説明書の下書き】の  には、どのような説明を加えたらよいですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「緑」、「赤」、「ピピッ」という言葉をすべて使って書くこと。

条件2 六十字以上、八十字以内で書くこと。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に  
書きなさい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 60 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 80 |

3

中学生の川名さんは、小学生に「二ひきの蛙かえる」を朗読することになりました。次は、【朗読する物語】と朗読するために気を付けることを書いた【川名さんのメモ】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【川名さんのメモ】

○……朗読の仕方の工夫

▼……理由

○ 「黄色だね」のあとに間を取って、からかうような口調で読む。

▼ はたけでばったりゆきあった二ひきの蛙が、けんかを始めるきっかけになる言葉だから。

【朗読する物語】

二ひきの蛙

新美 南吉  
にいみ なんきち

緑の蛙と黄色の蛙が、はたけのまんなかでばったりゆきあいました。

「やあ、きみは黄色だね。きたない色だ。」

と緑の蛙がいいました。

「きみは緑だね。きみはじぶんを美しいと思っているのかね。」

と黄色の蛙がいいました。

こんなふうに話しあっていると、よいことは起こりません。二ひきの蛙はとうとうけんかを始めました。

緑の蛙は黄色の蛙の上にとびかかっていきました。この蛙はとびかかるのが得意でありました。

黄色の蛙はあとあしで砂をけとばしましたので、あいてはたびたび目玉から砂をはらわねばなりませんでした。

するとそのとき、寒い風がふいてきました。

○ 高く大きな声で、勢いよく一気に読む。

▼ けんかの勝負をつけることにこだわっている一方で、もうすぐ冬のやってくることを思い出して慌てているから。

○ 呼びかけるように、句読点ではっきりと区切って読む。

▼ 待ちかねていた春が来て、土の上に出てみると、けんかの相手である黄色の蛙がまだ起きていなかったから。

二ひきの蛙は、もうすぐ冬のやってくることをおもいだしました。蛙たちは土の中にもぐって寒い冬をこさねばならないのです。

「春になったら、このけんかの勝負をつける。」

と、緑の蛙は土にもぐりました。

「いまいったことをわすれるな。」

と、黄色の蛙ももぐりこみました。

寒い冬がやってきました。蛙たちのもぐっている土の上に、びゅうびゅうと北風がふいたり、霜柱が立ったりしました。

そしてそれから、春がめぐってきました。

土の中にねむっていた蛙たちは、せなかの上の土があたたかくなってきたのでわかりました。

さいしょに、緑の蛙が目をさしました。土の上に出てみました。まだほかの蛙は出ていません。

「おいおい、おきたまえ。もう春だぞ。」

と土の中にもかかってよびました。

すると、黄色の蛙が、

「やれやれ、春になったか。」

と、土から出てきました。

○ 「わすれたか」の「か」を挑発するように強く読む。

▼ 冬眠の前に「わすれるな」と言っていた黄色の蛙がのんびりと出てきたので、けんかのことを思い出させようとしているから。

「去年のけんか、わすれたか。」

と緑の蛙がいました。

「待て待て。からだの土をあらいおとしてからにしようぜ。」

と黄色の蛙がいました。

二ひきの蛙は、からだから泥土をおとすために、池のほうにいきました。

池には新しくわきでて、ラムネのようすがすがしい水がいつぱいにたたえられてありました。そのなかへ蛙たちは、とぶんとぶんとびこみました。

からだをあらってから緑の蛙が目をはちくりさせて、

「やあ、きみの黄色は美しい。」

といました。

「そういえば、きみの緑だつてすばらしいよ。」

と黄色の蛙がいました。

そこで二ひきの蛙は、

「もうけんかはよそう。」

といいあいました。

よくねむったあとでは、人間でも蛙でも、きげんがよくなるものであります。

(新美南吉「二ひきの蛙」による。)

一 この物語について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二ひきの蛙が協力して困難を乗り越える様子を、音を表す言葉を用いてリズムよく書いている。
- 2 二ひきの蛙が人も蛙も同じ生物だと悟る様子を、動作を表す言葉を用いて客観的に書いている。
- 3 二ひきの蛙が友情を再確認していく様子を、緑の蛙の立場から話し言葉を用いて書いている。
- 4 二ひきの蛙がけんかをして仲直りする様子を、会話を多く用いて平易な言葉で書いている。

二 この物語に描かれている季節を、次の1から4までの中からすべて選びなさい。

- 1 春
- 2 夏
- 3 秋
- 4 冬

三 川名さんは、緑の蛙が話した言葉の朗読の仕方について考えています。あなたなら、――線部「『やあ、きみの黄色は美しい。』」をどのように工夫して朗読しますか。あなたの考える朗読の仕方の工夫とその理由を、次の**条件1**から**条件3**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

**条件1** 【川名さんのメモ】の書き方を参考にし、○には朗読の仕方の工夫を、▼にはその理由を書くこと。

**条件2** ▼は、物語の内容を踏まえ、物語の中の言葉を使って書くこと。

**条件3** ○は、十五字以上、三十字以内で、▼は、四十字以上、六十字以内で書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

|    |    |  |   |    |    |
|----|----|--|---|----|----|
|    |    |  | ▼ |    | ○  |
|    |    |  |   |    |    |
|    |    |  |   |    |    |
|    |    |  |   |    |    |
|    |    |  |   |    |    |
|    |    |  |   |    |    |
|    |    |  |   |    |    |
|    |    |  |   |    |    |
|    | 40 |  |   |    |    |
| 60 |    |  |   | 30 | 15 |

これで、国語Bの問題は終わりです。

平成 24 年度 全国学力・学習状況調査  
平成 24 年 4 月 文部科学省

# 解答用紙



■全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑦ 国語 A

※この答案番号は、あなたが受けるすべての課題に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

**国語 A オモテ** 学校名

解答欄はウラにもあります。

**1** 一 ① ② ③ ④      二 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

**2** 一 ① ② ③ ④      二 ① ② ③ ④

**3** 一 ・東京では、「」      二

**4** 一 学習する内容も 、日々の積み重ね  
が大切になります。

二 三つめは、

**5** 一 ① ② ③ ④

二 ⑤ の文 鎮 は、

**6** 一       二 ① ② ③ ④

**7** 一       二

1       2       3  りる

1       2       3  る

**7** 三、四、五、六、七、八の解答欄は、裏面にあります。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：3組 7番の場合  
組：0:3 出席番号：0:7

| 生徒記入欄 |      | 性別  |
|-------|------|-----|
| 組     | 出席番号 | 男 女 |
| 0     | 0    | 男   |
| 0     | 1    | 女   |
| 0     | 2    |     |
| 0     | 3    |     |
| 0     | 4    |     |
| 0     | 5    |     |
| 0     | 6    |     |
| 0     | 7    |     |
| 0     | 8    |     |
| 0     | 9    |     |

※組・出席番号が1ケタの場合、左の0を塗りつぶしてください。

絶対汚さないこと。

# 国語A ウラ

解答欄はオモテにもあります。

## 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑦ 国語A

7

三

ア ① ② ③ ④

イ ① ② ③ ④

ウ ① ② ③ ④

エ ① ② ③ ④

オ ① ② ③ ④

四

ア ① ② ③ ④

イ ① ② ③ ④

五

郵便はがき

1 0 0 9 8 5 9

9 0 0 9 8 5 9

六

ローマ字

1

.....

.....

.....

|      |        |
|------|--------|
| ひらがな | とさ ( ) |
| 漢字   | 土佐 ( ) |

2

七

1 ① ② ③ ④

2 あらす

八

1 ア ① ② ③ ④

イ ① ② ③ ④

2 ① ② ③ ④

■全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥国語 B

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

国語 B オモテ

学校名

答案番号

解答欄はウラにもあります。

**1**

一

① ② ③ ④

二

① ② ③ ④

三

120

**2**

一

二

① ② ③ ④

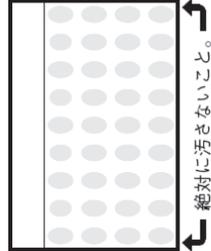
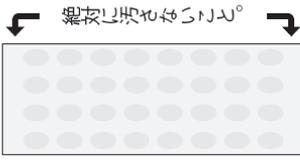
**2** 三の解答欄は、裏面にあります。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。  
例：3組 7番の場合

組：0:3 出席番号：0:7

|       |      |    |   |   |
|-------|------|----|---|---|
| 生徒記入欄 |      | 性別 | 男 | 女 |
| 組     | 出席番号 | 0  | ① | ② |
| 0     | 0    | ③  | ④ | ⑤ |
| ①     | ①    | ⑥  | ⑦ | ⑧ |
| ②     | ②    | ⑨  | ⑩ | ⑪ |
| ③     | ③    | ⑫  | ⑬ | ⑭ |
| ④     | ④    | ⑮  | ⑯ | ⑰ |
| ⑤     | ⑤    | ⑱  | ⑲ | ⑳ |
| ⑥     | ⑥    |    |   |   |
| ⑦     | ⑦    |    |   |   |
| ⑧     | ⑧    |    |   |   |
| ⑨     | ⑨    |    |   |   |

※組・出席番号が1ケタの場合、左の⑩を塗りつぶしてください。





正 答 (例)



※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」や「2 解答類型」に記載しているので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも参照されたい。

■ 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑦ 国語 A

1 一 ① ● ③ ④ 二 ⑦ ⑧ ● ⑩ ↓ 解答類型 P.6 参照

2 一 ① ② ③ ● 二 ● ② ③ ④ ↓ 解答類型 P.6 参照

3 一 ・東京では、**例** 使い古したゴルフボール 二 **例** 比 ゆ

4 一 学習する内容も **例** 難しくなるので、日々の積み重ねが大切になります。

二 三つめは、**例** 小学校では児童会活動と言われていた生徒会活動のことです。

5 一 ① ● ③ ④ 二 ⑤ の文鎮は、半紙の上の方に置きます。

6 一 フ エ ル ト 収 縮 二 ① ② ● ④ ↓ 解答類型 P.10 参照

7 一 1 招待 2 単位 3 借 りる  
二 1 そうい 2 ちんでん 3 と る

7 三、四、五、六、七、八の解答欄は、裏面にあります。

国語 A オモテ

学校名

解答欄はウラにもあります。

↓ 解答類型 P.10 P.11 参照

※この出席番号は、あなたが受けるすべての設問に共通した番号なので、ほかの設問の解答(回答)用紙は、使わないでください。

答案番号

絶対に汚さないこと。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。  
例：3組 7番の場合  
組：03 出席番号：07

| 生徒記入欄 |      | 性別  |
|-------|------|-----|
| 組     | 出席番号 | 男 女 |
| 00    | 00   | ①   |
| 01    | 01   | ②   |
| 02    | 02   | ③   |
| 03    | 03   | ④   |
| 04    | 04   | ⑤   |
| 05    | 05   | ⑥   |
| 06    | 06   | ⑦   |
| 07    | 07   | ⑧   |
| 08    | 08   | ⑨   |
| 09    | 09   | ⑩   |

※組、出席番号が1ケタの場合、左の○を塗りつぶしてください。

絶対に汚さないこと。

# 国語A ウラ

解答欄はオモテにもあります。

例

|   |      |            |
|---|------|------------|
| 1 | ローマ字 | Takekurabe |
|---|------|------------|

|   |      |            |
|---|------|------------|
| 2 | ひらがな | とさ ( にっき ) |
|   | 漢字   | 土佐 ( 日記 )  |

七

1  ①  ②  ③  ④

2 

|      |      |
|------|------|
| あらはす | あらわす |
|------|------|

八

1  ①  ②  ③  ④

2  ①  ②  ③  ④

六

例

|         |   |   |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|---|---|
| 郵便はがき   | 1 | 0 | 9 | 8 | 5 | 9 |
| 広島市大空町五 |   |   |   |   |   |   |
| 川田真一様   |   |   |   |   |   |   |
| 草木市南町七  |   |   |   |   |   |   |
| 林花子     | 9 | 0 | 9 | 8 | 5 | 9 |

四

ア  ①  ②  ③  ④

イ  ①  ②  ③  ④

## 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑦ 国語 A

7

三

ア  ①  ②  ③  ④

イ  ①  ②  ③  ④

ウ  ①  ②  ③  ④

エ  ①  ②  ③  ④

オ  ①  ②  ③  ④

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」や「2 解答類型」に記載しているのので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも参照されたい。

※この答案番号は、あなたが受けるすべての問題に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

答案番号

絶対に汚さないこと。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：3組 7番の場合  
組：03 出席番号：07

| 生徒記入欄 |    |
|-------|----|
| 組     | 性別 |
| 03    | 男  |
| 03    | 女  |
| 00    | 男  |
| 01    | 男  |
| 02    | 男  |
| 03    | 男  |
| 04    | 男  |
| 05    | 男  |
| 06    | 男  |
| 07    | 男  |
| 08    | 男  |
| 09    | 男  |
| 00    | 女  |
| 01    | 女  |
| 02    | 女  |
| 03    | 女  |
| 04    | 女  |
| 05    | 女  |
| 06    | 女  |
| 07    | 女  |
| 08    | 女  |
| 09    | 女  |

※組・出席番号が1ケタの場合、左の0を塗りつぶしてください。

絶対に汚さないこと。

■全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語B

※「2」各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」や「2」解答類型に記載しているのので、採点や学習指導の改善等に当たってはそれぞれ参照されたい。

1 一 ① ② ● ④

二 ● ② ③ ④

三

例 「残していきたいと思う美しい言葉は、個人が積極的に使うべきです。」という大岡さんの発言に納得した。先日、本を読んでいて「たおやか」という言葉を初めて知り、やわらかくて美しい言葉だと思った。このような美しい言葉を積極的に使いたい。

↓ 解答類型 P.18 参照

2 一 撮りたいもの

二 ① ● ③ ④

↓ 解答類型 P.20 参照

2 三の解答欄は、裏面にあります。

解答欄はオモテにもあります。

全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語B

※ 「Ⅱ 調査問題の解説」や「2 解答類型」に記載しているのので、採点や学習指導の改善等に当たってはそれぞれも参照されたい。

2 三

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 例 | が | に | い | を | く | ピ | ン | ト | が | 合 | う | と | 「 | ピ | ピ | ツ | 」 | と | 音 |
|   | し | な | り | と | だ | て | 四 | ま | 画 | 面 | 中 | 央 | の | 四 | 角 | い | 粹 | が | 緑 |
|   | と | な | 四 | 角 | い | 角 | が | 角 | す | 。 | ピ | ン | ト | が | 合 | っ | て | い | な |
|   | 離 | し | し | て | か | し | な | い | 枠 | 。 | が | 赤 | に | な | る | の | で | 、 | 指 |
|   | さ | さ | い | い | 。 | い | 度 | 。 | 。 | 。 | も | う | 一 | 一 | 押 | し | 直 | し | て |

↓ 解答類型 P.20 P.22 参照

3 一

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ● |
|---|---|---|---|

二

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ● | ② | ● | ● |
|---|---|---|---|

※当てはまるものをすべて選んで解答すること。

↓ 解答類型 P.23 P.24 参照

三 ○

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 例 | さ | わ | や | か | な | 気 | 分 | が | 伝 | わ | る | よ | う | に |
|   | 高 | く | 大 | き | な | 声 | で | 読 | む | 。 |   |   |   |   |

▶

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 例 | 緑 | の | 蛙 | も | 黄 | 色 | の | 蛙 | も | 池 | の | 水 | で | 泥 |
|   | 土 | を | 洗 | い | 落 | と | し | て | き | れ | い | に | な | り |
|   | 体 | だ | け | で | は | な | く | 気 | 持 | ち | も | さ | つ | ぱ |
|   | し | た | か | ら | 。 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

## 点字問題（抜粋）

7

次の1から8までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の「・・・」で示した語句の意味を、簡潔に説明しなさい。

- 1 地域の人を「シヨウタイ」する。
- 2 メートルは長さの「キホン」である。
- 3 鉛筆を「シヤクヨウ」する。

二 次の1から3までの——線部と同じ意味の語として最も適切なものを、次のアからエの「・・・」で示した語の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

1 考えにちがいがある。

2 不純物が底に沈んでたまる。

3 会議で決を採る。

- ア 「誤解」する
- イ 「失敗」する
- ウ 「混乱」
- エ 「相違」点

- ア 「通過する」
- イ 「沈殿する」
- ウ 化学「変化する」
- エ 意気「消沈する」

- ア 「採決する」
- イ 「解決する」
- ウ 「決意する」
- エ 「結実する」

五 次の【自分の名前と住所】と【相手の名前と住所】を、封筒の表書きの書き方に注意して点字のルールに従って書きなさい。

【自分の名前と住所】

名前…林 花子  
住所…草木市南町七

【相手の名前と住所】

名前…川田 真一  
住所…広山市大空町五

- 1 次の作品名を、ローマ字でていねいに書きなさい。

たけくらべ

- 2 ローマ字で書かれた作品名をひらがなで、ていねいに書きなさい。

Tosa nikki

七 次は、「平家物語」の【冒頭の部分】です。文中の(ア)、(イ)の部分を現代仮名づかいに直しなさい。

【冒頭の部分】

祇園ぎおん精舎しやうじゃの鐘かねの(ア)声こゑ、(イ)諸行しよぎやうむじやうの響ひびききあり。  
沙羅しやら双樹そうじゆの花はなの色いろ、盛者じやうしや必衰ひつすいの(イ)ことわりをあらはす。

(ア) こゑ

(イ) あらはず



ここから先のページは、  
裏表紙の方からお読みください。









ここから先のページは,  
表紙の方からお読みください。



- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成20年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 中学校 国語」平成20年4月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成21年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 中学校 国語」平成21年4月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成22年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 中学校 国語」平成22年4月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「解説資料 中学校 国語」平成23年9月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成21年度 全国学力・学習状況調査 中学校の結果を踏まえた授業アイデア例」平成21年8月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成22年度 全国学力・学習状況調査 中学校の結果を踏まえた授業アイデア例」平成22年8月
- 国立教育政策研究所ホームページ「平成23年度 中学校国語の調査問題を踏まえた授業アイデア例」 [http://www.nier.go.jp/11chousa/23\\_chu\\_koku\\_jugyourei.pdf](http://www.nier.go.jp/11chousa/23_chu_koku_jugyourei.pdf)

## 【参考文献】

- ・ 文部科学省「中学校学習指導要領」 平成10年12月告示
- ・ 文部科学省「中学校学習指導要領」 平成20年3月告示
- ・ 文部科学省「中学校学習指導要領（平成10年12月）解説国語編」 平成11年9月
- ・ 文部科学省「中学校学習指導要領解説国語編」 平成20年9月
- ・ 全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」 平成18年4月25日
- ・ 全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議「平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方に関する検討のまとめ」 平成23年3月31日
- ・ 文部科学省「読解力向上に関する指導資料 ～P I S A調査(読解力)の結果分析と改善の方向～」 平成17年12月
- ・ 文部科学省「読解力向上プログラム」 平成17年12月
- ・ 文部科学省「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【中学校版】」 平成23年5月
- ・ 国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料（中学校）—評価規準，評価方法等の研究開発（報告）—」 平成14年2月
- ・ 国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成のための参考資料（中学校）」 平成22年11月
- ・ 国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 国語】」 平成23年7月
- ・ 文部科学省 国立教育政策研究所「平成19年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」 平成20年1月
- ・ 文部科学省 国立教育政策研究所「平成20年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」 平成20年11月
- ・ 文部科学省 国立教育政策研究所「平成21年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」 平成21年12月
- ・ 文部科学省 国立教育政策研究所「平成22年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」 平成22年10月
- ・ 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成19年度 全国学力・学習状況調査解説資料 中学校 国語」 平成19年5月

(55) 解答を文章で書く問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか。

- ① すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- ② 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- ③ 書く問題は全く解答しなかった

あなたは、今回の<sup>こんかい</sup>国語<sup>こくご</sup>の問題<sup>もんだい</sup>について、どのように<sup>おも</sup>に思いましたか。次<sup>つぎ</sup>の(54)、(55)のそれぞれについて、<sup>あ</sup>当てはまるものを1つずつ<sup>えら</sup>選んでください。

(「美しい日本語とは」による。)

1 次は、作家の大岡<sup>おおくま</sup>玲<sup>れい</sup>さんと女優の檀<sup>たん</sup>ふみさんの対談の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

美しい日本語とは

大岡 玲さん×  
檀 ふみさん



中国B-2

中国B-1

(54) この問題<sup>もんだい</sup>にあるような、長い<sup>なが</sup>文章<sup>ぶんしょう</sup>を<sup>よ</sup>読むのは<sup>むずか</sup>難しい

- ① <sup>むずか</sup>難しいと<sup>おも</sup>思う
- ② どちらかといえ、<sup>むずか</sup>難しいと<sup>おも</sup>思う
- ③ どちらかといえ、<sup>むずか</sup>難しいと<sup>おも</sup>思わない
- ④ <sup>むずか</sup>難しいと<sup>おも</sup>思わない

|       |                |                  |         |
|-------|----------------|------------------|---------|
| 当てはまる | どちらかといえは、当てはまる | どちらかといえは、当てはまらない | 当てはまらない |
|-------|----------------|------------------|---------|

(50) 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている…………… ① — ② — ③ — ④

(51) 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している…………… ① — ② — ③ — ④

(52) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている…………… ① — ② — ③ — ④

(53) 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいる…………… ① — ② — ③ — ④

14 あなたは、<sup>こくご</sup>国語についてどのように<sup>おも</sup>思っていますか。<sup>あ</sup>当てはまるものを右の①から④の中から1つずつ<sup>えら</sup>選んでください。

|       |                |                  |         |
|-------|----------------|------------------|---------|
| 当てはまる | どちらかといえば、当てはまる | どちらかといえば、当てはまらない | 当てはまらない |
|-------|----------------|------------------|---------|

(45) <sup>こくご</sup>国語の<sup>べんきょう</sup>勉強は<sup>す</sup>好きだ…………… ① — ② — ③ — ④

(46) <sup>こくご</sup>国語の<sup>べんきょう</sup>勉強は<sup>たいせつ</sup>大切だ…………… ① — ② — ③ — ④

(47) <sup>こくご</sup>国語の<sup>じゅぎょう</sup>授業の<sup>ないよう</sup>内容はよく<sup>わ</sup>分かる・ ① — ② — ③ — ④

(48) <sup>どくしょ</sup>読書は<sup>す</sup>好きだ…………… ① — ② — ③ — ④

(49) <sup>こくご</sup>国語の<sup>じゅぎょう</sup>授業で<sup>がくしゅう</sup>学習したことは、  
<sup>しょうらい</sup>将来、<sup>しゃかい</sup>社会に<sup>で</sup>出たときに<sup>やく</sup>役に<sup>た</sup>立つ・ ① — ② — ③ — ④

### 3 質問紙調査項目 (教科関連部分)



| 問題番号 | 解 答 類 型  | 類型番号  |    |
|------|----------|---|----|
| 7    | 六<br>1   | ・「Takekurabe」のように解答しているもの<br>* 「takekurabe」, 「TAKEKURABE」などと解答しているものも正答とする。<br>* 書体は問わない。 | 1◎ |
|      |          | ・「Takekurade」のように解答しているもの   | 2  |
|      |          | ・「Takekurave」のように解答しているもの   | 3  |
|      |          | ・上記以外の解答  | 9  |
|      |          | ・無解答  | 0  |
|      | 2        | ・「とさにつき」と解答しているもの   | 1◎ |
|      |          | ・上記以外の解答  | 9  |
|      |          | ・無解答  | 0  |
|      | 七<br>(ア) | ・「こえ」と解答しているもの  | 1◎ |
|      |          | ・上記以外の解答  | 9  |
|      |          | ・無解答  | 0  |
|      | (イ)      | ・「あらわす」と解答しているもの  | 1◎ |
|      |          | ・上記以外の解答  | 9  |
|      |          | ・無解答  | 0  |

解答類型 [点字問題] 【中学校国語】

A 主として「知識」に関する問題

◎ … 解答として求める条件を全て満たしている正答

| 問題番号 | 解 答 類 型  | 類型番号                        |    |
|------|--|-----------------------------|----|
| 7    | 一<br>1   | ・「客として呼ぶこと」という意味が含まれているもの   | 1◎ |
|      |  | ・ 上記以外の解答                   | 9  |
|      |  | ・ 無解答                       | 0  |
|      | 2  | ・「物事の基になるもの」という意味が含まれているもの  | 1◎ |
|      |  | ・ 上記以外の解答                   | 9  |
|      |  | ・ 無解答                       | 0  |
|      | 3  | ・「人から借りて使うこと」という意味が含まれているもの | 1◎ |
|      |  | ・ 上記以外の解答                   | 9  |
|      |  | ・ 無解答                       | 0  |
|      | 二<br>1   | ・エと解答しているもの                 | 1◎ |
|      |  | ・ 上記以外の解答                   | 9  |
|      |  | ・ 無解答                       | 0  |
|      | 2  | ・イと解答しているもの                 | 1◎ |
|      |  | ・ 上記以外の解答                   | 9  |
|      |  | ・ 無解答                       | 0  |
| 3    | ・アと解答しているもの  | 1◎                          |    |
|      | ・ 上記以外の解答  | 9                           |    |
|      | ・ 無解答  | 0                           |    |
| 五    | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 【自分の名前と住所】と【相手の名前と住所】の位置を正しく書いている。<br>② 宛名に、「様」、「殿」、「先生」などの敬称を付けて書いている。<br>③ 横書きで書いている。 |                             |    |
|      | ・ 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの   | 1◎                          |    |
|      | ・ 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの   | 2                           |    |
|      | ・ 条件②, ③を満たし, 条件①について, 【自分の名前と住所】と【相手の名前と住所】の位置を逆に書いているもの  | 3                           |    |
|      | ・ 上記以外の解答  | 9                           |    |
|      | ・ 無解答  | 0                           |    |

# 解答類型

## 点字問題部分

| 問題番号 | 解答類型 | 類型番号  |    |
|------|------|---|----|
| ③    | 三    | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ②, ③, ④を満たして解答しているもの</li> </ul> <p>なお, 次のものも正答とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ②, ③, ④を満たした上で, ▼に, 本文の内容と矛盾しない範囲で自分の感想などを付け足して書いているもの(例示の下線部は関係箇所)<br/>(例) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ すっきりした気分が伝わるように, 弾むような声で読む。(27字)</li> <li>▼ 緑の蛙は冬眠してすっかり機嫌がよくなり, 泥土を洗い落とした黄色の蛙が美しく見えたから。<u>よく眠るのは気持ちがよいと思う。</u>(60字)</li> </ul> </li> </ul>   | 1◎ |
|      |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ②, ③を満たし, 条件④を満たさないで解答しているもの</li> </ul>   | 2  |
|      |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ②, ④を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの<br/>(例1) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「きみの黄色は美しい」を高く大きな声で読む。(23字)</li> <li>▼ 「春になったら, このけんかの勝負をつける。」と勢い込んでいた緑の蛙が, 黄色の蛙とのけんかに敗れて言った言葉だから。(58字)</li> <li>* 物語の内容を正しく理解していない。</li> </ul> </li> <li>(例2) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 蛙の気持ちになって, 明るく大きな声で読む。(22字)</li> <li>▼ 池には新しくわきでて, ラムネのようにすがすがしい水がいっぱいにたたえられてあり, そのなかへ蛙たちは, とびこんだから。(59字)</li> <li>* 引用に終始し, 理由として適切ではない。</li> </ul> </li> </ul> | 3  |
|      |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ③, ④を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの</li> </ul>   | 4  |
|      |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件②, ③, ④を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの<br/>(例1) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目をぱちくりさせるときのようによく読む。(19字)</li> <li>▼ 最初は「きたない色だ。」と言っていたのに, 黄色の蛙がきれいになったことに気づき, 「目をぱちくりさせて」いるから。(57字)</li> <li>* どのように朗読の仕方を工夫するのか明確ではない。</li> </ul> </li> <li>(例2) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「美しい」の前に「本当に」を加えて読む。(21字)</li> <li>▼ よく眠ったことで機嫌がよくなり, 黄色の蛙が本当に美しく見えるようになったから。(40字)</li> <li>* 本文を改変している。</li> </ul> </li> </ul>                              | 5  |
|      |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ②のみを満たしているもの(▼には記述がないもの)<br/>(例) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ さわやかな気分が伝わるように, 高く大きな声で読む。(26字)</li> <li>▼ (記述なし)</li> </ul> </li> </ul>  | 6  |
|      |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外の解答</li> </ul>   | 9  |
|      |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>無解答</li> </ul>   | 0  |

| 問題番号 | 解 答 類 型 | 類型番号   |    |
|------|---------|--|----|
| ③    | 一       | ・ 1 と解答しているもの  | 1  |
|      |         | ・ 2 と解答しているもの  | 2  |
|      |         | ・ 3 と解答しているもの  | 3  |
|      |         | ・ 4 と解答しているもの  | 4◎ |
|      |         | ・ 上記以外の解答  | 9  |
|      |         | ・ 無解答  | 0  |
|      | 二       | ・ 1, 3, 4 と解答しているもの  | 1◎ |
|      |         | ・ 1, 4 と解答しているもの   | 2  |
|      |         | ・ 上記以外の解答  | 9  |
|      |         | ・ 無解答  | 0  |
|      | 三       | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① ○に、朗読の仕方の工夫を適切に書いている。<br>* ○に、物語についての解釈などが含まれている場合は、物語の内容及び▼の内容と照らし合わせてその記述の適否を判断する。<br>② ○は、十五字以上、三十字以内で書いている。<br>③ ▼に、物語の内容を正しく理解した上で、物語の中の言葉を使って、朗読の仕方の工夫の理由を適切に書いている。<br>④ ▼は、四十字以上、六十字以内で書いている。<br>* ○だけ解答している場合は、(正答の条件)①、②を判断し、解答類型6か解答類型9とする。   |    |
|      |         | (正答例)<br>・○ さわやかな気分が伝わるように、高く大きな声で読む。(26字)<br>▼ 緑の蛙も黄色の蛙も池の水で泥土を洗い落としてきれいになり、体だけではなく気持ちもさっぱりしたから。(50字)<br>・○ 「きみの黄色は」のあとに間を取って、穏やかな声で読む。(28字)<br>▼ よく眠って体を洗ったあとでは機嫌がよくなり、黄色の蛙が美しく見え、けんかを続ける気持ちがなくなったから。(53字)<br>・○ 「やあ」を伸ばして読み、「美しい」は強く読む。(24字)<br>▼ 体に付いた泥土を洗い落とした黄色の蛙の姿を見て、その美しさに素直に感動したから。(41字)<br>・○ 感心したように、ゆっくりと読む。(17字)<br>▼ 出会ったときは「きたない色だ。」と言っていたのに、目を覚ましたあとは目をぱちくりさせながら「美しい」と言っているから。(60字) |    |

| 問題番号 | 解 答 類 型 |  | 類型番号 |
|------|---------|--|------|
| 2    | 三       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの<br/>(例)</li> <li>・ ピントが合うと音がして, 画面中央の四角い枠が緑になります。ピントが合っていないと四角い枠が赤になるので, 指を離してからもう一度押してください。<br/>(72字)</li> <li>＊ 「ピピッ」という言葉を使わずに, 「音」という言葉を使って書いている。</li> </ul> | 5    |
|      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記以外の解答</li> </ul>  | 9    |
|      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無解答</li> </ul>  | 0    |

※ 解答類型2の考え方については, 62ページ参照のこと。

| 問題番号 | 解 答 類 型   | 類型番号 |
|------|---|------|
| ②    | <p>三</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ②, ③を満たして解答しているもの</li> </ul> <p>なお, 次のものも正答とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>条件②について, 【祖母向けの説明書の下書き】の①や③の内容と重複しているもの(例示の下線部は関係箇所)</li> </ul> <p>(例1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指が止まるところまで軽くボタンを押したら, 画面中央の四角い枠を見ます。赤だと失敗なので, もう一度押し直します。「ピピッ」と音がして緑になったら成功です。(77字)</li> <li>うまくいくと「ピピッ」という音がして, 画面の枠が緑になります。赤のときはやり直してください。ピントが合ったら, 指を離さずに, ボタンを最後まで押し込みます。(78字)</li> </ul> <p>(例2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>条件②について, 記号や数字を使っているもの(例示の下線部は関係箇所)</li> </ul> <p>(例2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画面中央の四角い枠が緑になったら○です。「ピピッ」と鳴ったら○です。四角い枠が赤になったら×です。緑や「ピピッ」だったら③へ進みます。赤だったら①に戻ります。(80字)</li> </ul> | 1◎   |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ②, ③を満たしているもののうち, 「被写体」, 「オートフォーカスフレーム」などの言葉をそのまま用いて解答しているもの(例示の下線部は関係箇所)</li> </ul> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被写体にピントが合うと, 「ピピッ」と音がして, オートフォーカスフレームが緑になります。ピントが合わないとき赤になるので一度指を離して押し直してください。(76字)</li> </ul>   | 2○   |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの</li> </ul>  | 3    |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの</li> </ul> <p>(例1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ピピッ」と音がしたら, 赤に点灯します。ピントが合わないと画面中央の四角い枠が緑に点灯するのでそのときは指を離します。(60字)</li> <li>* ピントが合っている状態と色との関連を正しく捉えていない。</li> </ul> <p>(例2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撮りたいものにピントが合うと, 画面中央の四角い枠が緑に点灯します。ピントが合わないと画面中央の四角い枠が赤く点灯します。「ピピッ」と音がします。(73字)</li> <li>* ピントが合っている状態と音との関連が明確ではない。</li> </ul> <p>(例3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押すと, 「ピピッ」と音がして, 画面中央の四角い枠が緑になります。そうならないときには, 画面中央の四角い枠が赤になります。(65字)</li> <li>* どの状態がピントが合っている状態なのか明確ではない。</li> </ul>   | 4    |

| 問題番号 | 解答類型 | 類型番号   |    |
|------|------|--|----|
| 1    | 三    | (例2)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>大岡さんが「若い人に気付いてもらわなくっちゃね、もっとうまく使えるよう言葉を鍛えなきゃダメだって。」と言っているが、本当にそうだ。言葉を鍛えるために、「ヤバイ」ばかり言うのではなく、「おいしい」などその場に当てはまる言葉を探して使いたい。<br/>(120字)</li> <li>* 本文の内容を正しく捉えていない。</li> </ul>   |    |
|      |      | ・上記以外の解答   | 9  |
|      |      | ・無解答   | 0  |
| 2    | 一    | ・「撮りたいもの」と解答しているもの   | 1◎ |
|      |      | ・上記以外の解答   | 9  |
|      |      | ・無解答   | 0  |
|      | 二    | ・1と解答しているもの  | 1  |
|      |      | ・2と解答しているもの  | 2◎ |
|      |      | ・3と解答しているもの  | 3  |
|      |      | ・4と解答しているもの  | 4  |
|      |      | ・上記以外の解答   | 9  |
|      |      | ・無解答   | 0  |
|      | 三    | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 「緑」、「赤」、「ピピッ」という言葉を全て使って書いている。<br>② 【使用説明書の一部】の内容を正しく捉えた上で、ピントが合っている状態について書いている。<br>③ 六十字以上、八十字以内で書いている。  |    |
|      |      | (正答例)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>ピントが合うと「ピピッ」と音がして、画面中央の四角い枠が緑になります。ピントが合っていないと四角い枠が赤になるので、指を離してからもう一度押し直してください。(80字)</li> <li>四角い枠が緑になり「ピピッ」という音がすると、ピントが合っています。赤のときは、ボタンから指を離してもう一度押し直してください。(63字)</li> <li>「ピピッ」と音がして、矢印の指している画面中央の四角い枠が緑になると成功です。赤くなったときは失敗なので、一度ボタンから指を離して、やり直してください。(77字)</li> <li>うまくいっていると図にある画面の小さな枠が緑色になり、「ピピッ」という音がします。赤くなったときは、もう一度押し直してください。(65字)</li> </ul> |    |

| 問題番号   | 解 答 類 型   | 類型番号 |
|--|---|------|
| 1  | 三 <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件①, ②, ③を満たして解答しているもの</li> </ul> <p>なお, 次のものも正答とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件①について, 大岡さんと檀さん両方の発言を取り上げて書いているもの (例1)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大岡さんは, 言葉の乱れよりも, 使う言葉の数が少なくなっているのが大きな問題だと言っている。これから私は, 檀さんの言うように自分の感情を細かく分析して, 「うれしい」, 「楽しい」などその場に合った言葉を使いながら言葉を増やしたい。(114字)</li> </ul> </li> <li>・条件②について, 対談者の発言に対して反論する考えを書いているもの (例示の下線部は関係箇所) (例2)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・檀さんが電車の中で若い人の会話に耳を傾けていると, 聞こえてくるのは, 「ヤバい」, 「マジ」, 「ウケる」の三つだけと言っているが, <u>「ヤバい」はいろいろな意味を伝えられる便利な言葉なので, これからもそういう便利な言葉を積極的に使っていきたい。</u>(119字)</li> <li>* 「ヤバい」を肯定的に捉えて書いている。</li> </ul> </li> </ul> | 1◎   |
| -----  |   |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの</li> </ul>  |   | 2    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの (例1)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大岡さんが「聞き慣れない言葉を使うと, 『それ, 何?』って気まずい雰囲気になる。」と言っていた。私もこれからは, 気まずい雰囲気にならないように言葉を使っていきたい。(82字)</li> <li>・私は, 最近「ヤバい」, 「マジ」, 「ウケる」ばかりを使って友達と会話している気がします。大岡さんが言うように, 「ヤバい」, 「マジ」, 「ウケる」ばかりを使わないようにしたいです。(88字)</li> <li>* これから使っていきたい言葉の例を挙げていない。</li> </ul> </li> <li>(例2)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「残していきたいと思う美しい言葉は, 個々人が積極的に使うべきです。」という大岡さんの発言に納得した。このような対談に多くの人が触れれば, 美しい言葉について関心をもつ人が増えてくると思う。(94字)</li> <li>* 発言の内容に対する感想に終始している。</li> </ul> </li> </ul> |   | 3    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの (例1)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい言葉とあるが, 私は美しい言葉の中でも, 特にあいさつの言葉を気持ちよく使っていきたい。また, 感謝や謝罪の言葉もきちんと使っていきたい。感謝の言葉はすぐに出るが, 謝罪の言葉はなかなか口にしづらいからだ。(103字)</li> <li>・「<sup>かんなんしんく</sup>艱難辛苦」のような四字熟語を使っていきたいです。四字熟語は言葉の響きにキレがあると思います。これから, いろいろな四字熟語を覚え, 適切な場面で使えるようになっていきたいです。(88字)</li> <li>* 本文にある「美しい言葉」, 「艱難辛苦」という言葉を使って書いているが, 発言の内容を取り上げてはいない。</li> </ul> </li> </ul>  |   | 4    |

解答類型 【中学校国語】

B 主として「活用」に関する問題

◎ … 解答として求める条件を全て満たしている正答

○ … 設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

| 問題番号 | 解答類型 | 類型番号   |    |
|------|------|--|----|
| 1    | 一    | ・ 1 と解答しているもの  | 1  |
|      |      | ・ 2 と解答しているもの  | 2  |
|      |      | ・ 3 と解答しているもの  | 3◎ |
|      |      | ・ 4 と解答しているもの  | 4  |
|      |      | ・ 上記以外の解答  | 9  |
|      |      | ・ 無解答  | 0  |
|      | 二    | ・ 1 と解答しているもの  | 1◎ |
|      |      | ・ 2 と解答しているもの  | 2  |
|      |      | ・ 3 と解答しているもの  | 3  |
|      |      | ・ 4 と解答しているもの  | 4  |
|      |      | ・ 上記以外の解答  | 9  |
|      |      | ・ 無解答  | 0  |
|      | 三    | <p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 大岡さん、檀さんのいずれかの発言の内容を取り上げて書いている。</p> <p>② これから使っていきたい言葉の例を挙げて、これからどのような言葉の使い方をしたいのか書いている。</p> <p>③ 八十字以上、百二十字以内で書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「残っていききたいと思う美しい言葉は、個々人が積極的に使うべきです。」という大岡さんの発言に納得した。先日、本を読んでいて「たおやか」という言葉を初めて知り、やわらかくて美しい言葉だと思った。このような美しい言葉を積極的に使いたい。(116字)</li> <li>檀さんは、先輩から注意されて「ら抜き言葉」を使っていることに気付いたと言っています。私もこれからは、周りの人のアドバイスを聞き、自分の言葉を磨こうと思います。まずは、食べられる、生きられるなど、「られる」を意識して使っていきたいです。(118字)</li> <li>言葉の乱れよりも、使う言葉の数が少なくなっていることが問題だと言っている。だから、「ヤバい」のような言葉ばかりを使うのではなく、「おいしい」、「きれい」など、そのときの気持ちに合ったいろいろな言葉を使っていきたい。(108字)</li> <li>今どんな気持ちか、当てはまる言葉を探すという発言から、「ごめんなさい」、「ありがとう」など、自分の気持ちが相手に素直に伝わるような言葉を進んで使いたいと思いました。(83字)</li> </ul> |    |

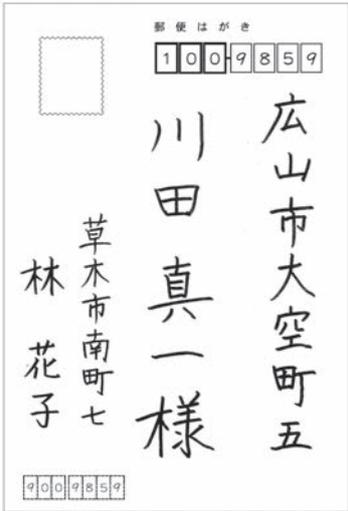
## 解答類型

### B 主として「活用」に関する問題



| 問題番号 | 解答類型        | 類型番号                   |             |
|------|-------------|------------------------|-------------|
| 7    | 八<br>1      | ・アの欄に1, イの欄に4と解答しているもの | 1◎          |
|      |             | ・アの欄に4, イの欄に1と解答しているもの | 2           |
|      |             | ・アの欄に2, イの欄に3と解答しているもの | 3           |
|      |             | ・上記以外の解答               | 9           |
|      |             | ・無解答                   | 0           |
|      |             | 2                      | ・①と解答しているもの |
|      | ・②と解答しているもの |                        | 2           |
|      | ・③と解答しているもの |                        | 3           |
|      | ・④と解答しているもの |                        | 4◎          |
|      | ・上記以外の解答    |                        | 9           |
|      | ・無解答        |                        | 0           |

| 問題番号 | 解 答 類 型             | 類型番号  |                  |
|------|---------------------|---|------------------|
| 7    | 六<br>1              | ・「Takekurabe」のように解答しているもの<br>* 「takekurabe」, 「TAKEKURABE」などと解答しているものも正答とする。<br>* 書体は問わない。 | 1◎               |
|      |                     | ・「Takekurade」のように解答しているもの   | 2                |
|      |                     | ・「Takekurave」のように解答しているもの   | 3                |
|      |                     | ・上記以外の解答  | 9                |
|      |                     | ・無解答  | 0                |
|      | 2                   | ・ひらがなの欄に「につき」、漢字の欄に「日記」と解答しているもの  | 1◎               |
|      |                     | ・ひらがなの欄に「につき」とだけ正しく解答しているもの   | 2                |
|      |                     | ・上記以外の解答  | 9                |
|      |                     | ・無解答  | 0                |
|      | 七<br>1              | ・1と解答しているもの   | 1                |
|      |                     | ・2と解答しているもの   | 2◎               |
|      |                     | ・3と解答しているもの   | 3                |
|      |                     | ・4と解答しているもの   | 4                |
|      |                     | ・上記以外の解答  | 9                |
|      |                     | ・無解答  | 0                |
|      |                     | 2   | ・「あらわす」と解答しているもの |
|      | ・「あらわしている」と解答しているもの |   | 2                |
|      | ・上記以外の解答            |   | 9                |
|      | ・無解答                |   | 0                |

| 問題番号  | 解 答 類 型       | 類型番号  |
|---|---------------|---|
| 7<br>四<br>イ   | ・ 1 と解答しているもの | 1   |
|   | ・ 2 と解答しているもの | 2   |
|   | ・ 3 と解答しているもの | 3   |
|   | ・ 4 と解答しているもの | 4◎  |
|   | ・ 上記以外の解答     | 9   |
|   | ・ 無解答         | 0   |
|   | 五             | <p>(正答の条件)<br/> 次の条件を満たして解答している。<br/> ① 【自分の名前と住所】と【相手の名前と住所】の位置を正しく書いている。<br/> ② 宛名に、「様」、「殿」、「先生」などの敬称を付けて書いている。<br/> ③ 縦書きで書いている。</p> |
| <p>(正答例)</p>  |               |   |
| ・ 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの  |               | 1◎  |
| ・ 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの  |               | 2   |
| ・ 条件②, ③を満たし, 条件①について, 【自分の名前と住所】と【相手の名前と住所】の位置を逆に書いているもの                                       |               | 3   |
| ・ 上記以外の解答   |               | 9   |
| ・ 無解答   |               | 0   |

| 問題番号          | 解 答 類 型       | 類型番号          |    |
|---------------|---------------|---------------|----|
| 7             | 三<br>ウ        | ・ 1 と解答しているもの | 1  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 2 と解答しているもの | 2  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 3 と解答しているもの | 3◎ |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 4 と解答しているもの | 4  |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 上記以外の解答     | 9             |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 無解答         | 0             |    |
|               | エ             | ・ 1 と解答しているもの | 1  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 2 と解答しているもの | 2  |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 3 と解答しているもの | 3◎ |
|               |               | -----         |    |
|               |               | ・ 4 と解答しているもの | 4  |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 上記以外の解答     | 9             |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 無解答         | 0             |    |
|               | オ             | ・ 1 と解答しているもの | 1◎ |
|               |               | -----         |    |
| ・ 2 と解答しているもの |               | 2             |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 3 と解答しているもの |               | 3             |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 4 と解答しているもの |               | 4             |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 上記以外の解答     | 9             |               |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 無解答         | 0             |               |    |
| 四<br>ア        | ・ 1 と解答しているもの | 1◎            |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 2 と解答しているもの | 2             |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 3 と解答しているもの | 3             |    |
|               | -----         |               |    |
|               | ・ 4 と解答しているもの | 4             |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 上記以外の解答     | 9             |               |    |
| -----         |               |               |    |
| ・ 無解答         | 0             |               |    |

| 問題番号        | 解答類型                        | 類型番号                       |                  |    |
|-------------|-----------------------------|----------------------------|------------------|----|
| 7           | 二<br>1                      | ・「そうい」と解答しているもの            | 1◎               |    |
|             |                             | ・「そうい」のうち「そう」だけ正しく解答しているもの | 2                |    |
|             |                             | ・「そうい」のうち「い」だけ正しく解答しているもの  | 3                |    |
|             |                             | ・上記以外の解答                   | 9                |    |
|             |                             | ・無解答                       | 0                |    |
|             |                             | 2                          | ・「ちんでん」と解答しているもの | 1◎ |
|             | ・「ちんでん」のうち「ちん」だけ正しく解答しているもの |                            | 2                |    |
|             | ・「ちんでん」のうち「でん」だけ正しく解答しているもの |                            | 3                |    |
|             | ・上記以外の解答                    |                            | 9                |    |
|             | ・無解答                        |                            | 0                |    |
|             | 3                           |                            | ・「と(る)」と解答しているもの | 1◎ |
|             |                             | ・上記以外の解答                   | 9                |    |
|             |                             | ・無解答                       | 0                |    |
|             | 三<br>ア                      | イ                          | ・1と解答しているもの      | 1  |
|             |                             |                            | ・2と解答しているもの      | 2◎ |
|             |                             |                            | ・3と解答しているもの      | 3  |
|             |                             |                            | ・4と解答しているもの      | 4  |
|             |                             |                            | ・上記以外の解答         | 9  |
|             |                             |                            | ・無解答             | 0  |
|             |                             | イ                          | ・1と解答しているもの      | 1  |
|             |                             |                            | ・2と解答しているもの      | 2  |
| ・3と解答しているもの |                             |                            | 3                |    |
| ・4と解答しているもの |                             |                            | 4◎               |    |
| ・上記以外の解答    |                             |                            | 9                |    |
| ・無解答        |                             |                            | 0                |    |

| 問題番号 | 解答類型 | 類型番号                     |                          |    |
|------|------|--------------------------|--------------------------|----|
| 6    | 一    | ・「フェルト収縮」と解答しているもの       | 1◎                       |    |
|      |      | ・上記以外の解答                 | 9                        |    |
|      |      | ・無解答                     | 0                        |    |
|      | 二    | ・1と解答しているもの              | 1                        |    |
|      |      | ・2と解答しているもの              | 2                        |    |
|      |      | ・3と解答しているもの              | 3◎                       |    |
|      |      | ・4と解答しているもの              | 4                        |    |
|      |      | ・上記以外の解答                 | 9                        |    |
|      |      | ・無解答                     | 0                        |    |
|      |      | ・無解答                     | 0                        |    |
|      | 7    | 1                        | ・「招待」と解答しているもの           | 1◎ |
|      |      |                          | ・「招待」のうち「招」だけ正しく解答しているもの | 2  |
|      |      |                          | ・「招待」のうち「待」だけ正しく解答しているもの | 3  |
|      |      |                          | ・上記以外の解答                 | 9  |
| ・無解答 |      |                          | 0                        |    |
| ・無解答 |      |                          | 0                        |    |
| 2    |      | ・「単位」と解答しているもの           | 1◎                       |    |
|      |      | ・「単位」のうち「単」だけ正しく解答しているもの | 2                        |    |
|      |      | ・「単位」のうち「位」だけ正しく解答しているもの | 3                        |    |
|      |      | ・上記以外の解答                 | 9                        |    |
|      |      | ・無解答                     | 0                        |    |
|      |      | ・無解答                     | 0                        |    |
| 3    |      | ・「借(りる)」と解答しているもの        | 1◎                       |    |
|      |      | ・上記以外の解答                 | 9                        |    |
|      |      | ・無解答                     | 0                        |    |

| 問題番号 | 解答類型 | 類型番号  |     |
|------|------|---|-----|
| 5    | 一    | ・ 1 と解答しているもの   | 1   |
|      |      | ・ 2 と解答しているもの   | 2 ◎ |
|      |      | ・ 3 と解答しているもの   | 3   |
|      |      | ・ 4 と解答しているもの   | 4   |
|      |      | ・ 上記以外の解答   | 9   |
|      |      | ・ 無解答   | 0   |
|      | 二    | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 文鎮の使い方や役割についての説明を適切に書いている。<br>② 「⑤の文鎮は,」に適切に続くように, 一文かつ十五字以内で書いている。                                    |     |
|      |      | (正答例)<br>・ (⑤の文鎮は,) 半紙の上の方に置きます。(。) (11字)<br>・ (⑤の文鎮は,) 半紙を押さえるためのものです。(。) (14字)  |     |
|      |      | ・ 条件①, ②を満たして解答しているもの   | 1 ◎ |
|      |      | ・ 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの<br>(例)<br>・ (⑤の文鎮は,) 半紙の上の方に文鎮を置きます。(。) (14字)<br>* 「⑤の文鎮は,」に適切に続いていない。                                    | 2   |
|      |      | ・ 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの<br>(例 1)<br>・ (⑤の文鎮は,) 重要な書写の用具の一つです。(。) (13字)<br>・ (⑤の文鎮は,) 丸い突起が付いています。(。) (11字)<br>* 文鎮の使い方や役割の説明ではない。 | 3   |
|      |      | (例 2)<br>・ (⑤の文鎮は,) 半紙の上の方に置くだらう。(。) (12字)<br>* 説明として適切な文末ではない。   |     |
|      |      | ・ 上記以外の解答   | 9   |
|      |      | ・ 無解答   | 0   |

| 問題番号 | 解 答 類 型   | 類型番号 |
|------|---|------|
| 4    | <p>二</p> <p>(正答の条件)<br/> 次の条件を満たして解答している。<br/> ① 「生徒会活動(小学校……児童会活動)」という情報を適切に入れている。<br/> ② 「三つめは、」に適切に続き、「( )」や「……」を使わずに書いている。<br/> ③ 歓迎の言葉にふさわしい言葉遣いで書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)<br/> ・ (三つめは、) 小学校では児童会活動と言われていた生徒会活動のことです。<br/> ・ (三つめは、) 生徒会活動のことです。小学校では児童会活動と呼んでいたと思います。</p>                                    |      |
|      | <p>・ 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの</p> <p>なお、次のものも正答とする。</p> <p>・ 条件①について、「生徒会活動」を「生徒会の活動」や「生徒会」と表現したり、「児童会活動」を「児童会の活動」や「児童会」と表現したりしているもの(例示の下線部は関係箇所)</p> <p>(例1)<br/> ・ (三つめは、) 小学校では<u>児童会</u>と言われていた<u>生徒会</u>のことです。</p> <p>・ 条件②について、後の一文に読点でつなげて書いているもの</p> <p>(例2)<br/> ・ (三つめは、) 小学校では児童会活動と言われていた生徒会活動のことですが、</p> | 1◎   |
|      | <p>・ 条件①, ②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの</p> <p>(例)<br/> ・ (三つめは、) 小学校では児童会活動と呼ばれていた生徒会活動のことだ。<br/> ・ (三つめは、) 生徒会活動のことだよ。小学校のときには、児童会活動って呼んでいたと思うけれど。<br/> * 歓迎の言葉にふさわしい言葉遣いではない。</p>   | 2    |
|      | <p>・ 条件①, ③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの</p> <p>(例)<br/> ・ (三つめは、) 小学校では児童会活動と呼ばれていた生徒会活動だからです。<br/> * 「三つめは、」に適切に続いている。</p>  | 3    |
|      | <p>・ 条件②, ③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの</p> <p>(例1)<br/> ・ (三つめは、) 小学校のときに、児童会活動と呼ばれていたことについてです。<br/> * 「生徒会活動」という情報を入れていない。</p> <p>(例2)<br/> ・ (三つめは、) 生徒会活動です。小学校、児童会活動です。<br/> * 「小学校」と「児童会活動」との関係が明確ではない。</p>  | 4    |
|      | <p>・ 上記以外の解答</p>  | 9    |
|      | <p>・ 無解答</p>  | 0    |

| 問題番号 | 解 答 類 型 | 類型番号  |    |
|------|---------|---|----|
| 3    | 一       | ・「使い古したゴルフボール」のように解答しているもの<br>* 「使い古したゴルフボールみたいに」、「使い古したゴルフボールみたい」、<br>「ゴルフボールみたいに」、「ゴルフボールみたい」、「ゴルフボール」、「ゴル<br>フボールだ」と解答しているものも正答とする。  | 1◎ |
|      |         | ・上記以外の解答  | 9  |
|      |         | ・無解答  | 0  |
|      | 二       | ・「比ゆ」、「たとえ」のように解答しているもの<br>* 「比喩」、「ひゆ」、「比喩法」、「直喩」などと解答しているものも正答とす<br>る。   | 1◎ |
|      |         | ・上記以外の解答  | 9  |
|      |         | ・無解答  | 0  |
| 4    | 一       | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 「難易度が高くなる」という意味の言葉を、聞いて分かりやすい表現に直し<br>て書いている。<br>② 「、日々の積み重ねが大切になります。」に適切に続くように書いている。<br>~~~~~<br>(正答例)<br>・ 難しくなるので(、日々の積み重ねが大切になります。)<br>・ より難しくなっていくため(、日々の積み重ねが大切になります。) |    |
|      |         | ・条件①、②を満たして解答しているもの   | 1◎ |
|      |         | ・条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの<br>(例)<br>・ 難しくなるのに(、日々の積み重ねが大切になります。)<br>* 理由を示すべきところを、逆接の関係にしている。   | 2  |
|      |         | ・条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの<br>(例)<br>・ 分からないので(、日々の積み重ねが大切になります。)<br>・ 易しくなるので(、日々の積み重ねが大切になります。)  | 3  |
|      |         | ・上記以外の解答  | 9  |
|      |         | ・無解答  | 0  |

解答類型【中学校国語】

A 主として「知識」に関する問題

◎ … 解答として求める条件を全て満たしている正答

| 問題番号          | 解答類型            | 類型番号          |                 |               |
|---------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------|
| 1             | 一               | ・ 1 と解答しているもの | 1               |               |
|               |                 | ・ 2 と解答しているもの | 2 ◎             |               |
|               |                 | ・ 3 と解答しているもの | 3               |               |
|               |                 | ・ 4 と解答しているもの | 4               |               |
|               |                 | ・ 上記以外の解答     | 9               |               |
|               |                 | ・ 無解答         | 0               |               |
|               |                 | 二             | ・ (ア) と解答しているもの | 1             |
|               | ・ (イ) と解答しているもの |               | 2               |               |
|               | ・ (ウ) と解答しているもの |               | 3 ◎             |               |
|               | ・ (エ) と解答しているもの |               | 4               |               |
|               | ・ 上記以外の解答       |               | 9               |               |
|               | ・ 無解答           |               | 0               |               |
|               | 2               |               | 一               | ・ 1 と解答しているもの |
|               |                 | ・ 2 と解答しているもの |                 | 2             |
| ・ 3 と解答しているもの |                 | 3             |                 |               |
| ・ 4 と解答しているもの |                 | 4 ◎           |                 |               |
| ・ 上記以外の解答     |                 | 9             |                 |               |
| ・ 無解答         |                 | 0             |                 |               |
| 二             |                 | ・ 1 と解答しているもの |                 | 1 ◎           |
|               |                 | ・ 2 と解答しているもの | 2               |               |
|               |                 | ・ 3 と解答しているもの | 3               |               |
|               |                 | ・ 4 と解答しているもの | 4               |               |
|               |                 | ・ 上記以外の解答     | 9               |               |
|               |                 | ・ 無解答         | 0               |               |

## 2 解答類型

### A 主として「知識」に関する問題

調査問題一覧表 【中学校国語】  
B 主として「活用」に関する問題

| 問題番号 | 問題の概要                                 | 出題の趣旨                                      | 学習指導要領の領域等 |   |   |   | 評価の観点                  |                 |              |              | 問題形式                  |             |             | 新学習指導要領との関連 |    |   |   |  |
|------|---------------------------------------|--|------------|---|---|---|------------------------|-----------------|--------------|--------------|-----------------------|-------------|-------------|-------------|----|---|---|--|
|      |                                       |  | 聞話         | 書 | 読 | 言 | 国<br>心・語<br>意欲・<br>態度の | 話<br>す・聞<br>く能力 | 書<br>く能<br>力 | 読<br>む能<br>力 | 知<br>識・理<br>解・技<br>能の | 選<br>択<br>式 | 短<br>答<br>式 | 記<br>述<br>式 | 聞話 | 書 | 読 | 語<br>の統<br>特的<br>質に<br>言<br>関語<br>する<br>文化<br>事と<br>項目 |
| 1    | 一 対談での発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する    | 相手の話を踏まえて話す                                | ○          |   |   |   |                        | ○               |              |              |                       | ○           |             | ○           |    |   |   |  |
|      | 二 対談の展開を整理したものとして適切なものを選択する           | 話の展開に注意して聞く                                | ○          |   |   |   |                        | ○               |              |              |                       | ○           |             | ○           |    |   |   |  |
|      | 三 これからどのような言葉の使い方をしたいかを具体的な言葉の例を挙げて書く | 相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書く                      | ○          | ○ |   |   | ○                      | ○               | ○            |              |                       |             | ○           | ○           | ○  |   |   |  |
| 2    | 一 「被写体」を言い換えている言葉を本文中から抜き出す           | 文脈の中における語句の意味を捉える                          |            |   | ○ |   |                        |                 | ○            |              |                       | ○           |             |             |    | ○ |   |  |
|      | 二 祖母向けの説明書の工夫として適切なものを選択する            | 効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫して書く                 |            | ○ |   |   |                        |                 | ○            |              |                       | ○           |             |             | ○  |   |   |  |
|      | 三 祖母向けの説明書の一部を書く                      | 資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く |            | ○ | ○ |   | ○                      | ○               | ○            |              |                       | ○           |             | ○           | ○  |   |   |  |
| 3    | 一 物語について説明したものとして適切なものを選択する           | 物語の展開や表現の特徴を捉える                            |            |   | ○ |   |                        |                 | ○            |              |                       | ○           |             |             |    |   | ○ |  |
|      | 二 物語に描かれている季節を選択する                    | 物語の場面の展開を捉える                               |            |   | ○ |   |                        |                 | ○            |              |                       | ○           |             |             |    |   | ○ |  |
|      | 三 朗読の仕方その理由を書く                        | 物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書く             |            | ○ | ○ |   | ○                      | ○               | ○            |              |                       | ○           |             | ○           | ○  |   |   |  |

| 問題種別   | 問題の概要                                  | 出題の趣向                                 | 学習指導要領の領域等 |   |   |    | 評価の観点      |         |      |      | 問題形式      |    |    | 新学習指導要領との関連 |    |   |   |                     |
|--------|--|---------------------------------------|------------|---|---|----|------------|---------|------|------|-----------|----|----|-------------|----|---|---|---------------------|
|        |  |                                       | 聞話         | 書 | 読 | 言  | 関心・語意欲・態度の | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 知識・理解・技能の | 選択 | 短答 | 記述          | 聞話 | 書 | 読 | 語の統一的な言葉に用いられることと項目 |
| 7      | 一<br>1                                 | 漢字を書く（地域の人をショウタイする）                   |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 一<br>2                                 | 漢字を書く（メートルは長さのタンシである）                 |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 一<br>3                                 | 漢字を書く（鉛筆を力りる）                         |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 二<br>1                                 | 漢字を読む（考えに相違がある）                       |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 二<br>2                                 | 漢字を読む（不純物が沈殿する）                       |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 二<br>3                                 | 漢字を読む（会議で決を採る）                        |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 三<br>ア                                 | 適切な語句を選択する（このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく調和している） |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 三<br>イ                                 | 適切な敬語を選択する（先生が、私の家にいらっしゃる）            |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 三<br>ウ                                 | 適切な語句を選択する（弟子を手塩にかけて育てる）              |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 三<br>エ                                 | 適切な語句を選択する（たなびく雲の間から、春の光がもれている）       |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 三<br>オ                                 | 適切な語句を選択する（いかなる困難にもひるむことなく仕事を進めた）     |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 四<br>ア                                 | 適切な対義語を選択する（受信）                       |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 四<br>イ                                 | 適切な対義語を選択する（理想）                       |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 五                                      | はがきの表書きを書く                            |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 六<br>1                                 | ローマ字で書く（たけくらべ）                        |            |   |   | ※○ |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ※○                  |
|        | 六<br>2                                 | ローマ字を読む（Tosa nikki）                   |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 七<br>1                                 | 「諸行むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを選択する        |            |   |   | ○  |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
|        | 七<br>2                                 | 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（あはす）                |            |   | ○ |    |            |         |      | ○    | ○         |    |    |             |    |   |   | ○                   |
| 八<br>1 | 漢字の音読みと訓読みの説明として適切なものを選択する             |                                       |            |   | ○ |    |            |         | ○    | ○    |           |    |    |             |    |   | ○ |                     |
| 八<br>2 | 漢和辞典の「意味」の中から、「観光」の「光」の意味として適切なものを選択する |                                       |            |   | ○ |    |            |         | ○    | ○    |           |    |    |             |    |   | ○ |                     |

※ 小学校学習指導要領による。

調査問題一覧表 【中学校国語】  
A 主として「知識」に関する問題

| 問題番号 | 問題の概要                                      | 出題の趣旨                         | 学習指導要領の領域等 |   |   |   | 評価の観点                    |                     |                  |                  | 問題形式                   |             |             | 新学習指導要領との関連 |    |   |   |   |
|------|--|-------------------------------|------------|---|---|---|--------------------------|---------------------|------------------|------------------|------------------------|-------------|-------------|-------------|----|---|---|---|
|      |  |                               | 聞話         | 書 | 読 | 言 | 関国<br>心・語<br>意欲・ハ<br>態度の | 話す<br>・聞<br>く能<br>力 | 書<br>く<br>能<br>力 | 読<br>む<br>能<br>力 | 知言<br>識・理<br>解・技<br>能の | 選<br>択<br>式 | 短<br>答<br>式 | 記<br>述<br>式 | 聞話 | 書 | 読 | 語<br>匠<br>の<br>統<br>特<br>的<br>な<br>言<br>語<br>事<br>と<br>項<br>目 |
| 1    | 一 指示棒が指す箇所として適切なものを選択する                    | 自分の話を聞き手に理解してもらえるように、資料を用いて話す | ○          |   |   |   | ○                        |                     |                  |                  | ○                      |             |             | ○           |    |   |   |   |
|      | 二 話題が変わる箇所として適切なものを選択する                    | 問の取り方に注意して話す                  |            |   |   | ○ |                          |                     |                  | ○                | ○                      |             |             | ○           |    |   |   |   |
| 2    | 一 手紙の前文の最初に書かれる言葉の名称として適切なものを選択する          | 手紙の形式を理解して書く                  |            | ○ |   |   |                          |                     | ○                |                  | ○                      |             |             |             | ○  |   |   |   |
|      | 二 時候の挨拶に書き足した文の説明として適切なものを選択する             | 相手に応じて文章を書き直す                 |            | ○ |   |   |                          |                     | ○                |                  | ○                      |             |             |             | ○  |   |   |   |
| 3    | 一 「よく熟した夏ミカン」に対応する東京の情景を本文中から抜き出す          | 比喩を手掛かりにしながら文脈をたどり、内容を理解する    |            |   | ○ |   |                          |                     |                  | ○                |                        | ○           |             |             |    |   | ○ |   |
|      | 二 「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法の名称を書く | 比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解する      |            |   | ○ |   |                          |                     |                  | ○                |                        | ○           |             |             |    |   |   | ○   |
| 4    | 一 「難易度が高くなるので」を聞き手に分かりやすい表現に直す             | 聞き手や場面を意識して、適切な語句を選択して話す      | ○          |   |   |   | ○                        |                     |                  |                  | ○                      |             | ○           |             |    |   |   |   |
|      | 二 「生徒会活動（小学校……児童会活動）」を場に応じた話し言葉にする         | 話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使う       |            |   |   | ○ |                          |                     |                  |                  | ○                      |             | ○           |             |    |   |   | ○   |
| 5    | 一 文章の特徴として適切なものを選択する                       | 伝えたい事柄を明確にして書く                |            | ○ |   |   |                          |                     | ○                |                  | ○                      |             |             |             | ○  |   |   |   |
|      | 二 文鎖について説明する一文を書き加える                       | 必要な情報が相手に伝わるように説明する           |            | ○ |   |   |                          |                     | ○                |                  | ○                      |             |             |             | ○  |   |   |   |
| 6    | 一 「このような現象」が何と呼ばれているかを本文中から抜き出す            | 文章の展開に即して内容を捉える               |            |   | ○ |   |                          |                     |                  | ○                |                        | ○           |             |             |    |   | ○ |   |
|      | 二 取扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する | 目的に応じて必要な情報を読み取る              |            |   | ○ |   |                          |                     |                  | ○                |                        | ○           |             |             |    |   | ○ |   |

# 1 調查問題一覽表



本書の一部または全部を無断で転載，複製することを禁じます。